

広島市都市整備局監修

電気設備工事標準図

令和4年12月版

目 次

第1編 共通事項

共通一般仕様	2
--------------	---

第2編 電力設備工事

電力設備一覧表	4
照明器具一般事項	5
屋外防犯灯	6
公園灯	10
道路照明灯	13
自動点滅器	20
表示板	21
照明灯基礎（ベースプレート式）	22
グラウンド照明	23
分電盤・制御盤一般事項	27
電灯動力盤	29
電線保護物類一般事項	32
プルボックス	33
金属ダクト	34
配管類施工要領	35
接地工事	42
ハンドホール・基礎ブロック	45
舗装復旧	56

第3編 受変電設備工事

受変電設備一覧表	59
受変電	60

第4編 通信・情報設備工事

通信・情報設備一覧表	67
端子盤	68
拡声	73
誘導支援	79
消防用機器	85

第5編 その他

その他一覧表	88
配線器具等の基準取付位置	89
施工についての細則	91

改訂履歴

[illegible]

第 1 編

共 通 事 項

共 通 一 般 仕 様

- (1) 図は、形状及び構造の概要を示すもので、形状について多少の相違は差し支えない。
また補強方法、部品の形状等の詳細については、拘束しない。
- (2) 図及び表に示す材厚は、加工前の標準厚さとし、図及び表の値以上とする。
- (3) 寸法が範囲を示している場合は、その寸法範囲内であれば、どの寸法でもよい。
- (4) 寸法が記入されていない箇所は、寸法について特に拘束しない。
- (5) 断面図、材質、成形法、施工法等で2以上記載されている場合は、そのいずれでもよい。
- (6) 材質記号、図示記号、機器等の図記号及び機器等の文字記号並びに本標準図に記載のないものは、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」による。

第2編

電力設備工事

電力設備一覧表

市電力 1	照明器具一般事項	
市電力 2	屋外防犯灯	
市電力 3	屋外防犯灯 基礎図・中継柱（7 m、8 m）	
市電力 4	屋外防犯灯 配管支持材・電線等接続	
市電力 5	公園灯 一般事項	
市電力 6	公園灯（アルミテーパーポール）	CPA-5A, CPA-7A
市電力 7	道路照明灯器具型式	
市電力 8	道路照明灯（アルミポール）	CTAI-8, CTAI-10, CTAI-12, CTAIB-10, CTAIB-12
市電力 9	共架灯	GL, GLA
市電力 10	自動点滅器	A
市電力 11	表示板	N
市電力 12	基礎（ベースプレート式）施工要領	
市電力 13	グラウンド照明一般事項	
市電力 14	グラウンド照明	CGP
市電力 15	グラウンド照明付属品	
市電力 16	グラウンド照明施工要領	
市電力 17	分電盤・制御盤一般事項	
市電力 18	屋内運動場電灯動力盤	C-LMC
市電力 19	屋内運動場電灯動力盤結線図	C-LMC
市電力 20	プール動力盤	PM-P
市電力 21	電線保護物類一般事項	
市電力 22	プルボックス	PB
市電力 23	金属ダクト	
市電力 24	屋外用露出盤類の配管施工要領	
市電力 25	側壁露出配管工事の施工要領（1 本の場合）	
市電力 26	側壁露出配管工事の施工要領（複数本の場合）	
市電力 27	屋外横引き側壁露出配管の施工要領	
市電力 28	床ボックス取付要領	
市電力 29	電動機への接続要領	
市電力 30	電柱配管立ち下げ施工要領	
市電力 31	接地工事	
市電力 32	接地工事の測定要領	
市電力 33	接地極の埋設（避雷設備）要領	
市電力 34	ハンドホール・基礎ブロック一般事項	
市電力 35	ハンドホール	OH-35, OH-60, OH-90, OH-120
市電力 36	鉄ふた	R2K, R8K
市電力 37	埋設標	OH-F2
市電力 38	コンクリート基礎ブロック	OK
市電力 39	ハンドホール内の管端口の施工	
市電力 40	舗装復旧	

市電力 1	照明器具一般事項	
1 一般事項 特記のない限り、LED照明器具は、以下の事項を満たすものとする。 (1) 図は、形状及び構造の一例を示すものとし、本体、反射板、発光面、照明カバー等の形状及び構造については、多少の相違は差し支えない。 (2) 枠等の形状、開閉装置、補強方法、部品の形状・配置、調節装置等構造の詳細については、製造者の標準とする。 (3) 表などの寸法は、ねじ頭など局所的な突起物を含まない設計寸法であり、特に記載のない限り単位はmmとする。 (4) LEDモジュールの寿命は、40,000時間以上とする。 (5) 光源色は、相関色温度4,600～5,500K（昼白色）とする。 (6) ベースライト形照明器具の平均演色評価数（Ra）は、80以上とする。 (7) ベースライト形照明器具は、LED制御装置を内蔵したものとする。 (8) 光源の設計光束維持率は、ベースライト形照明器具は0.85、ダウンライト形照明器具は0.8以上とする。 (9) 周波数は、50Hz及び60Hz共用のものとする。 (10) 定格入力電圧が100V又は200Vとされているものは、ユニバーサル電圧（100V～242V）とすることができる。 (11) 光源部は容易に交換できない構造のものとする。ただし、ダウンライト形器具においてLED専用の口金を持つものは除く。 (12) 蛍光ランプ、白熱電球、放電ランプ、電球形LEDランプと互換性を有する口金をもつものは、対象外とする。		

A (7) 仕様

器具光束：700lm以上

消費電力：7W以下

電気料金区分：10VA

A (1 0) 仕様

器具光束：1000lm以上

消費電力：10W以下

電気料金区分：10VA

A (2 0) 仕様

器具光束：2000lm以上

消費電力：20W以下

電気料金区分：20VA

共通仕様

(公社) 日本防犯設備協会 LED防犯灯認定基準RBSS0004 準拠

相関色温度：3800K以上

自動点滅器内蔵

電柱又は自立柱への取付は幅30mmの自在バンド 1 本

B 仕様

電圧：100～242V

器具光束：3500lm以上

遮光ルーバ付

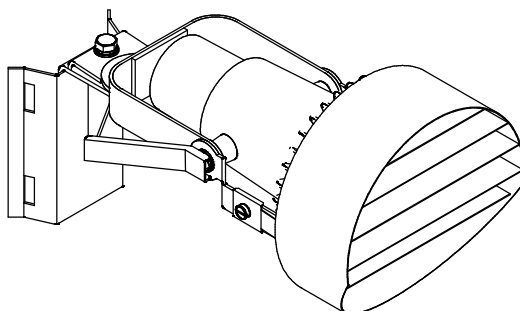
自動点滅器A-I-2と接続

電柱又は自立柱への取付はメーカー指定幅の自在バンド 2 本

電源別置型の場合、電源は灯具が取付けられている電柱または自立柱へ取付ること

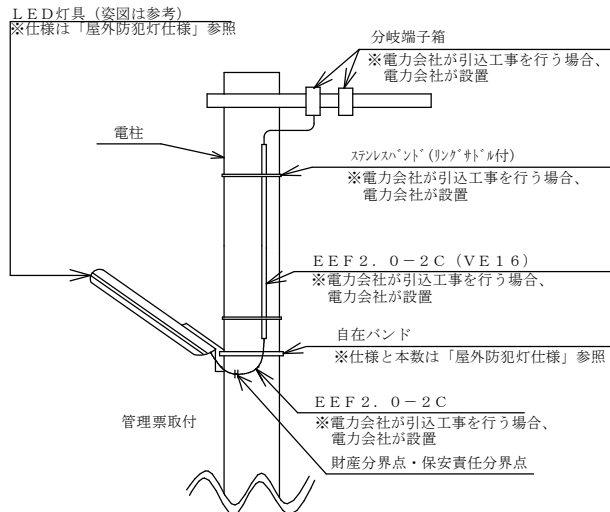
姿図は参考とする

投光器姿図



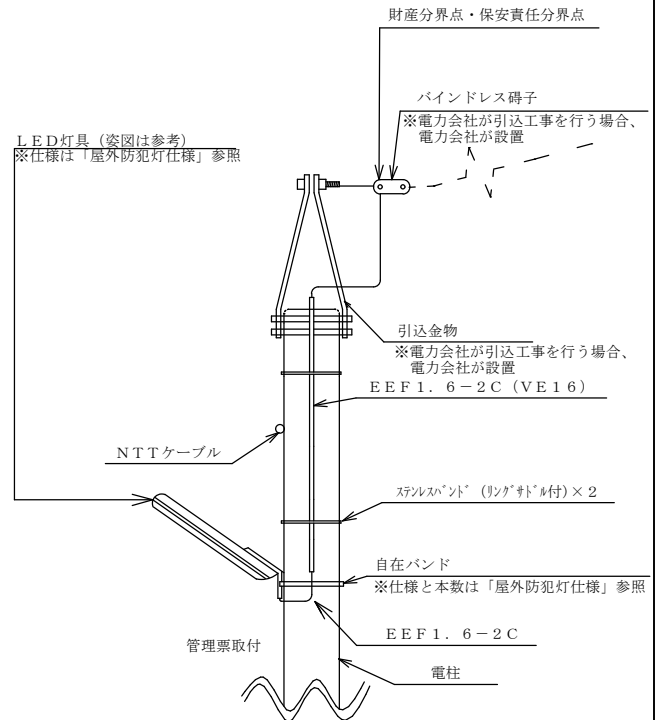
※ - 1 (電柱共架)

※ には「屋外防犯灯仕様」にて指定する
A (7)、A (10)、A (20)、又はBが入る



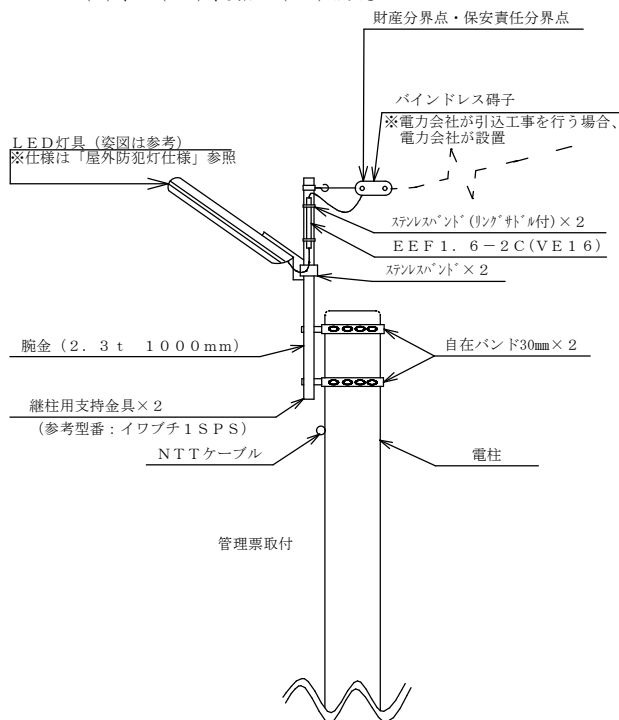
※ - 2 (電柱共架)

※ には「屋外防犯灯仕様」にて指定する
A (7)、A (10)、A (20)、又はBが入る



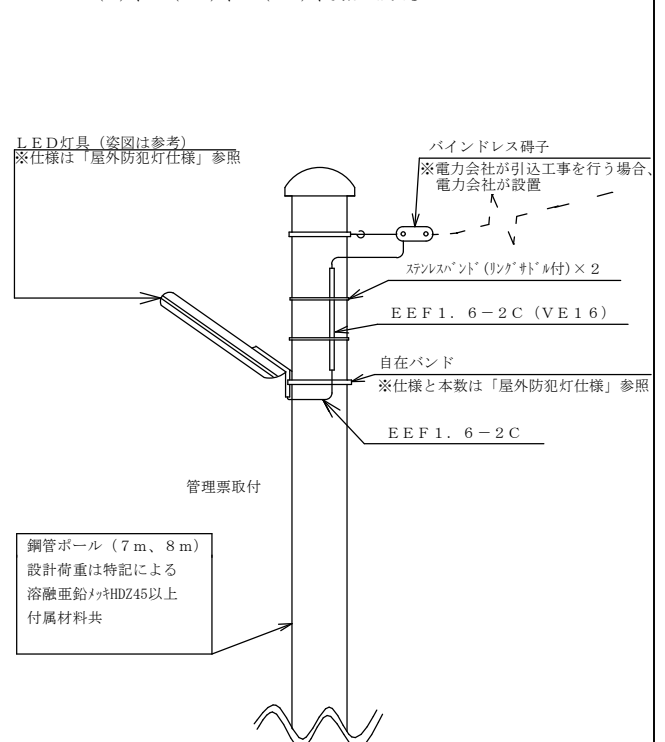
※ - 3 (電柱共架)

※ には「屋外防犯灯仕様」にて指定する
A (7)、A (10)、又はA (20) が入る



※ - 4 (自立柱共架)

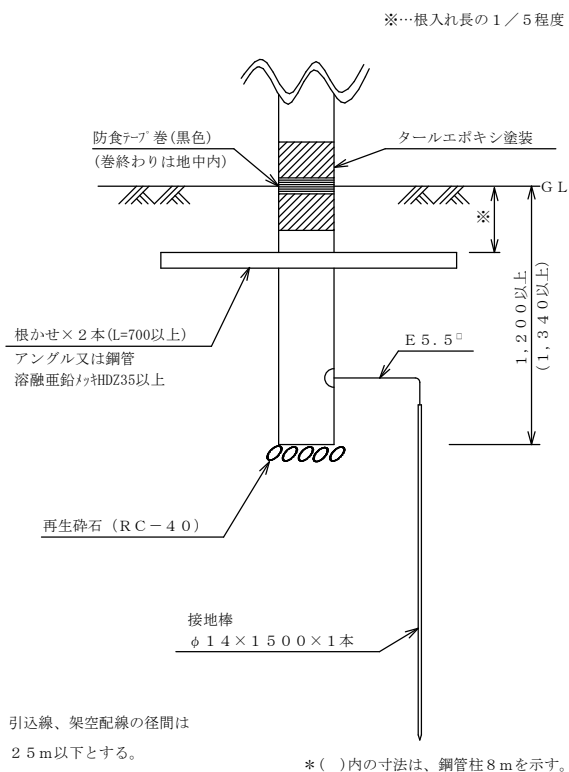
※ には「屋外防犯灯仕様」にて指定する
A (7)、A (10)、A (20)、又はBが入る



※広島市が設置している自立柱・中継柱から自営線で引込む場合、
自営線はDV 2. 6-2F又はDV 2. 6-3R (内1芯はアース線) とする。

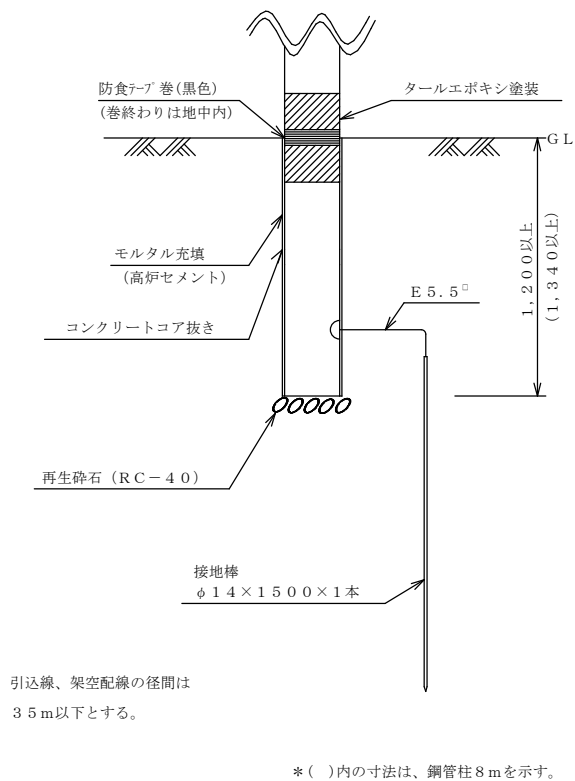
基礎－１

(自立柱・中継柱)



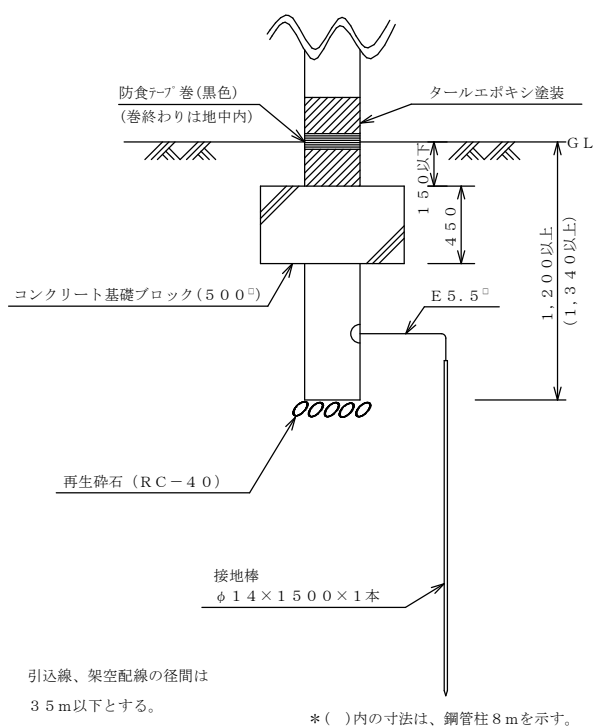
基礎－２

(自立柱・中継柱)



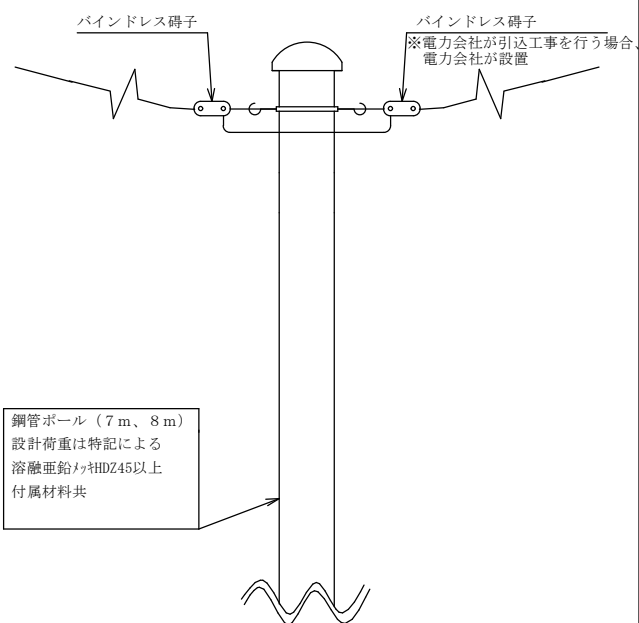
基礎－３

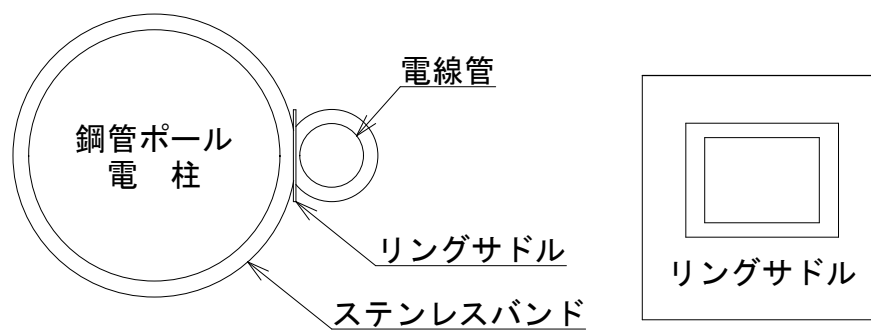
(自立柱・中継柱)



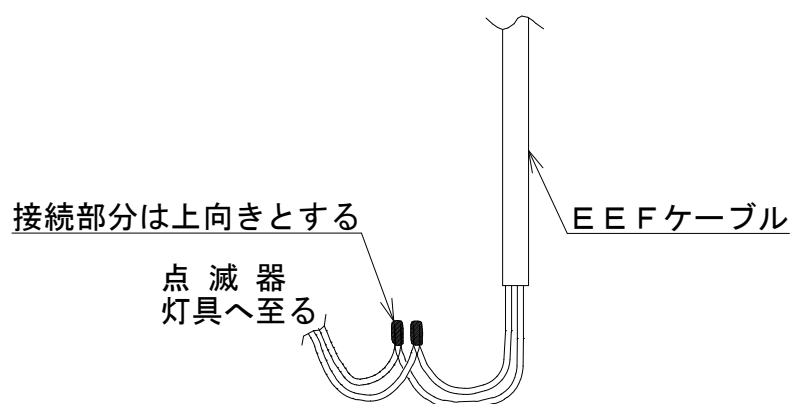
中継柱上部

(中継柱)



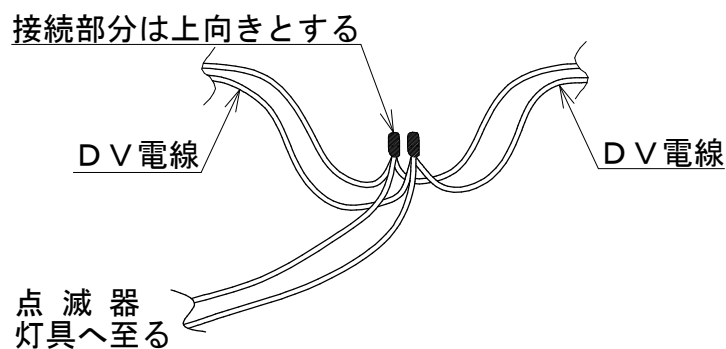


配管支持材詳細図



(テーピングは、自己融着テープを使用し、
その後ビニールテープ巻きとする。)

電線等接続詳細図



(テーピングは、自己融着テープを使用し、
その後ビニールテープ巻きとする。)

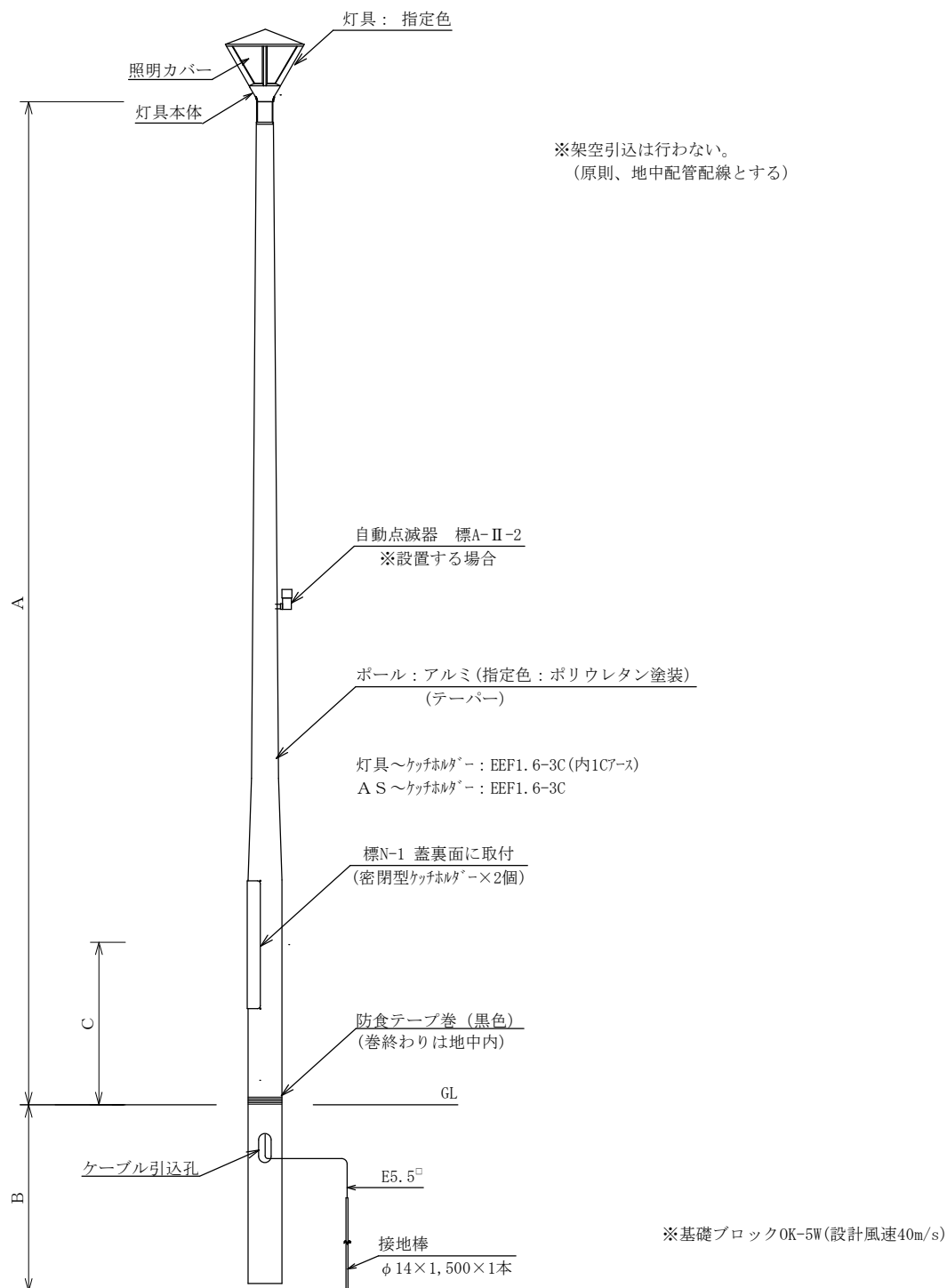
電線等接続詳細図

市電力 5	公園灯 一般事項				
(1) 記号					
記 号	形 状	ポ ー ル		ラ ン プ	灯 具
		材 質	地上高		
CPA-5A	CP：公園灯	A:アルミ材	5：5m	A：LED	頭柱形
CPA-7A			7：7m		
(2) 特記事項					
1 ポールに接地端子を設ける。					
2 密閉型ケッチホルダー(30AF)を電源電圧にあわせて取り付ける。					
3 密閉型ケッチホルダーは、キャップが上になるように取り付ける。					

市電力 6

公園灯 (アルミテーパーポール)

C P A - 5 A



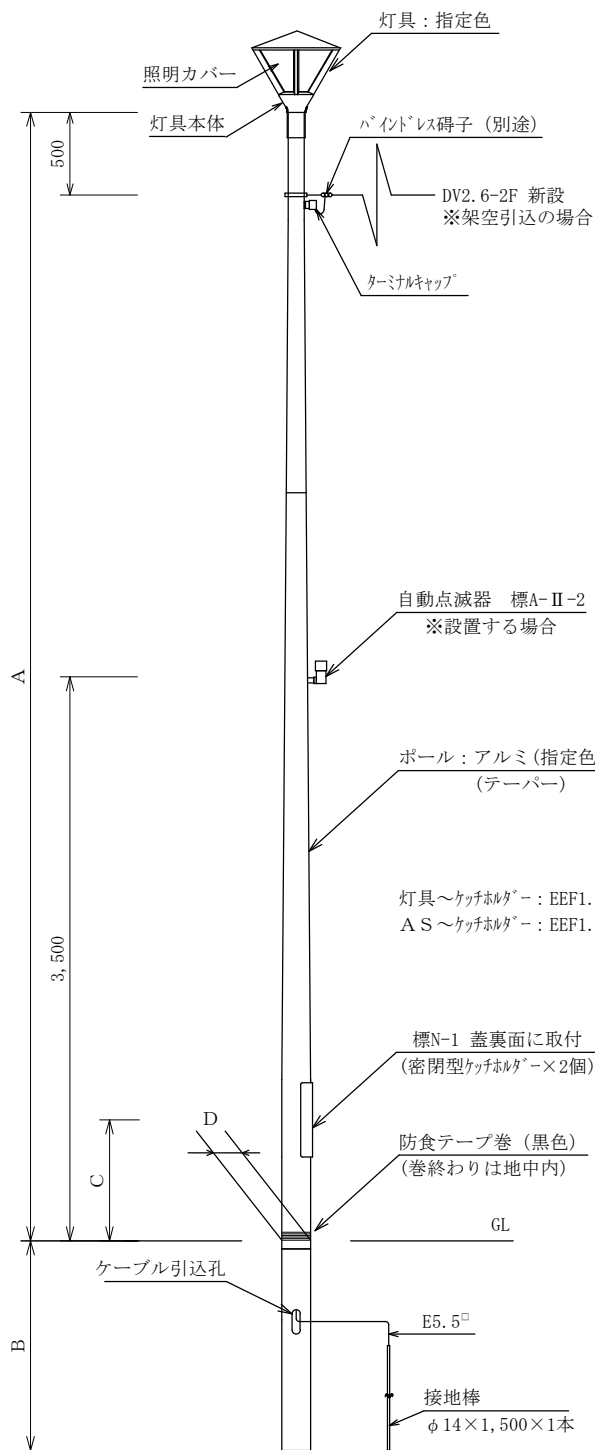
品 種	寸 法 (単位 mm)			L E D 灯 具 仕 様
	A	B	C	
CPA-5A	5000	750	750	定格光束：5000lm以上 定格消費電力：100W以下 定格入力容量：110V A以下 エネルギー消費効率：60lm/W以上 定格入力電圧：200V 光源色：4,600～5,000K(昼光色) 演色性：Ra70以上 本体材質：アルミダイカスト 照明カバー材質：アクリル(乳白)

※公園敷地面積1,000㎡程度につき1基を、通行及び防犯上必要な個所に設置する。

市電力 6

公園灯 (アルミテーパーポール)

C P A - 7 A



(設計風速: 60m/s)

引込距離	対応する 基礎ブロック	B 寸法 (mm)	D 寸法 (mm)	地際部曲げ モーメント M (t・m)	水平力 P (t)	600角基礎の 深さ (cm)
0 m	OK-7W (B)	1250	φ 180	0.8	0.2	130
1.5 m	OK-8 (B)	1500	φ 200	1.3	0.3	160
2.0 m	OK-8W (B)	1750	φ 200	1.5	0.35	170
2.5 m	OK-8W (B)	1750	φ 200	1.7	0.35	180
3.0 m	OK-10 (B)	2000	φ 200	1.9	0.4	190
3.5 m	OK-10 (B)	2000	φ 200	2.0	0.4	190
4.0 m	OK-10 (B)	2000	φ 200	2.2	0.45	200

※上記基礎ブロック以外の基礎とする場合、J I L 1 0 0 3 : (最新版)
「照明用ポール強度計算基準」による基礎寸法とすること。

品 種	寸 法 (単位 mm)				L E D 灯 具 仕 様	
	A	B	C	D		
CPA-7A	7000	1250 ∧ 2000	750	φ 180 ∧ φ 200	定格光束: 6300 lm 以上 定格消費電力: 100W 以下 定格入力容量: 110VA 以下 エネルギー消費効率: 80 lm/W 以上 定格入力電圧: 200V	光源色: 4,600~5,000K (昼光色) 演色性: Ra70 以上 本体材質: アルミダイカスト 照明カバー材質: アクリル (乳白)

※公園敷地面積1,300㎡程度につき1基を、通行及び防犯上必要な個所に設置する。

1 ポール形式

(1) 記号

記 号	材 質	ポ ー ル 形 式		地上高
CTAI-8 CTAI-10 CTAI-12 CTAIB-10 CTAIB-12	A : アルミ材	I : 直線形	無記号 : 埋込式 B : ベース式	8 : 8m 10 : 10m 12 : 12m

(2) 特記事項

1. ポールに接地端子を設ける。
2. 密閉型ケッチホルダー(30AF)を電源電圧にあわせて取り付け。
3. 密閉型ケッチホルダーは、キャップが上になる様に取り付ける。
4. 灯具はLED道路・トンネル照明導入ガイドライン（案）適合品とする。

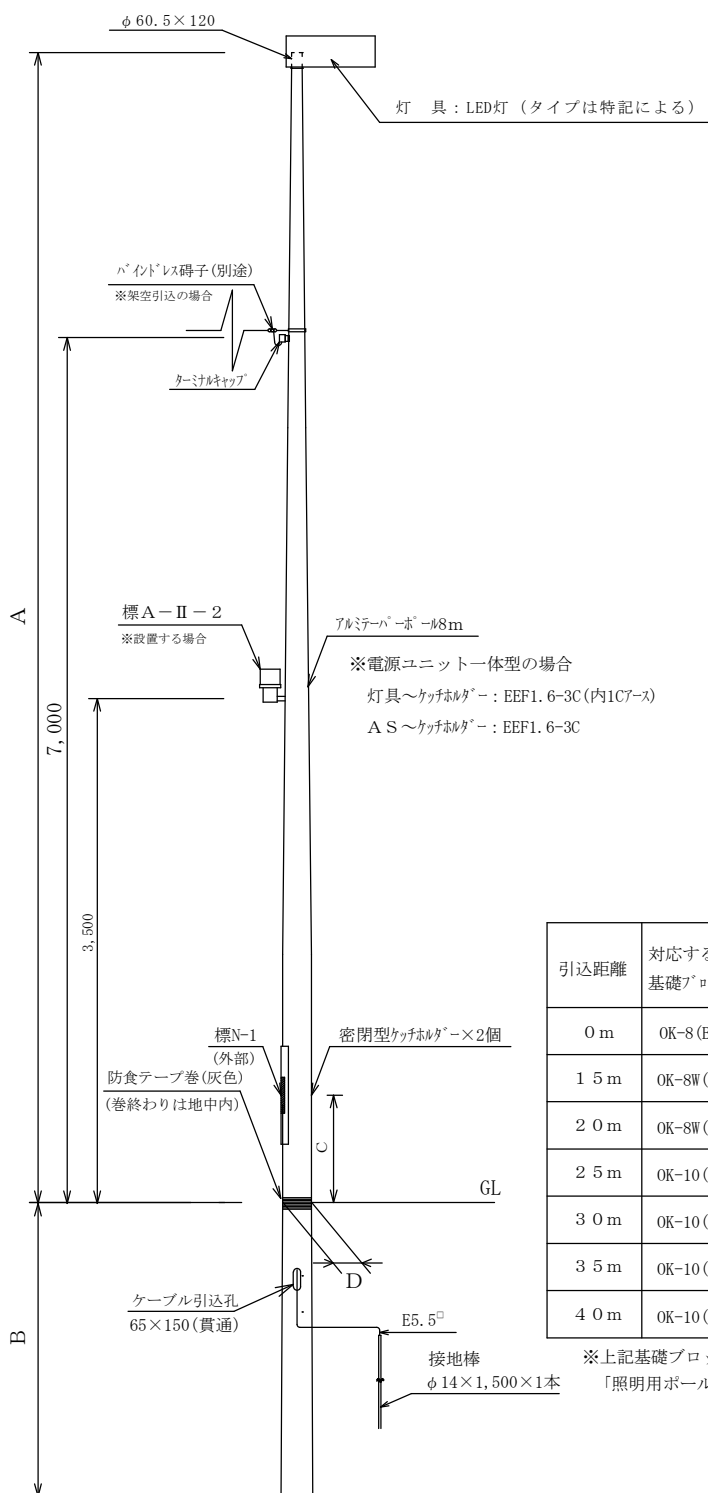
2 共架灯器具形式

(1) 記号

記 号	形 状	材 質	ランプ	灯具形式
G L G L A	GL : 電源ユニット灯具内蔵型 GLA : 電源ユニット別置可能型	無記号 : 溶融亜鉛メッキ鋼管 A : アルミ材	LED	LED道路・トンネル照明導入ガイドライン（案）による。

(2) 特記事項

1. GLAの場合、ポールに接地端子を設ける。
2. GLAの場合、密閉型ケッチホルダー(30AF)を電源電圧にあわせて取り付け。
3. GLAの場合、密閉型ケッチホルダーはキャップが上になるように取り付け。
4. GLAの場合、名称板（標）N-1Aを安定器蓋の外側に取り付ける。
5. 灯具はLED道路・トンネル照明導入ガイドライン（案）適合品とする。

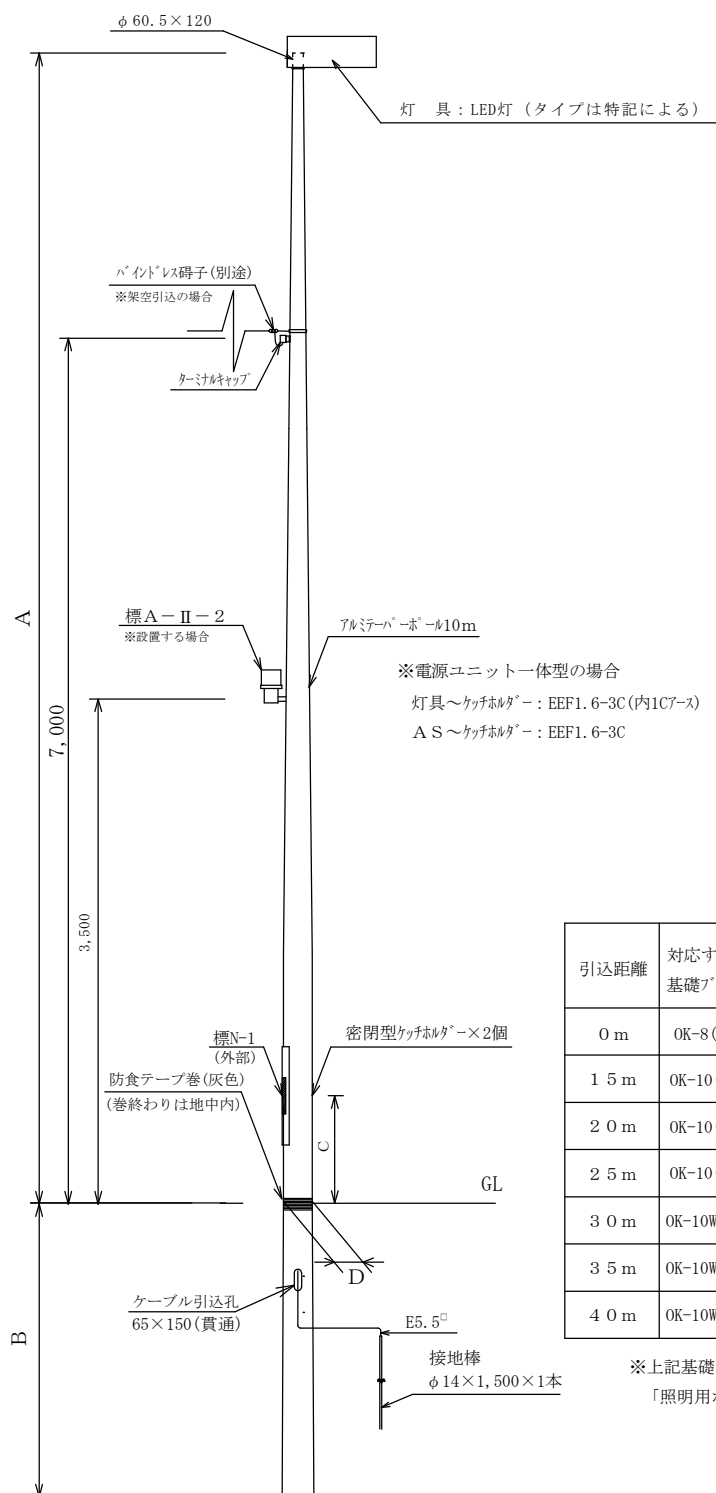


(設計風速 : 60m/s)

引込距離	対応する 基礎ブロック	B 寸法 (mm)	D 寸法 (mm)	地際部曲げ モーメント M (t・m)	水平力 P (t)	600 角基礎の 深さ (cm)
0 m	OK-8 (B)	1500	φ 190	1.0	0.25	150
1.5 m	OK-8W (B)	1750	φ 200	1.5	0.35	170
2.0 m	OK-8W (B)	1750	φ 200	1.7	0.35	180
2.5 m	OK-10 (B)	2000	φ 200	1.9	0.4	190
3.0 m	OK-10 (B)	2000	φ 200	2.2	0.4	200
3.5 m	OK-10 (B)	2000	φ 215	2.4	0.45	200
4.0 m	OK-10 (B)	2000	φ 215	2.6	0.5	210

※上記基礎ブロック以外の基礎とする場合、JIL1003 : (最新版)
「照明用ポール強度計算基準」による基礎寸法とすること。

品 種	寸 法 (単位 mm)				LED 灯具 仕様
	A	B	C	D	
CTAI-8	8000	1500 ∧ 2000	750	φ 190 ∧ φ 215	LED 道路・トンネル照明導入ガイドライン (案) による。 ※電源ユニット別置型、一体型共に使用可とする。

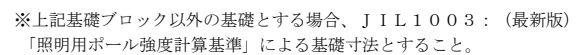


(設計風速: 60m/s)

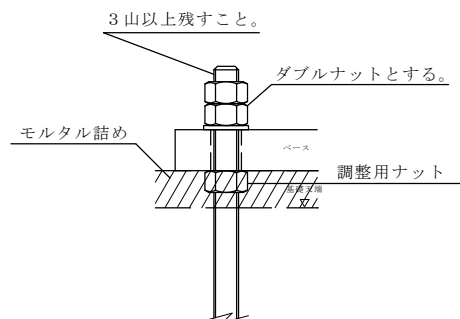
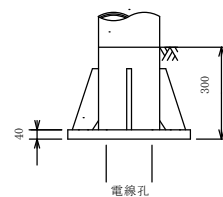
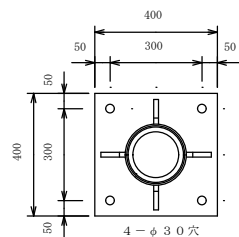
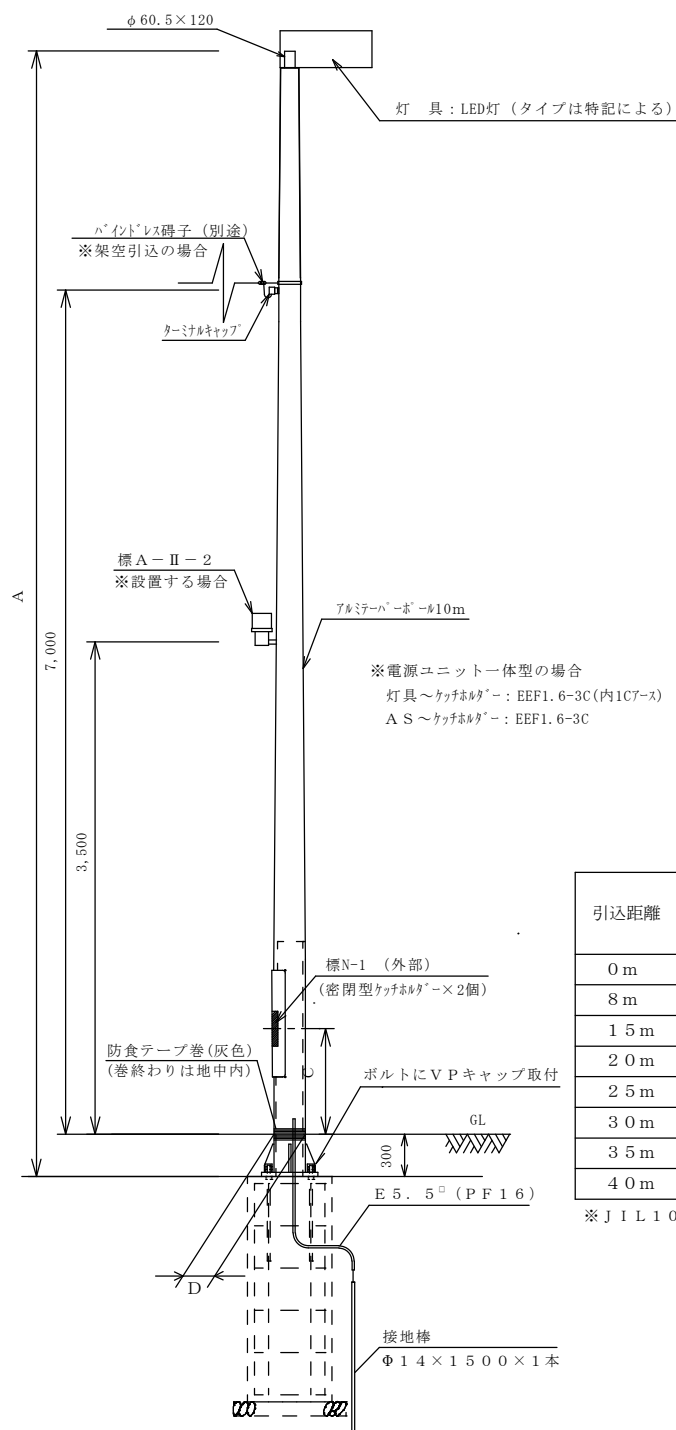
引込距離	対応する基礎ブロック	B寸法 (mm)	D寸法 (mm)	地際部曲げモーメント M (t・m)	水平力 P (t)	600角基礎の深さ (cm)
0 m	OK-8 (B)	1500	φ 200	1. 3	0. 3	1 6 0
1 5 m	OK-10 (B)	2000	φ 200	1. 9	0. 3 5	1 9 0
2 0 m	OK-10 (B)	2000	φ 215	2. 2	0. 4	2 0 0
2 5 m	OK-10 (B)	2000	φ 215	2. 4	0. 4 5	2 0 0
3 0 m	OK-10W (B)	2250	φ 230	2. 8	0. 5	2 2 0
3 5 m	OK-10W (B)	2250	φ 230	3. 0	0. 5	2 2 0
4 0 m	OK-10W (B)	2250	φ 230	3. 2	0. 6	2 2 0

※上記基礎ブロック以外の基礎とする場合、J I L 1 0 0 3 : (最新版)
「照明用ポール強度計算基準」による基礎寸法とすること。

品 種	寸 法 (単位 mm)				L E D 灯 具 仕 様
	A	B	C	D	
CTAI-10	10000	1500 ∧ 2250	750	φ 200 ∧ φ 230	L E D 道 路 ・ ト ン ネ ル 照 明 導 入 ガ イ ド ラ イ ン (案) に よ る 。 ※電源ユニット別置型、一体型共に使用可とする。



– 16 –

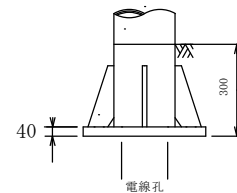
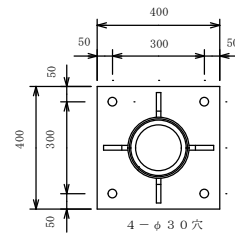
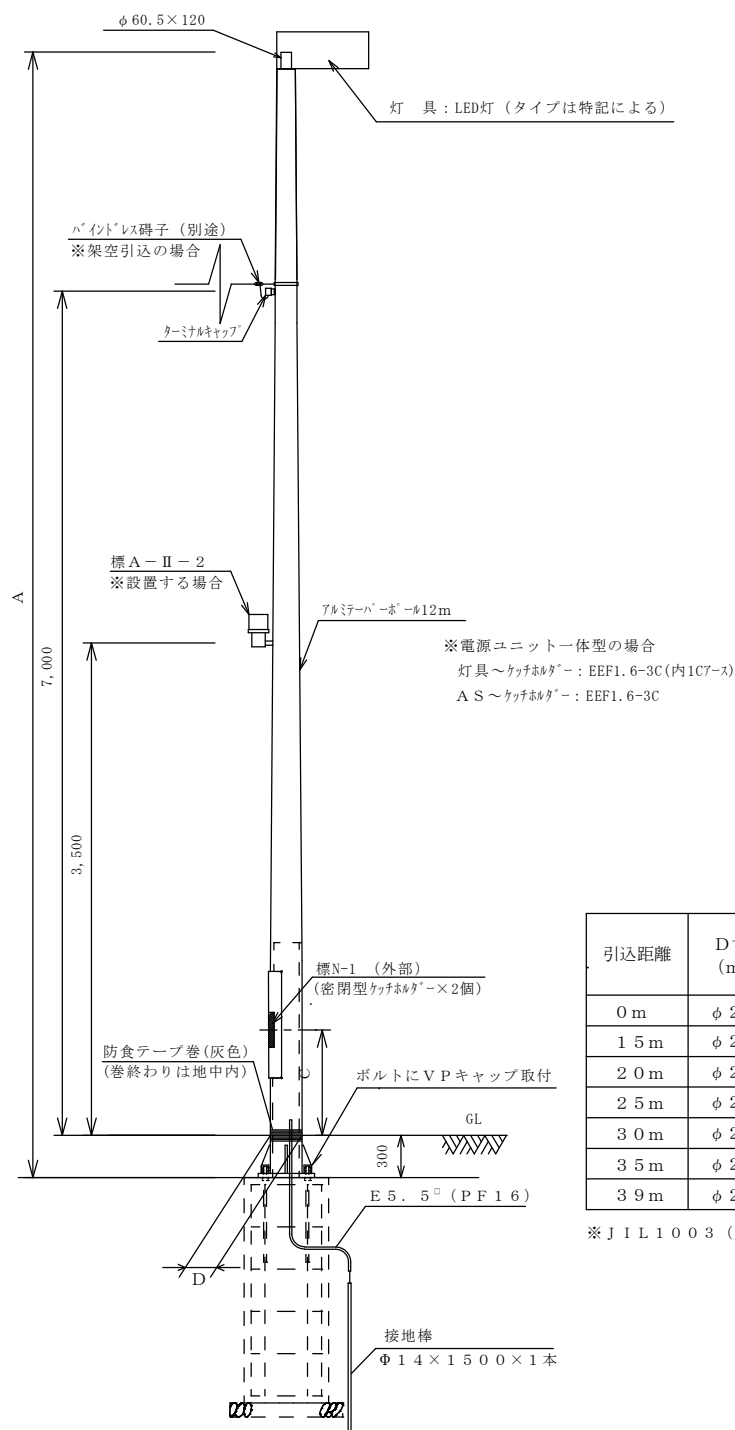


* 姿図は参考とする

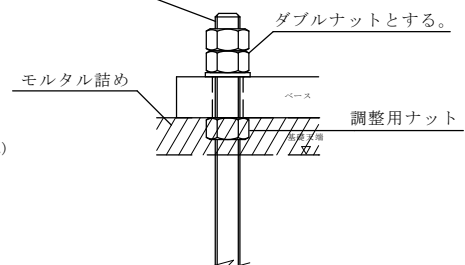
引込距離	D寸法 (mm)	地盤部曲げ モーメント M (t・m)	水平力 P (t)	ポール重量 (kg)	ベース厚 t (mm)	基礎600角の 場合の深さ (参考)
0m	φ 200	1.44	0.273	100	30	1700
8m	φ 200	1.66	0.305	100	30	1800
15m	φ 200	1.93	0.342	113	40	1900
20m	φ 215	2.28	0.395	122	40	2000
25m	φ 215	2.47	0.420	122	40	2100
30m	φ 230	2.80	0.470	145	40	2200
35m	φ 230	2.98	0.495	145	40	2200
40m	φ 230	3.17	0.520	145	40	2200

※ JIL1003 (最新版) 「照明用ポール強度計算基準」による基礎寸法とすること。

品 種	寸 法 (単位 mm)			LED灯具 仕様
	A	B	C	
CTAIB-10	10,300		750	LED道路・トンネル照明導入ガイドライン (案) による。 ※電源ユニット別置型、一体型共に使用可とする。



3山以上残すこと。

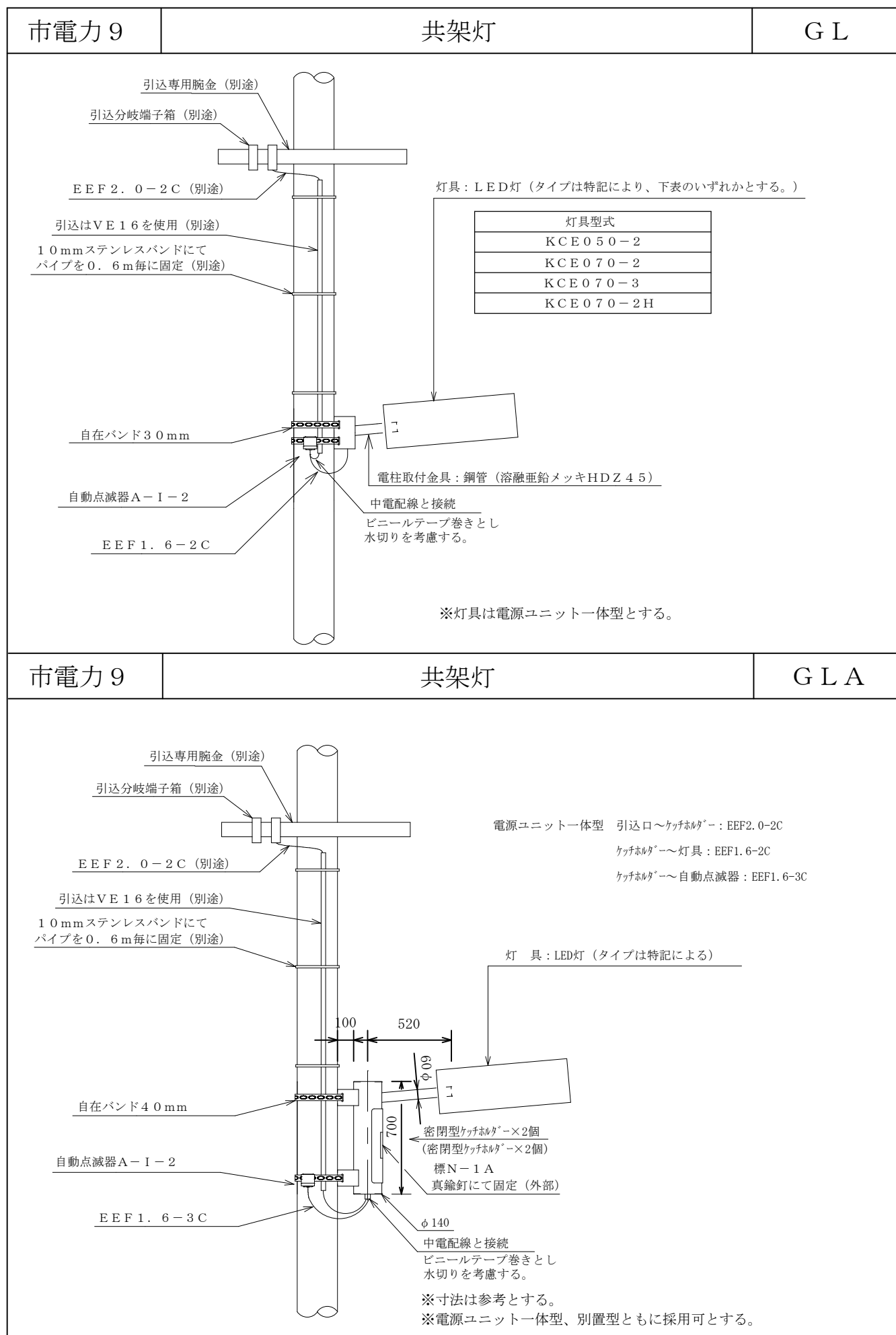


* 姿図は参考とする

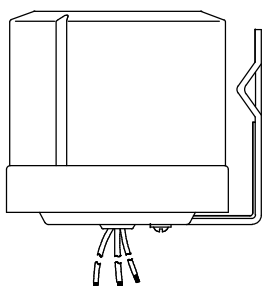
引込距離	D寸法 (mm)	地盤部曲げ モーメント M (t・m)	水平力 P (t)	ポール重量 (kg)	基礎600角の 場合の深さ (参考)
0 m	φ 230	2. 00	0. 342	150	1900
15 m	φ 230	2. 59	0. 420	150	2100
20 m	φ 230	2. 78	0. 446	152	2100
25 m	φ 230	2. 97	0. 472	152	2200
30 m	φ 230	3. 17	0. 498	155	2200
35 m	φ 230	3. 36	0. 523	155	2300
39 m	φ 230	3. 51	0. 544	155	2300

※ J I L 1 0 0 3 (最新版) 「照明用ポール強度計算基準」による基礎寸法とすること。

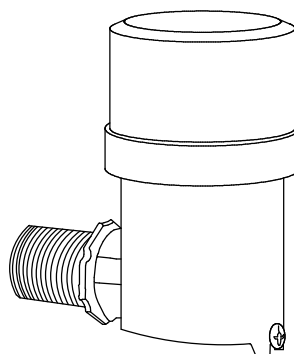
品 種	寸 法 (単位 mm)			L E D 灯具 仕様
	A	B	C	
CTAIB-12	12,300		750	L E D 道路・トンネル照明導入ガイドライン (案) による。 ※電源ユニット別置型、一体型共に使用可とする。



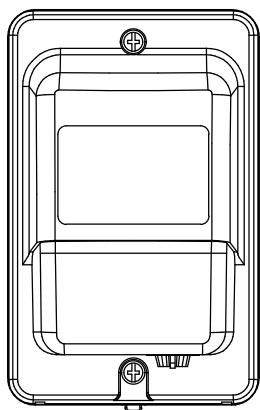
A-I



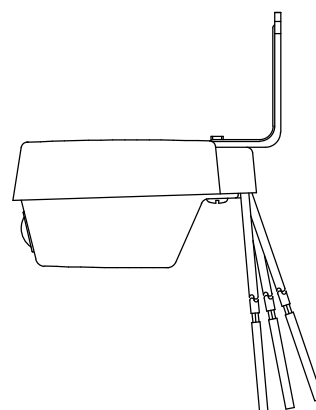
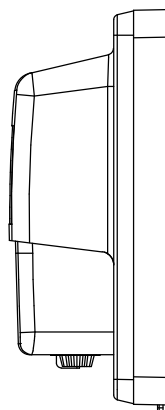
A-II



A-IV



A-V



器 種	電圧	電流(A)	摘 要
A-I-1	100	10	電磁リレー式
A-I-2	200	10	電磁リレー式
A-II-1	100	10	電磁リレー式
A-II-2	200	10	電磁リレー式
A-IV-1	100	3	埋込形 光電式
A-V-1	100	3	器具付形 光電式

N - 1

広島市	
カイト・ラインタイプ	○○○○○○
灯具型式	○○○
ポール型式	○○○
電源装置型式	○○○
施工年月	2000 年 0 月
施工業者	○○○

N - 2

年 月	
広島市	
No.	

N - 1A

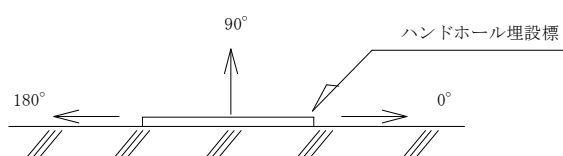
○○○○○○○	
広島市	
施工年月	2000 年 0 月
施工業者	○○○

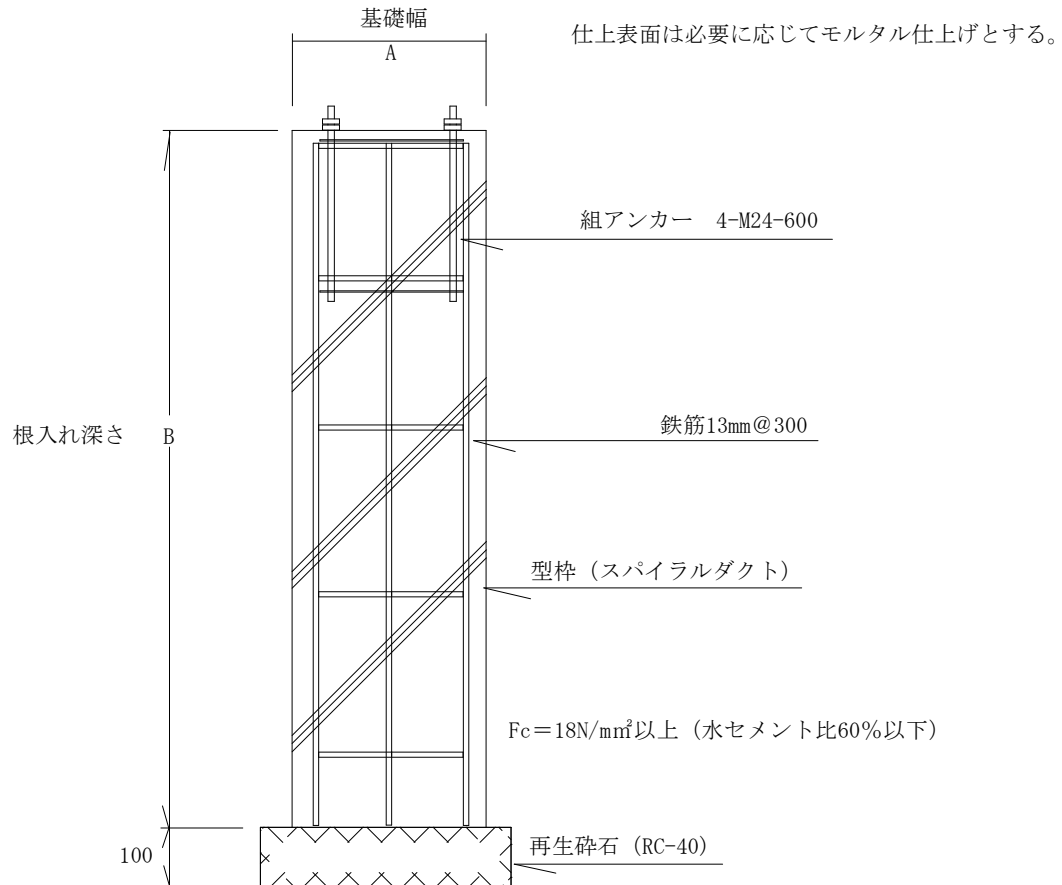
N - 3

ハンドホール 埋設標	
前方	度 m
深さ	m
設置年度	年 月
種別	

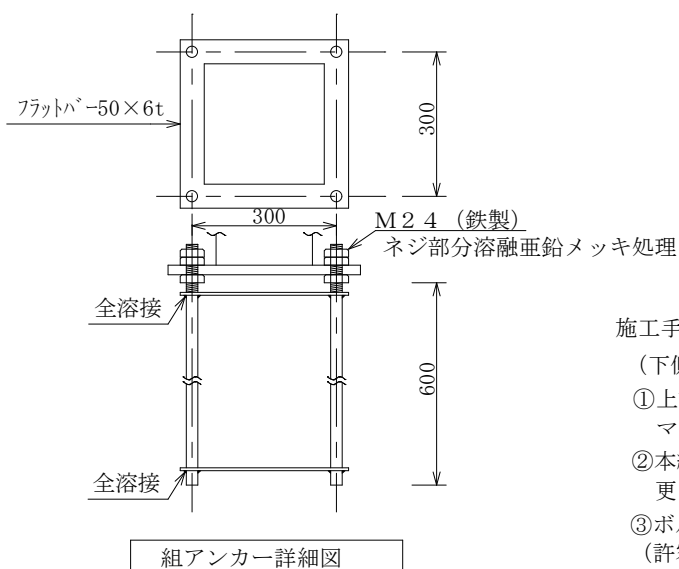
(注)

- 1 N-1、N-2、N-1Aの材質は真鍮製、厚さ0.5mm以上とする。
- 2 N-1、N-2、N-1Aは文字「広島市」と外部は赤色、その他は黒色とする。
- 3 N-3は黄銅板製厚さ1.0mm以上（曲面に取り付ける場合は0.5mm以上）のものとする。文字は、腐食加工とする。必要数字及び種別は、刻記とする。
- 4 N-1及びN-1Aは4点止めとする。
- 5 施工年月は西暦で表記する。





アンカーボルト ダブルナット締め付トルク (道路照明)



サイズ	下側ナット	上側ナット
M20	62 N・m	31 N・m
M22	82 N・m	41 N・m
M24	106 N・m	53 N・m
M27	152 N・m	76 N・m
M30	208 N・m	104 N・m

※ トルク値は上記の±10%以内とする。

施工手順

(下側ナット)

- ①上記トルクによる一次締め付けを行い、赤いマジックによるマーキングを行う。
- ②本締めとして、一次締め付けより30° (許容誤差±10°) 更に締め付け後、白マジックでマーキングを行う。
- ③ボルト赤マーキングとナット赤マーキングの角度差が30° (許容誤差±10°) であることを確認する。

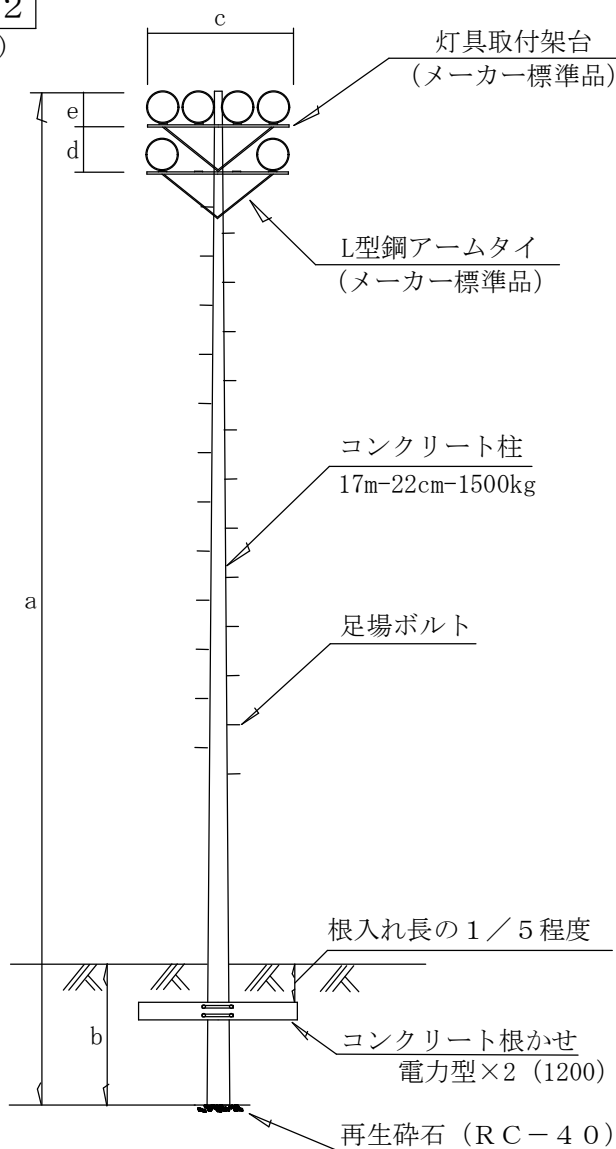
(上側ナット)

- ④下側ナットを工具で固定したまま、上側ナットを上記トルクで締め付ける。

市電力13	グラウンド照明一般事項																							
1電柱及び装柱材 (1) 特記事項 ア コンクリート柱は、全長17m、末口22 c m、設計荷重1,500 k g 以上とする。 イ 根かせは、コンクリート製（電力型）を2本設置し、その埋設深さは、地下0.35m以上とする。 ウ 電柱に足場ボルトを設ける。なお、地上3mまでは取り外しておく。 エ 装柱材は、原則として溶融亜鉛メッキ仕上げとする。なお、取付穴加工は処理前に行う。 オ 取付ボルト、ナット類は全てステンレス製とし、締付け部分は全て増締めを行う。 2灯具形式 (1) 仕様 <table><tr><td>記号</td><td>L W- 3 1 8</td></tr><tr><td>定格光束</td><td>3 1 , 8 0 0 l m以上</td></tr><tr><td>消費電力</td><td>3 6 0 W以下</td></tr><tr><td>色 温 度</td><td>5 , 0 0 0 K以上</td></tr><tr><td>演 色 性</td><td>R a 7 0 以上</td></tr><tr><td>配 光 角</td><td>広角</td></tr><tr><td>エネルギー消費効率</td><td>9 0 l m／W以上</td></tr><tr><td>本 体</td><td>アルミ</td></tr><tr><td>ア ー ム</td><td>鋼材（溶融亜鉛メッキ）</td></tr><tr><td>前面パネル</td><td>ポリカーボネード</td></tr><tr><td>定格入力電圧</td><td>2 0 0 V</td></tr></table> (2) 特記事項 ア 分岐回路と灯具の接続は、灯具付属ケーブル（メーカー標準）を使用して、接続する。 イ 電源ユニットは、灯具一体形又は別置き形のいずれでもよい。 ウ その他の仕様は、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）LPJ1W-500に準ずる。 エ 灯具には、落下防止チェーンを付けること。 オ 灯具の取付けは、二重ナット、緩み止めナット、皿ばね座金のいずれかを使用して落下防止措置を行うこと。			記号	L W- 3 1 8	定格光束	3 1 , 8 0 0 l m以上	消費電力	3 6 0 W以下	色 温 度	5 , 0 0 0 K以上	演 色 性	R a 7 0 以上	配 光 角	広角	エネルギー消費効率	9 0 l m／W以上	本 体	アルミ	ア ー ム	鋼材（溶融亜鉛メッキ）	前面パネル	ポリカーボネード	定格入力電圧	2 0 0 V
記号	L W- 3 1 8																							
定格光束	3 1 , 8 0 0 l m以上																							
消費電力	3 6 0 W以下																							
色 温 度	5 , 0 0 0 K以上																							
演 色 性	R a 7 0 以上																							
配 光 角	広角																							
エネルギー消費効率	9 0 l m／W以上																							
本 体	アルミ																							
ア ー ム	鋼材（溶融亜鉛メッキ）																							
前面パネル	ポリカーボネード																							
定格入力電圧	2 0 0 V																							

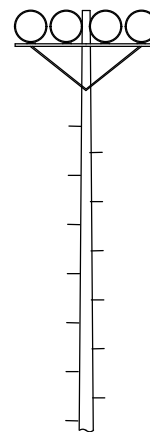
C G P - 2

(6~8灯用)



C G P - 1

(4灯用)

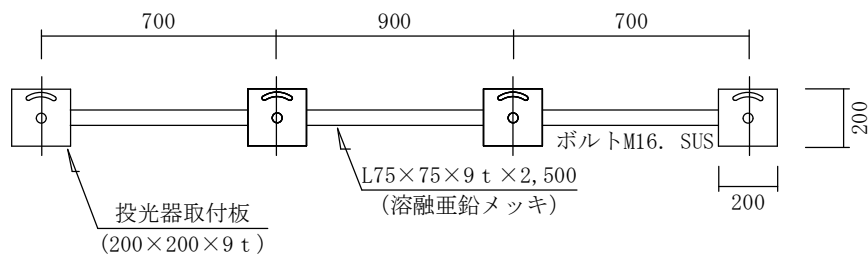


※姿図は参考とする

品 種	寸 法					内 容
	a	b	c	d	e	
CGP-1	17000	3000	2500 程度	- -	500	コンクリート柱17m-22cm-1500kg 1本 コンクリート根かせ（電力型） 2本 灯具取付架台（メーカー標準品） 4灯用 1組 電源ユニット取付架台（メーカー標準品） 1組
CGP-2	17000	3000	2500 程度	1200	500	コンクリート柱17m-22cm-1500kg 1本 コンクリート根かせ（電力型） 2本 灯具取付架台（メーカー標準品） 4灯用 2組 電源ユニット取付架台（メーカー標準品） 2組

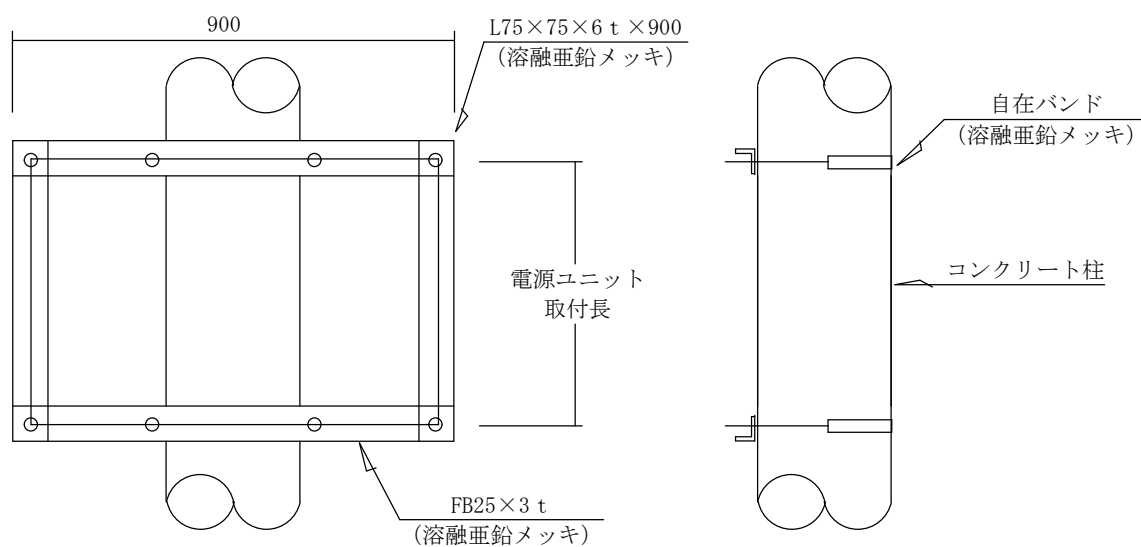
灯具取付架台【メーカー標準品】

※アームタイ、取付バンドを含む

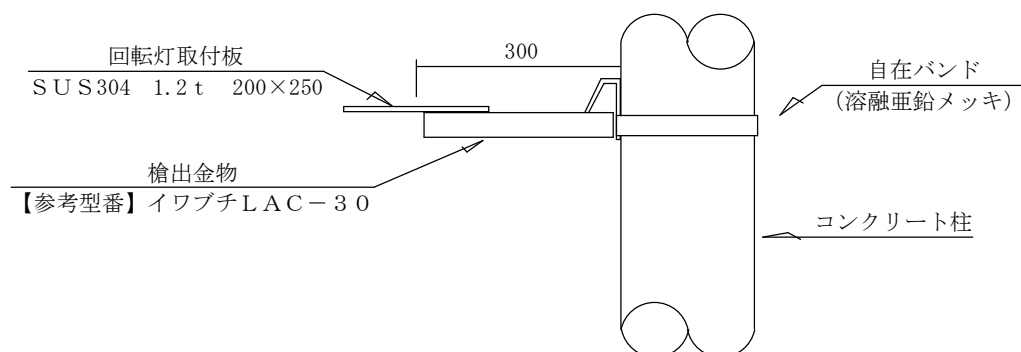


電源ユニット取付架台【メーカー標準品】

(電源ユニット別置の場合)

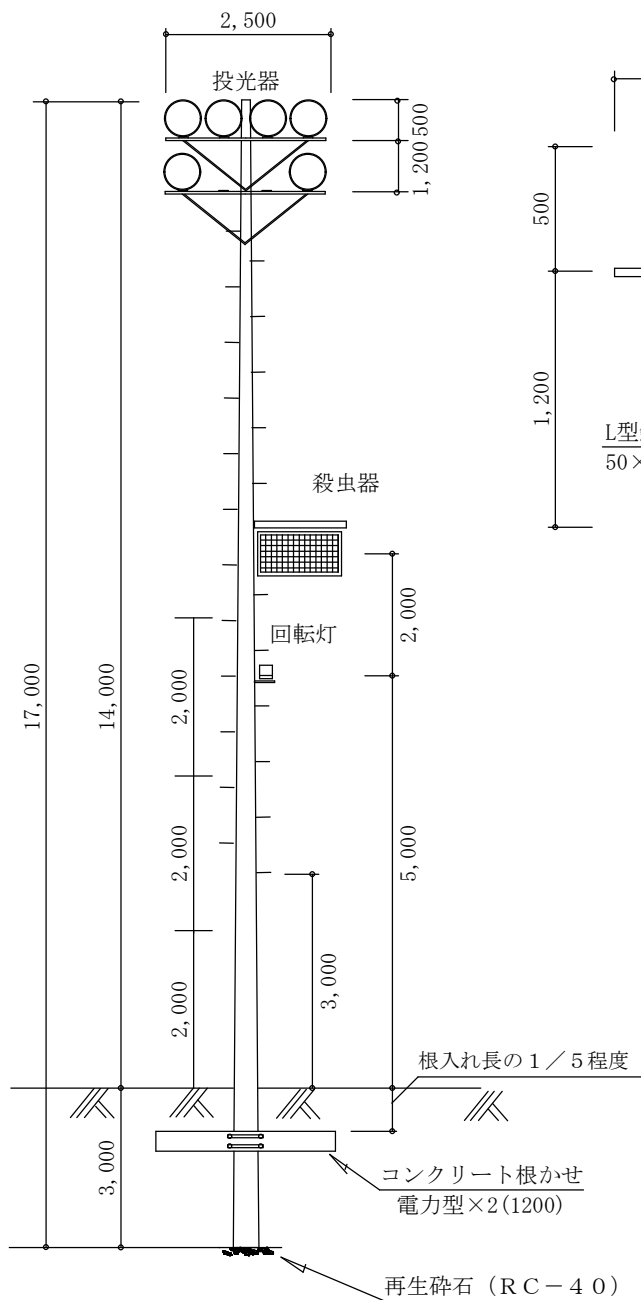


回転灯取付架台

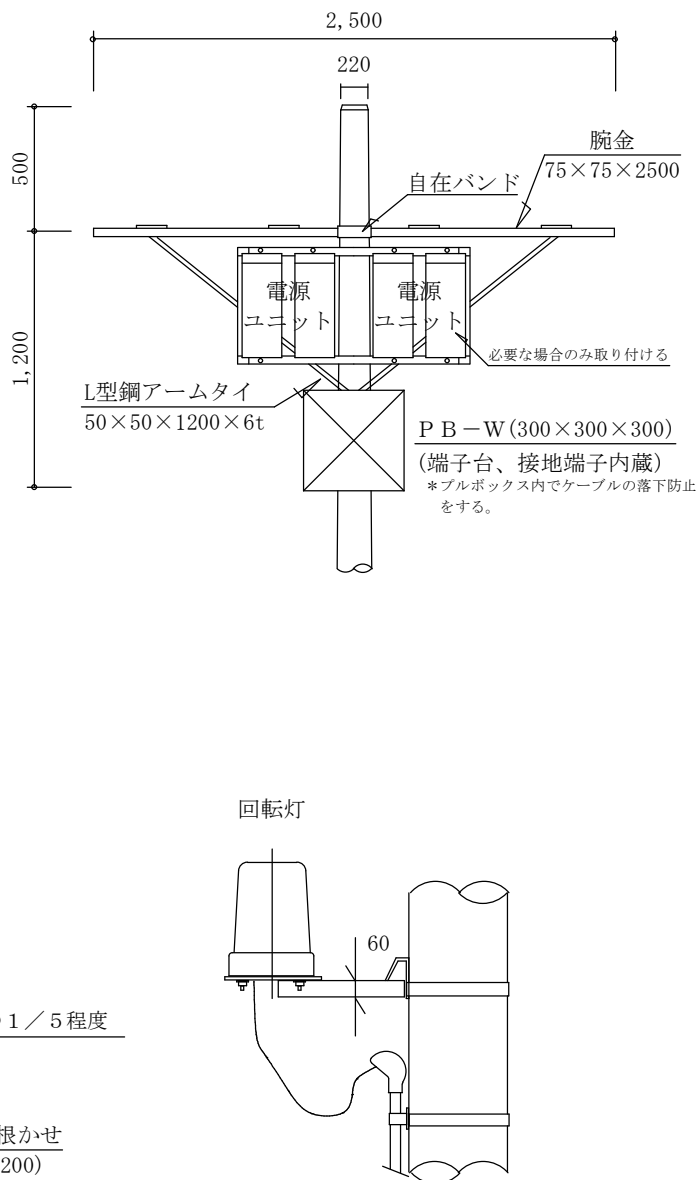


※寸法・姿図は参考とする

装柱図(全体図)【参考】



装柱図(詳細図)【参考】



施工要領

- (1) 分岐配線の接続は、全てプルボックス内にて端子接続とする。
- (2) プルボックスにて、ケーブルの落下防止をする。
- (3) 柱番号を地上高3.5m付近に黒ペンキ等で表示する。大きさは約30cm×20cm程度とする。
- (4) ハンドホールは、地面より約10cm程度下げ、ハンドホール埋設標を設置する。
- (5) ハンドホール内にてケーブルの余長を確保する。(1巻き以上)
- (6) 地上高15m以上の場合は、建築確認申請が必要となる。

1 分電盤・開閉器箱

(a) キャビネット

- (1) キャビネットを構成する材質は、下記による。屋外及び水気のある所で使用するものは、特記によりステンレス鋼板(SUS304)とする。

屋 内

屋 外

(イ) 函 板 鋼板1.6t以上 ステンレス鋼板1.2t以上

(ロ) 扉 板 鋼板1.6t以上 ステンレス鋼板1.2t以上

※ 屋内型の扉板が平板扉の場合は、鋼板3.2t以上とする。

- (2) 屋内型が平板扉の場合、前面枠及びドアの端部は折り曲げ加工しなくてよい。

- (3) ドアの鍵は、200番とする。

- (4) キャビネットの塗装は、素地ごしらえ後（ステンレス鋼板は除く）焼付塗装（メラミン又はアクリル）又は粉体塗装とする。（図面に特記する）

- (5) 特記なき限り、化粧板（保護板又はカバー）は扉式とし、その一方の固定にローレットビスを使用する。また扉の背面に絶縁板を張り付ける。

- (6) 表示灯は、LEDとする。

(b) 器具類

- (1) 配線用遮断器・漏電遮断器の定格遮断電流は、JEAC8701「低圧電路に使用する自動しゃ断器の必要なしゃ断容量」による。

(c) 表示

- (1) 盤類（屋外のプルボックス、屋外のダクト共）には、下記による適正サイズの名称板を取り付ける。（住宅用分電盤を除く）

盤面用銘板

透明アクリライト裏白地

丸ゴシック体、黒文字、裏面彫刻

取付 貼付H形 又はビス止め B形（2ヶ所ビス）

BS形（2ヶ所ビス） t1.5製ヘアーライン仕上げ

〔参考〕

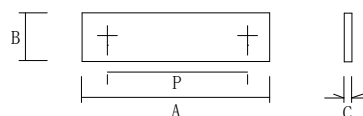
(単位：mm)

貼付用	ビス止用	A	B	C	ビス止用、穴ピッチ、サイズ	
H-4.5	B-4.5	45	15	2	P-37	Φ3.5
H-6	B-6	60	20	2	P-50	Φ3.5
H-10	B-10	100	25	3	P-90	Φ3.5
H-15	B-15	150	30	3	P-138	Φ3.5
H-20	B-20	200	35	3	P-188	Φ4.5
H-30	B-30	300	50	4	P-286	Φ4.5

貼付用H形



ビス止用B形



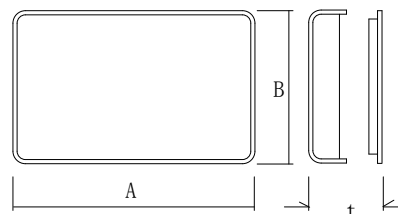
(2) 分電盤、制御盤の負荷名称板は、下図とする。

プラスチック製透明カバー付

[参考]

(単位: mm)

形式	A	B	t
P-1	64	35.5	7
P-2	46	24	6
P-3	38	22	6
P-4	30	20	5



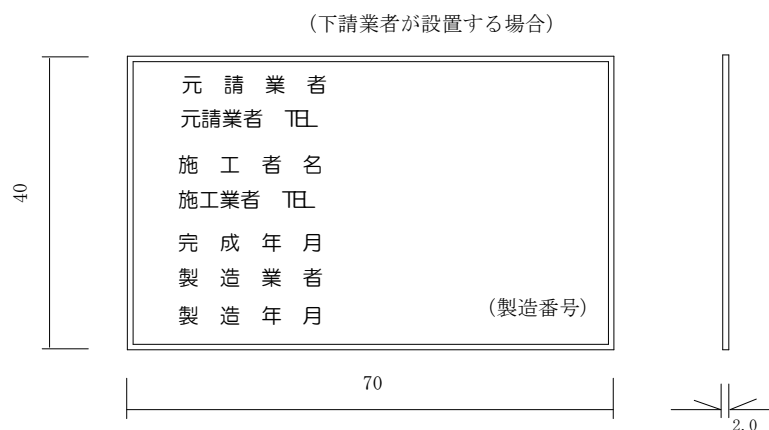
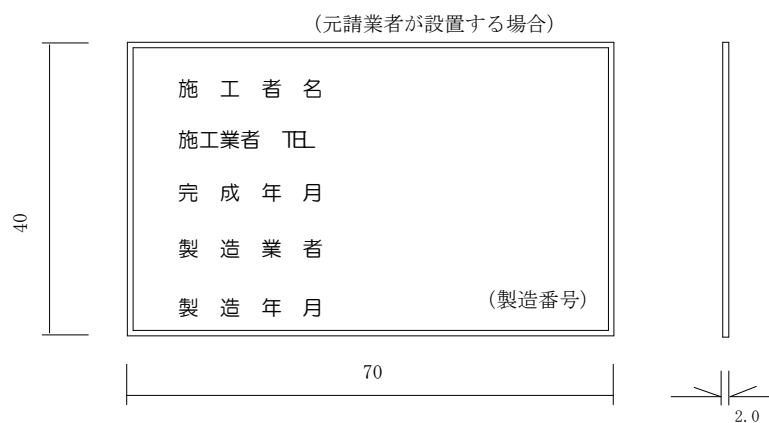
(3) 分電盤、制御盤の施工者銘板は、下図とする。(住宅用分電盤を除く)

仕様は盤面用銘板に準ずる

透明アクリライト裏白地

丸ゴシック体、黒文字、裏面彫刻

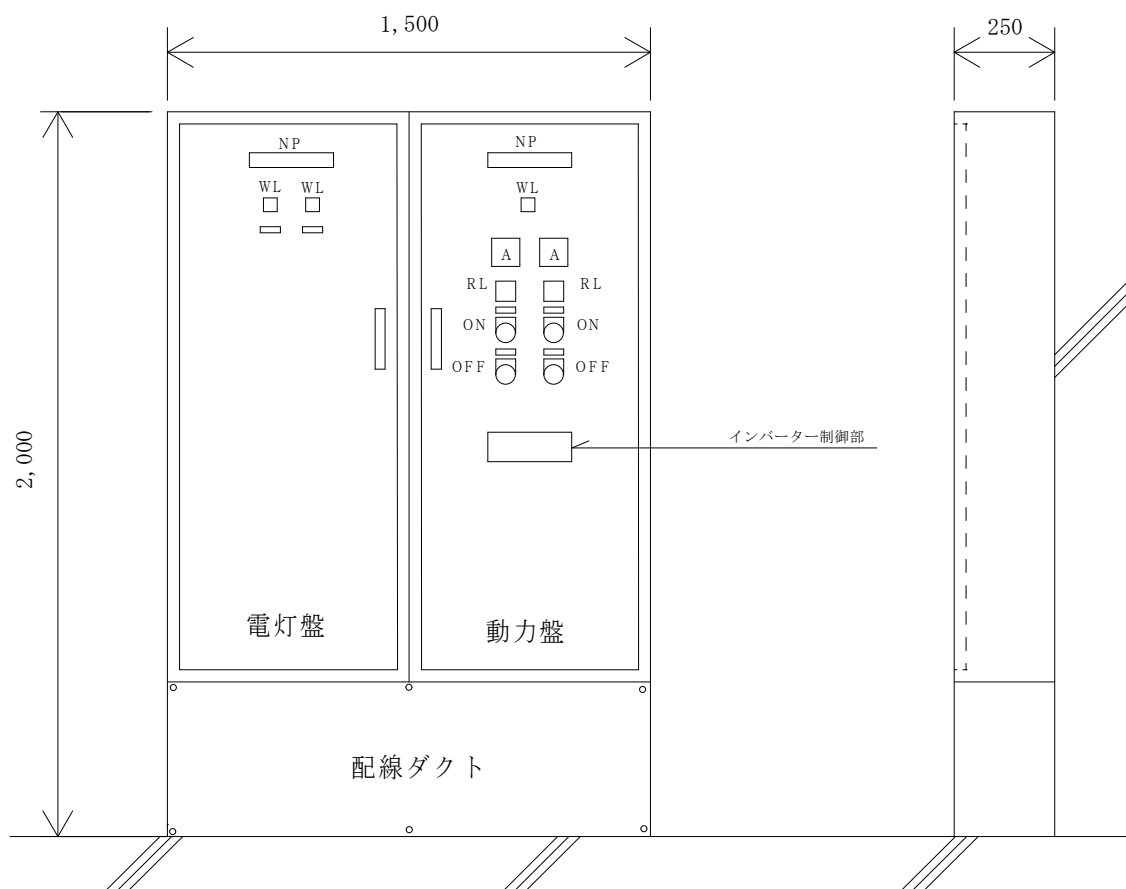
取付方法 貼付



※ 改修の場合に限り、テプラ等のシール類による表示も可とする。

2 制御盤

(1) 「1 分電盤・開閉器箱」の(a)(1)・(3)～(6)、(b)～(c)による。

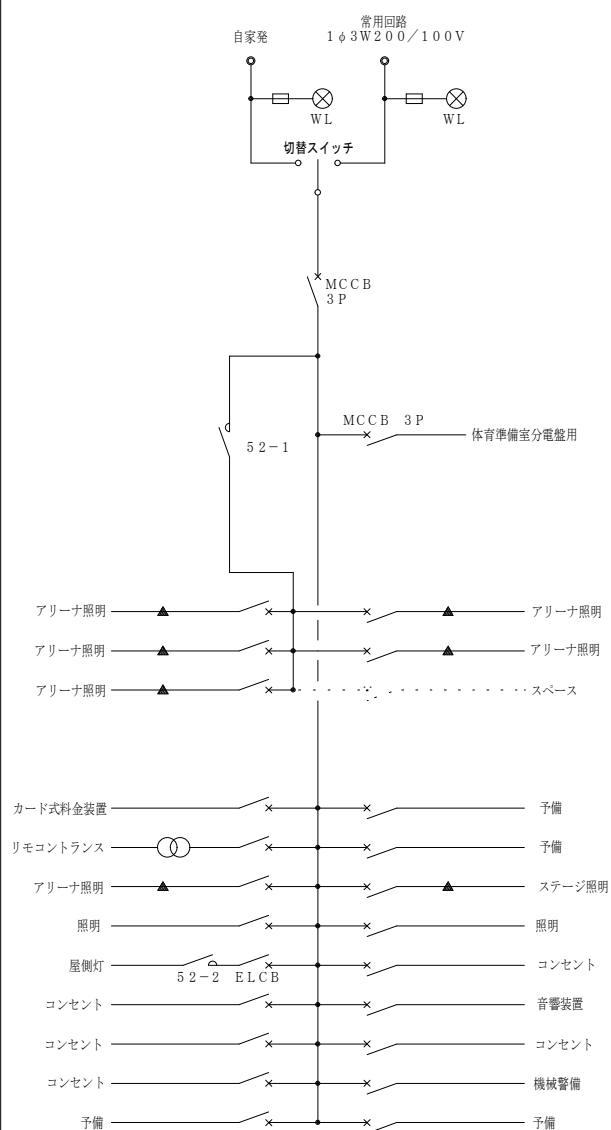


製作仕様	
函板	鋼板 1.6 t 以上
扉板	鋼板 1.6 t 以上
化粧板	鋼板 1.6 t 以上
ダクト	鋼板 1.6 t 以上
把手	平面 (200)
蝶番	裏面
塗装	焼付塗装 (メラミン又はアクリル) 又は粉体塗装

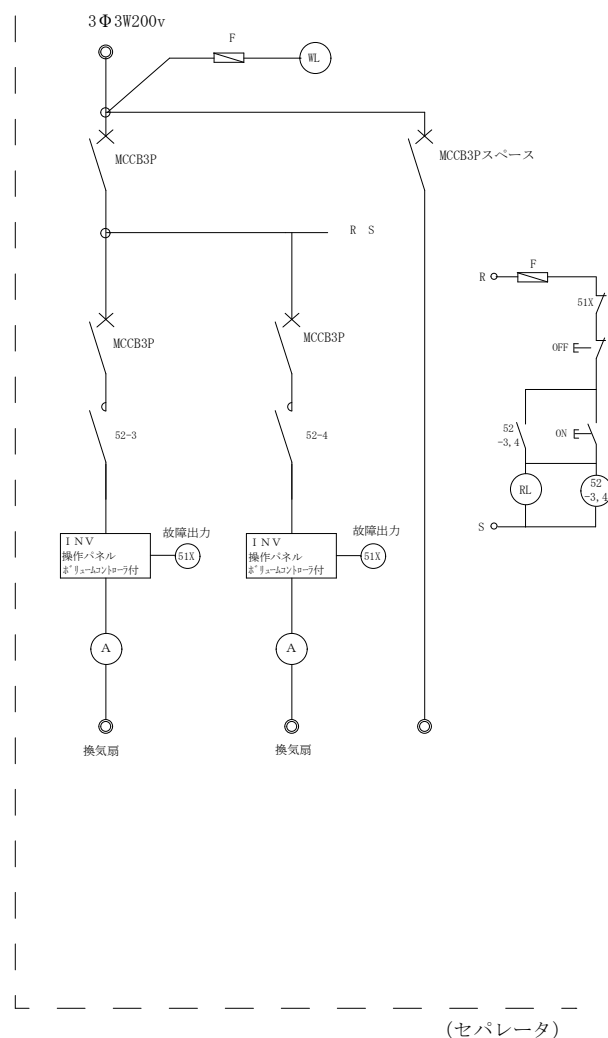
- (注) 1 配線用ダクトには、配線支持用サポートを取付のこと。又、分電盤のガータースペース内にも、一次側ケーブル用サポートを取付のこと。
- 2 電灯回路と動力回路の間は、1.6mm以上の鋼板で離壁を設ける。
- 3 マグネットスイッチは直流励磁方式とし、定格容量は100A以上とする。

※形状、寸法は参考とする。

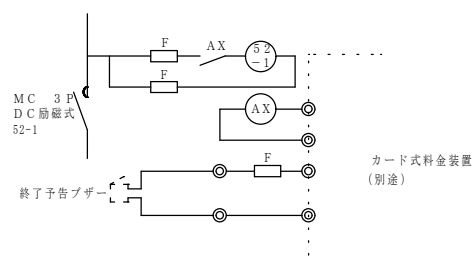
(電灯盤系統図・操作回路)



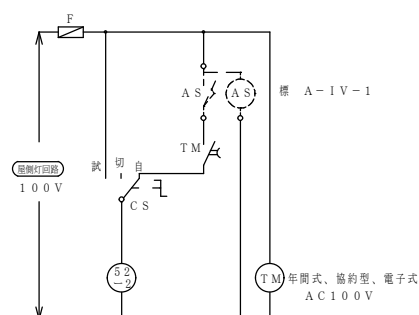
(動力盤系統図・操作回路)



(セパレータ)

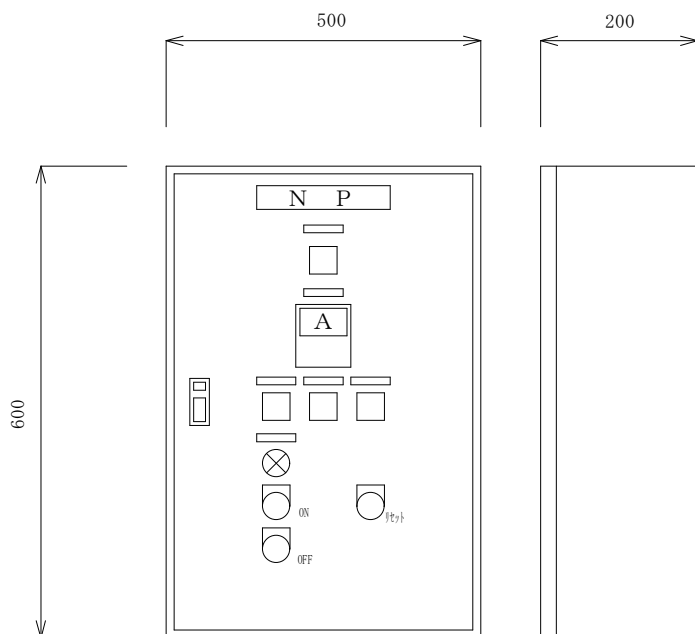


カード式料金装置回路



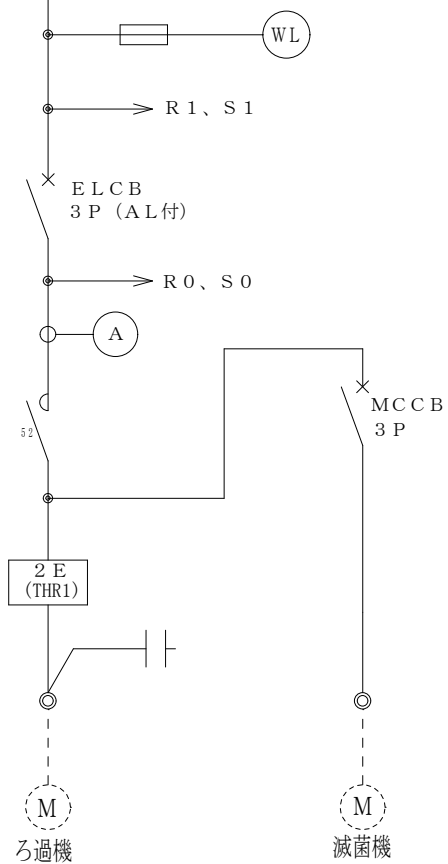
屋側灯制御回路

* 回路図は参考とする。



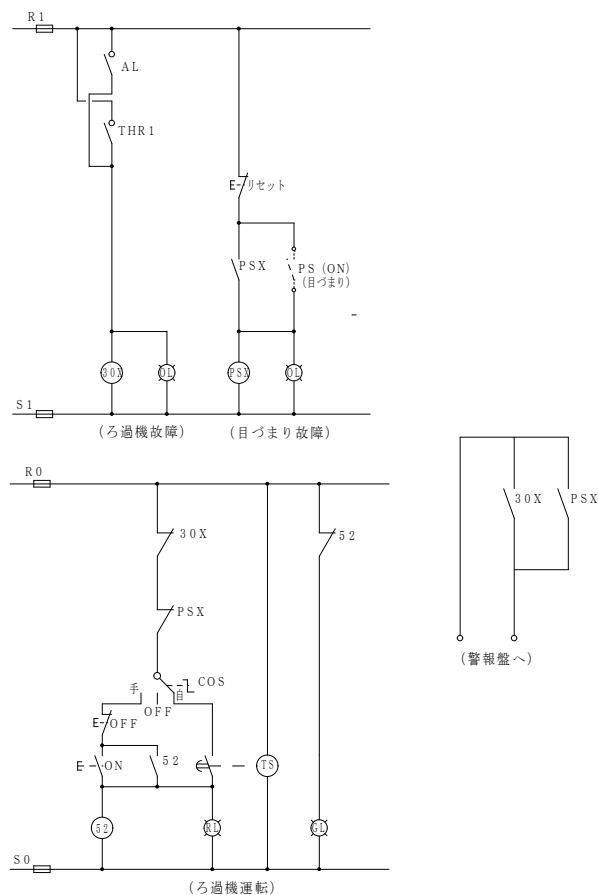
形式	屋外壁掛密閉型
函板	SUS 304 1.2 t 以上
扉板	SUS 304 1.2 t 以上
蝶番	裏面 (SUS)
把手	平面ハンドル (No.200)
塗装	焼付塗装 (メラミン又はアクリル) 又は粉体塗装
ベース	鋼板 2.3 t 以上

3 φ 3 W 200 V



(セパレータ)

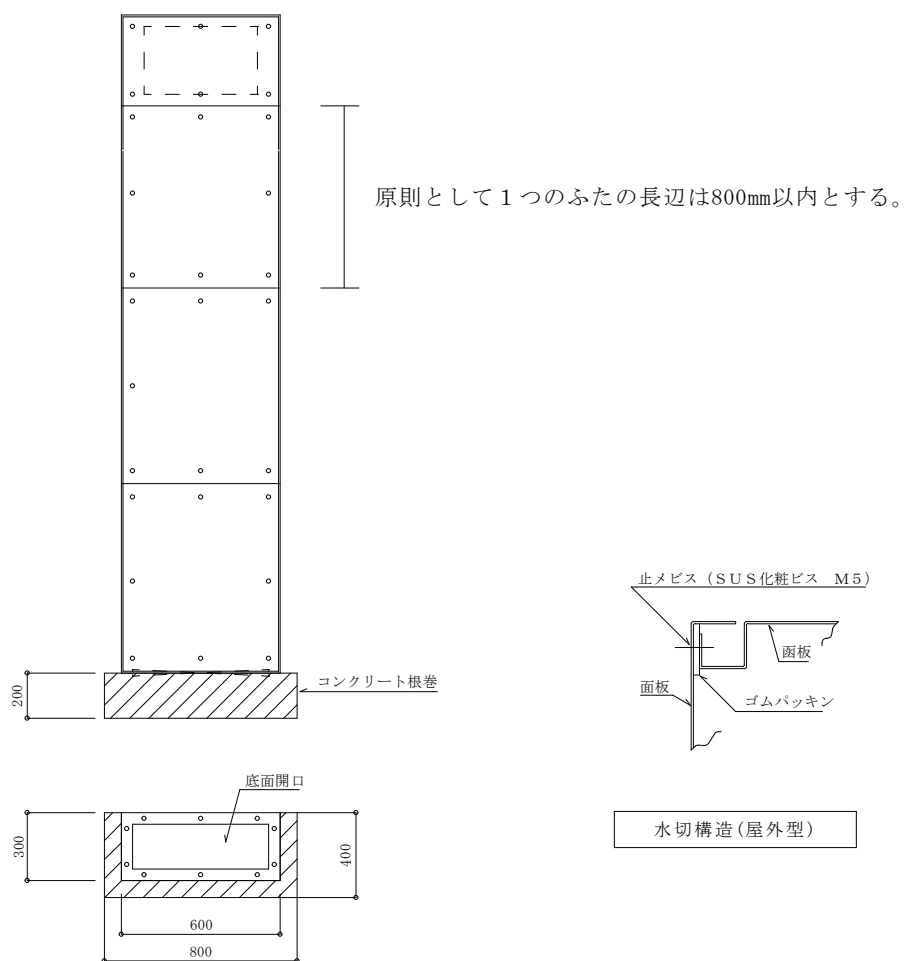
(制御回路)



* 形状、寸法、回路図は参考とする。

市電力 2 1	電線保護物類一般事項	
	1. 一般事項 (1) 良質な材料で構成し、各部は容易に緩まず、丈夫で耐久性に富み、電線の接続、操作、機器類の保守・点検・修理などが容易なものとする。 (2) 寸法は、参考的に示しているものであり、図中の寸法に拘束はしない。	

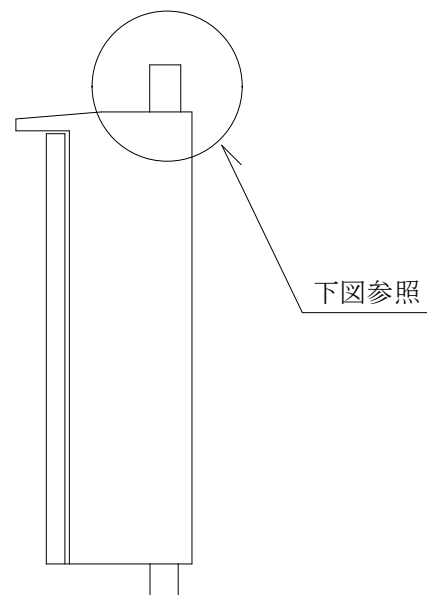
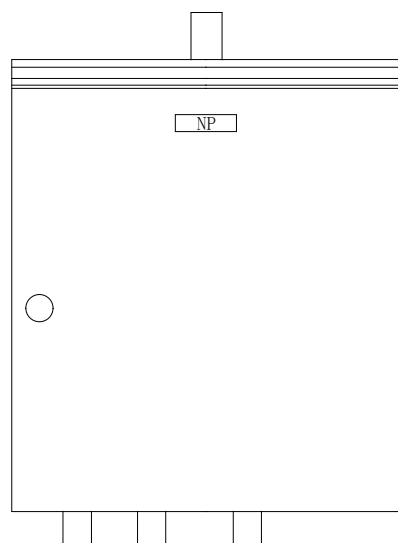
市電力 2 2		プルボックス		P B	
埋込型 (PB) A A + 50 B B + 50 露出型 (PB) A C B 防水型 (PB-W) A C B ゴムパッキン					
製 作 仕 様 屋 内 用 (PB) 函 板 1.6 t 鋼板 (セパレートを含む) 面 板 1.6 t 鋼板 止めビス 表面 (クロームメッキ仕上、真鍮製) 塗 装 焼付塗装 (メラミン又はアクリル) 外 形 500×500以上にはアングル等にて補強又は 2.3 t 以上の鋼板を使用のこと。 屋 外 用 (PB-W) 函 板 1.2 t SUS 304 (セパレートを含む) 面 板 1.2 t SUS 304 止めビス 屋内用と同じ又はステンレス製 塗 装 焼付塗装 (メラミン又はアクリル) (※) 外 形 500×500以上にはアングル等にて補強又は 1.5 t 以上のSUS 304を使用のこと。 そ の 他 プルボックスを固定するためのボルト、ナット は内部取付構造でも良い。					
* 上記に明記していない事項については、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】によるものとする。					



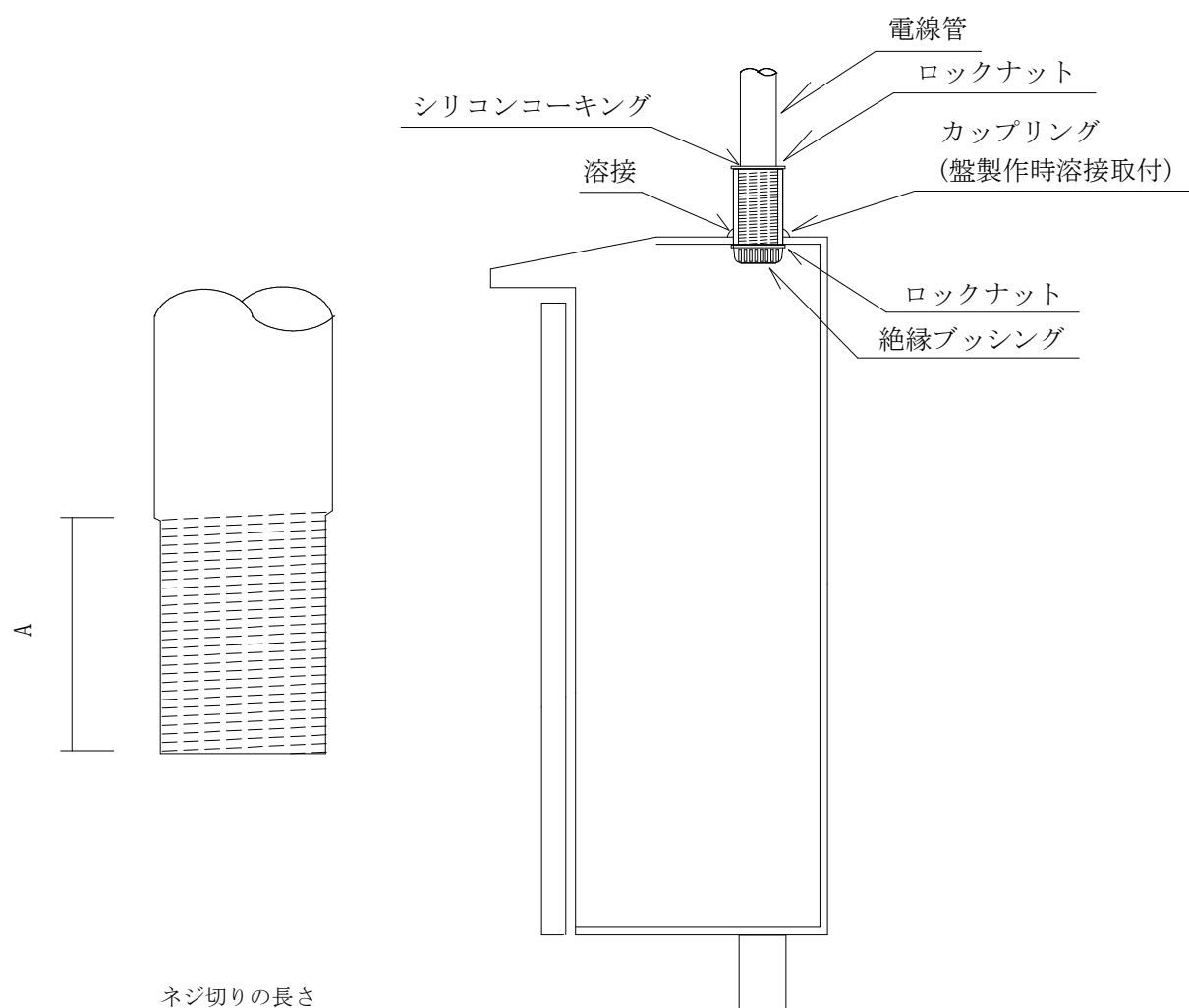
※ 形状・寸法は参考とする

材 質	屋 内 型	屋 外 型
函 板 (セパレートを含む)	鋼板 1.6t以上	SUS304 1.2t以上
面 板	鋼板 1.6t以上	SUS304 1.2t以上
止めビス	表面 (クロームメッキ仕上、真鍮製)	屋内用と同じ又はステンレス製
防 錆	ブルボックスと同様	—
塗 装	焼付塗装 (メラミン又はアクリル)	焼付塗装 (メラミン又はアクリル)
そ の 他	特記により蓋に把手を設ける。 なお、把手は回転式 (A-174又は A-174-P等) とする。	特記により蓋に把手を設ける。 なお、把手は回転式 (防水型) (A-174-P等) とする。ふたは水切構造とする。

* 上記に明記していない事項については、公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)【国土交通省大臣官房官庁営繕部監修】によるものとする。



カップリング溶接部分施工詳細図(上部配管の場合)



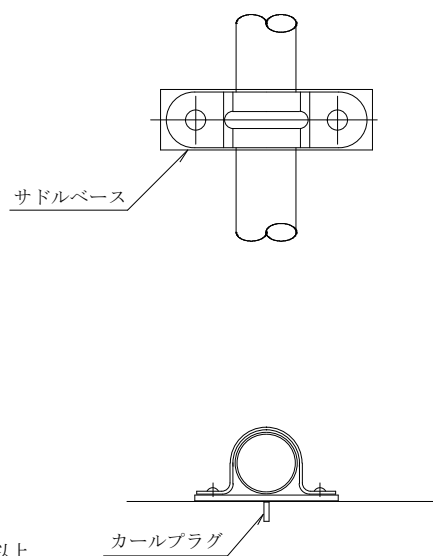
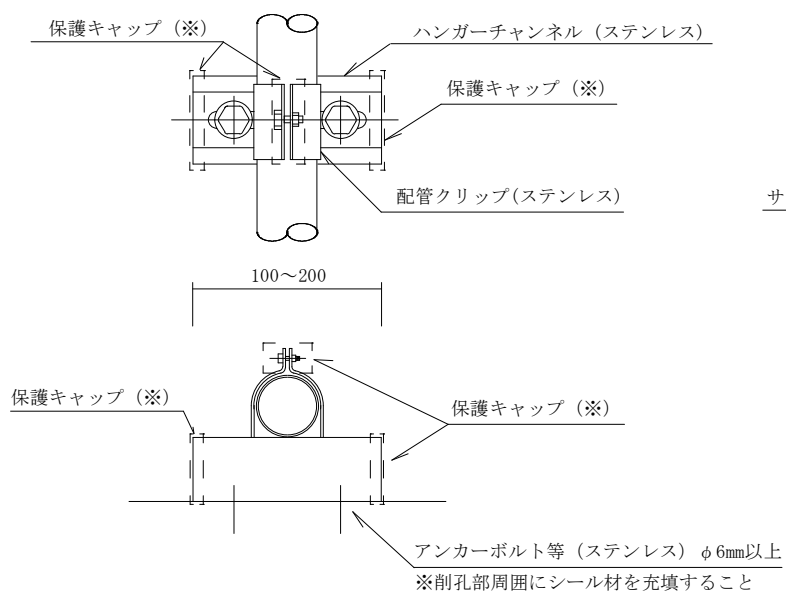
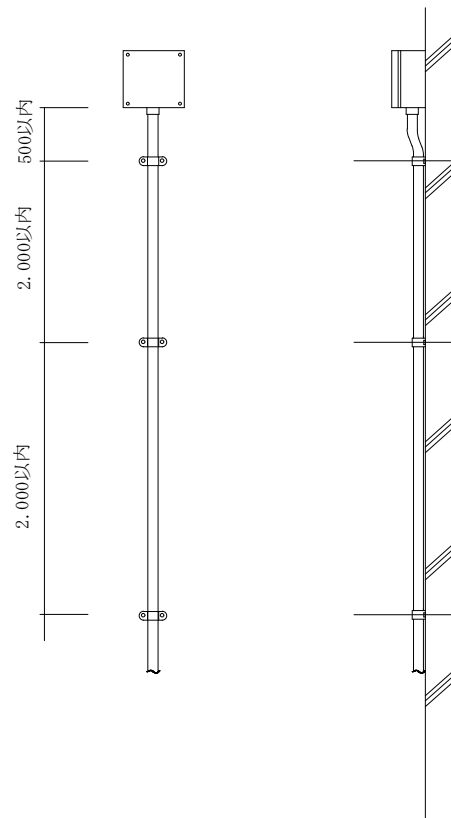
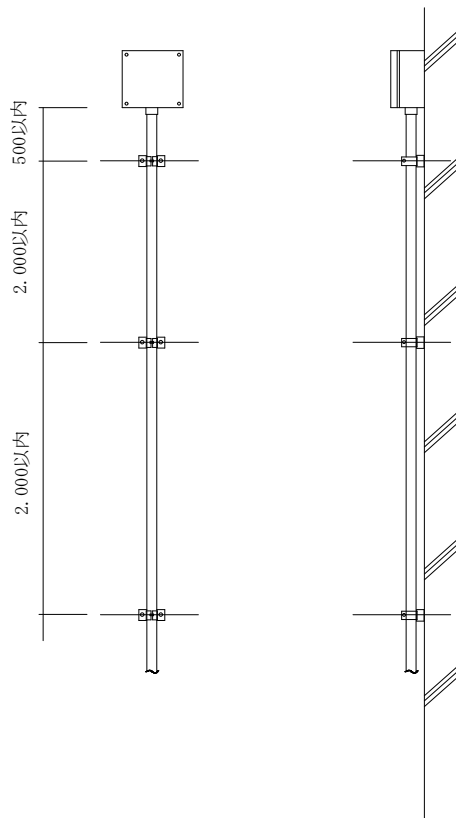
ネジ切りの長さ

$$A = (\text{ロックナット} \times 2) + \text{カップリング} + \text{絶縁ブッシング}$$

屋外及び水気のある屋内

屋内

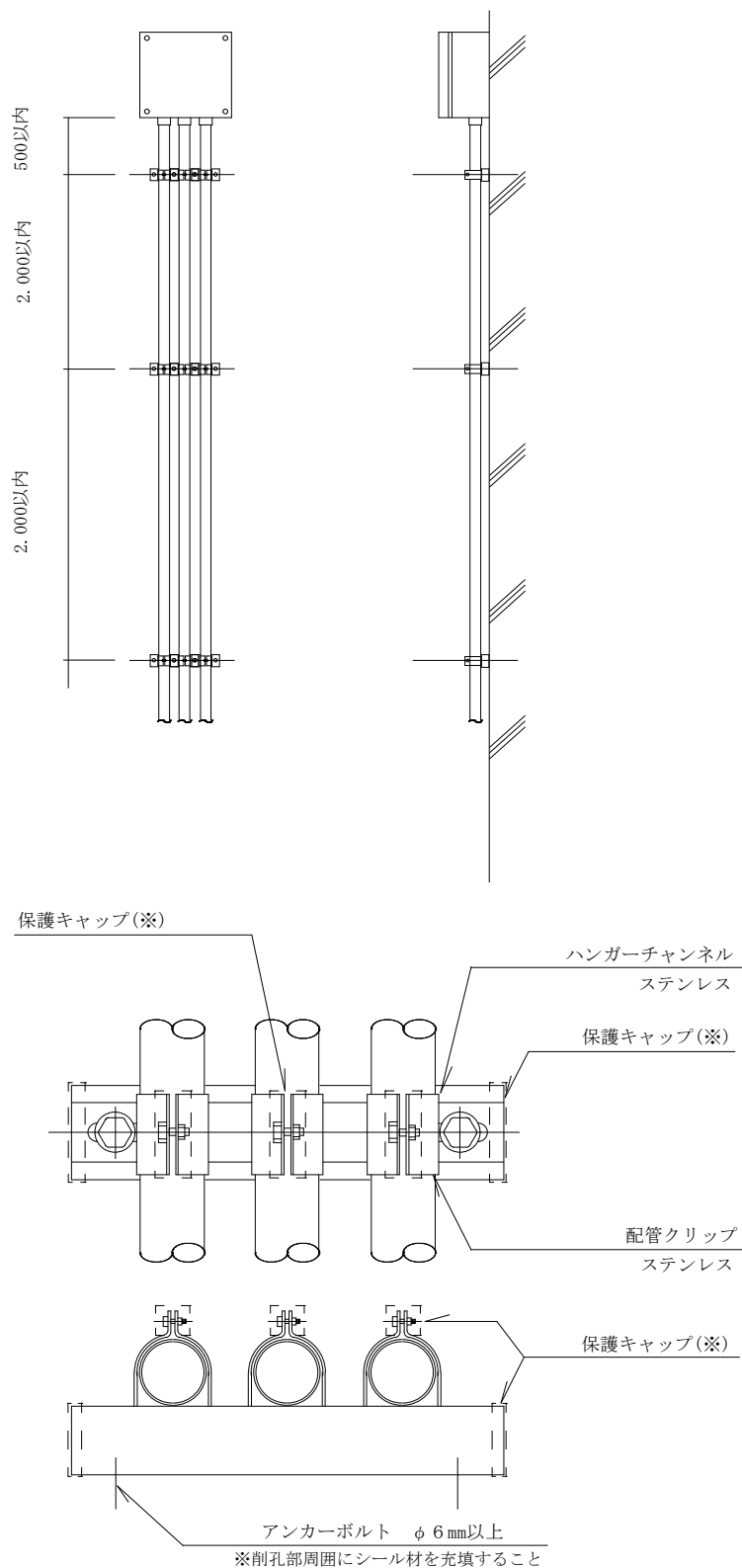
プルボックスを内部で固定する場合は取付周辺（3方）にシール材を充填すること。



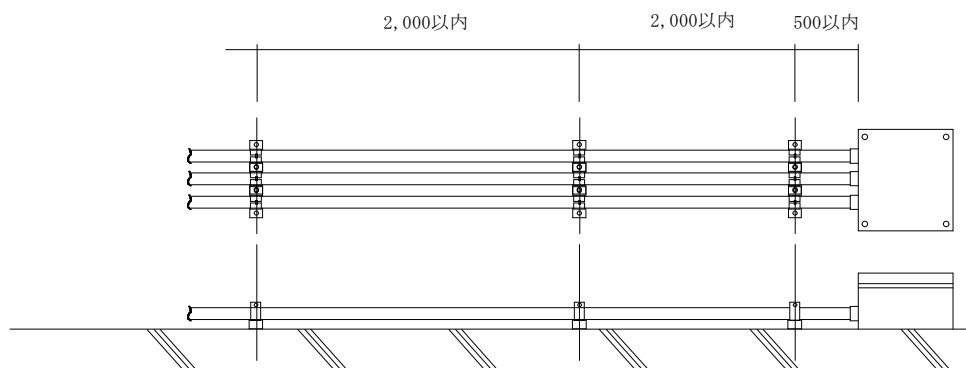
（※）容易に人が触れる恐れのある場所（2 m以下）に取付（機械室やフェンス内等、取扱者のみが立入る場所を除く）

屋外及び水気のある屋内

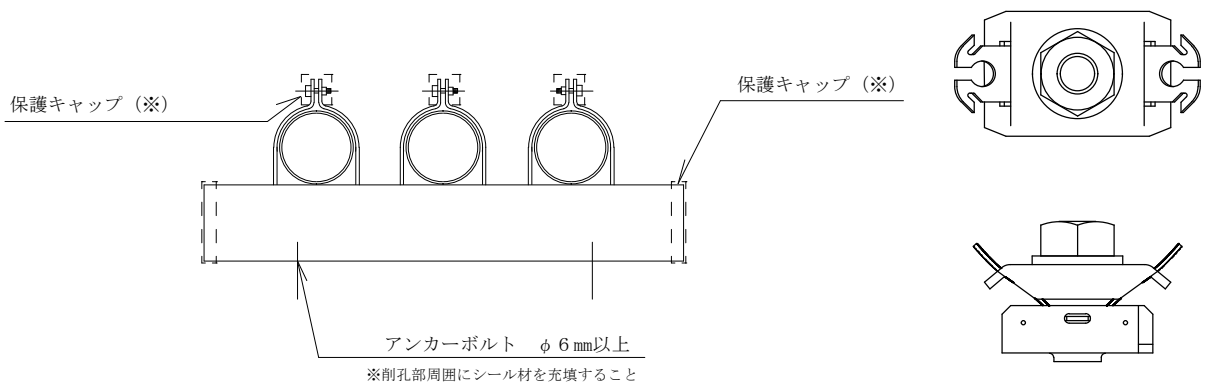
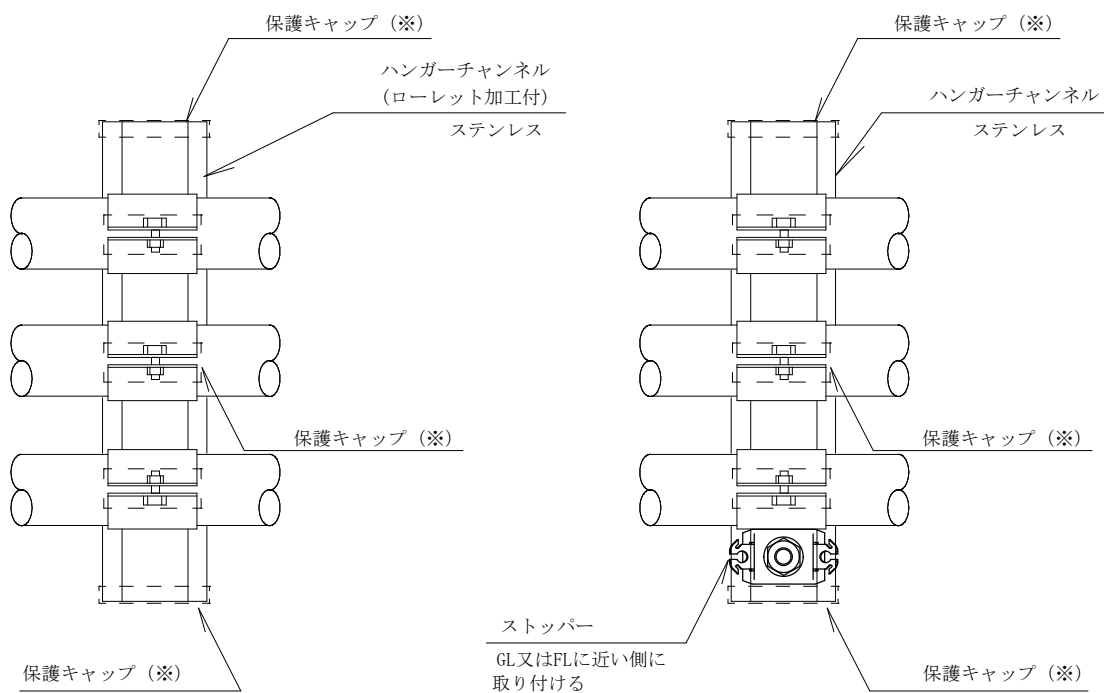
屋外及び水気のある屋内でブルボックスを内部で固定する場合は取付周辺（3方）にシール材を充填すること。



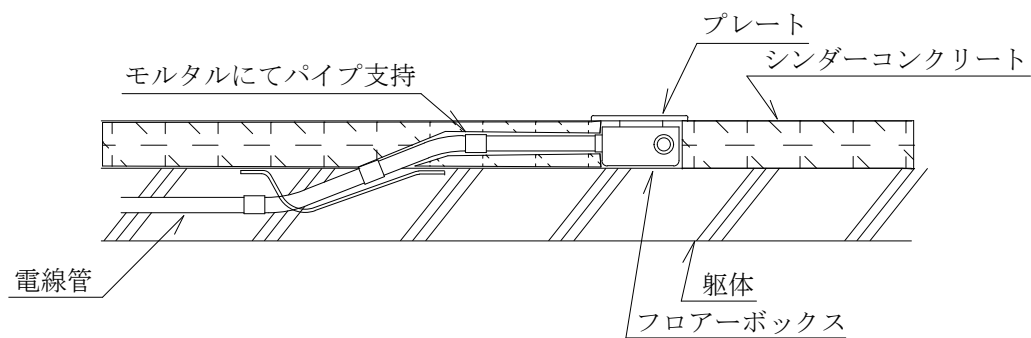
(※) 容易に人が触れる恐れのある場所（2 m以下）に取付（機械室やフェンス内等、取扱者のみが立入る場所を除く）



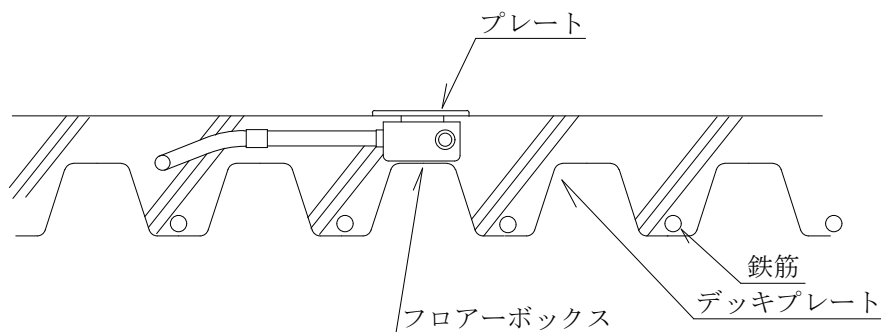
プルボックスを内部で固定する場合は取付周辺（3方）にシーリング材を充填すること。



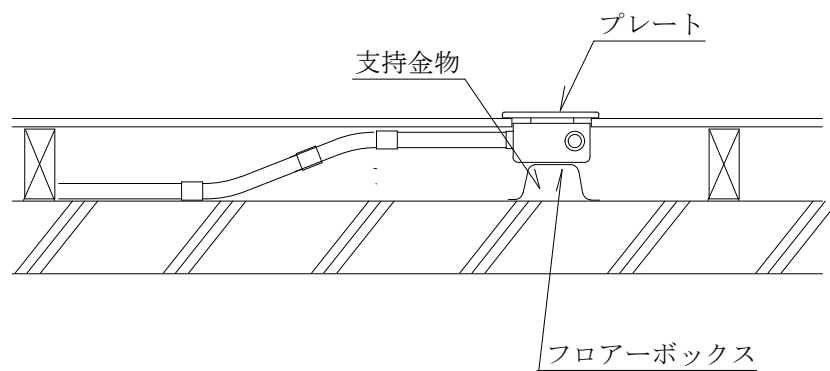
(※) 容易に人が触れる恐れのある場所（2 m以下）に取付（機械室やフェンス内等、取扱者のみが立入る場所を除く）



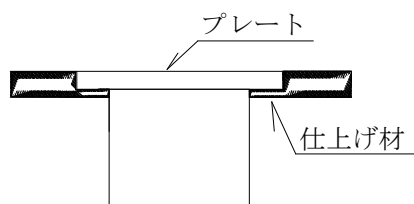
シンダーコンクリートの場合



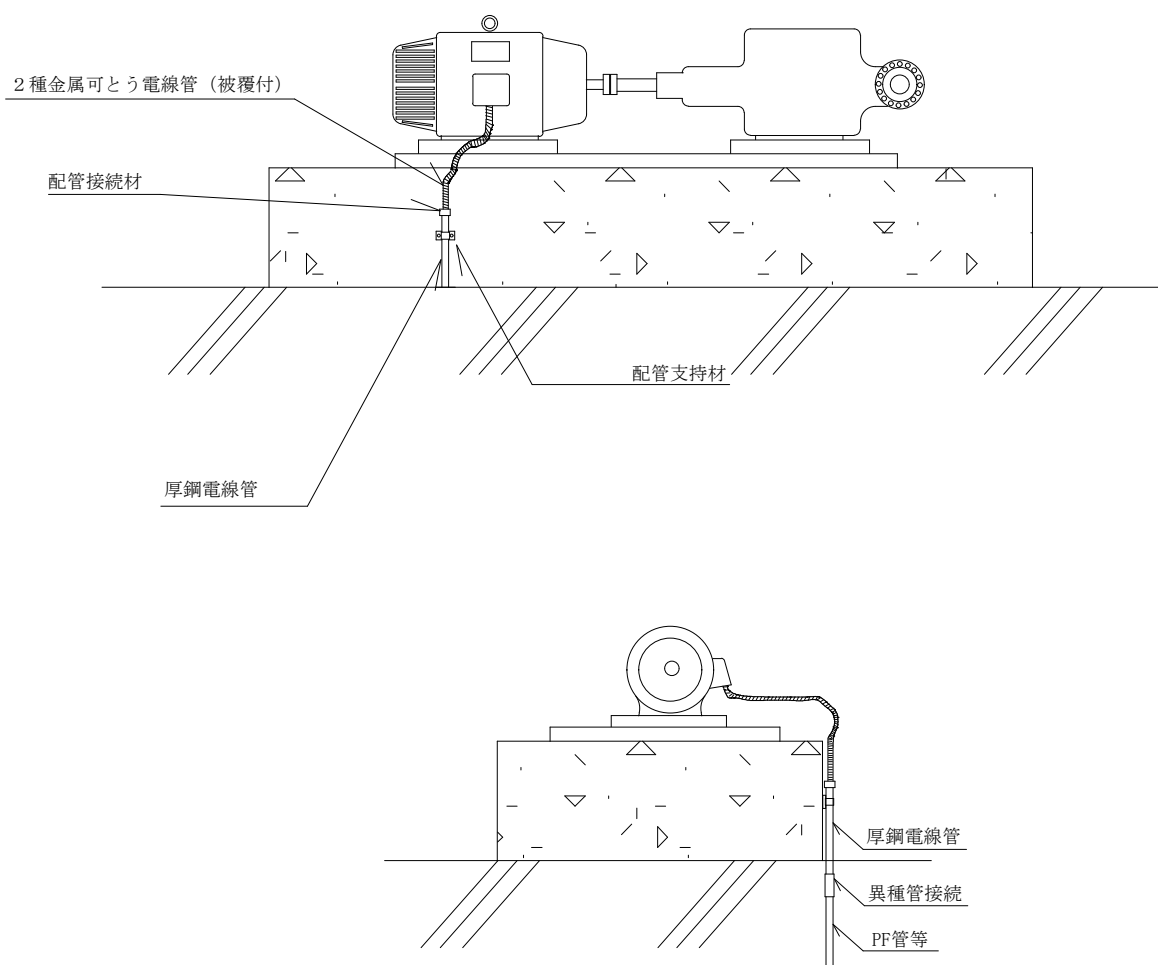
デッキプレートの場合

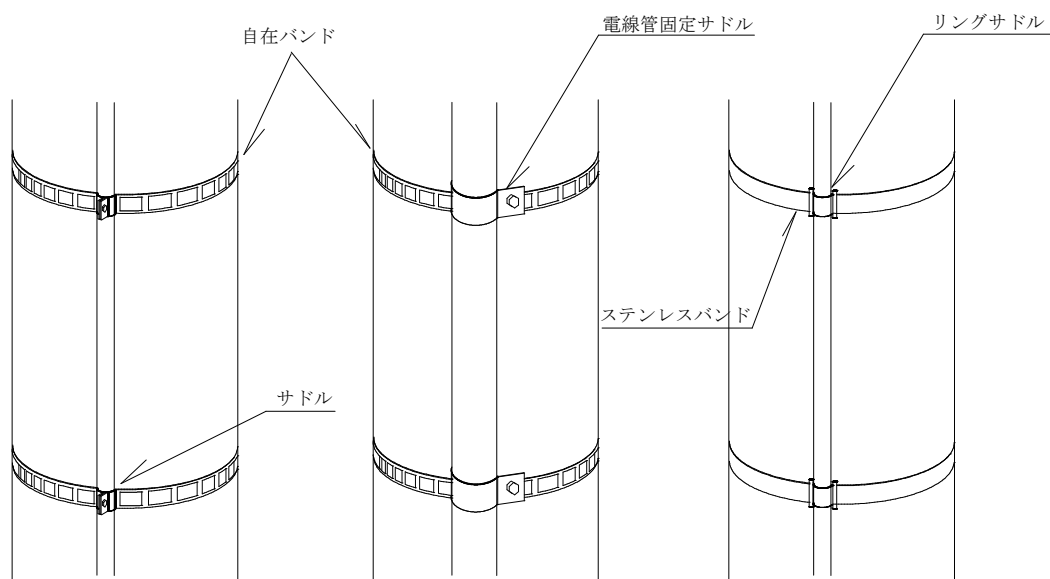


二重床の場合

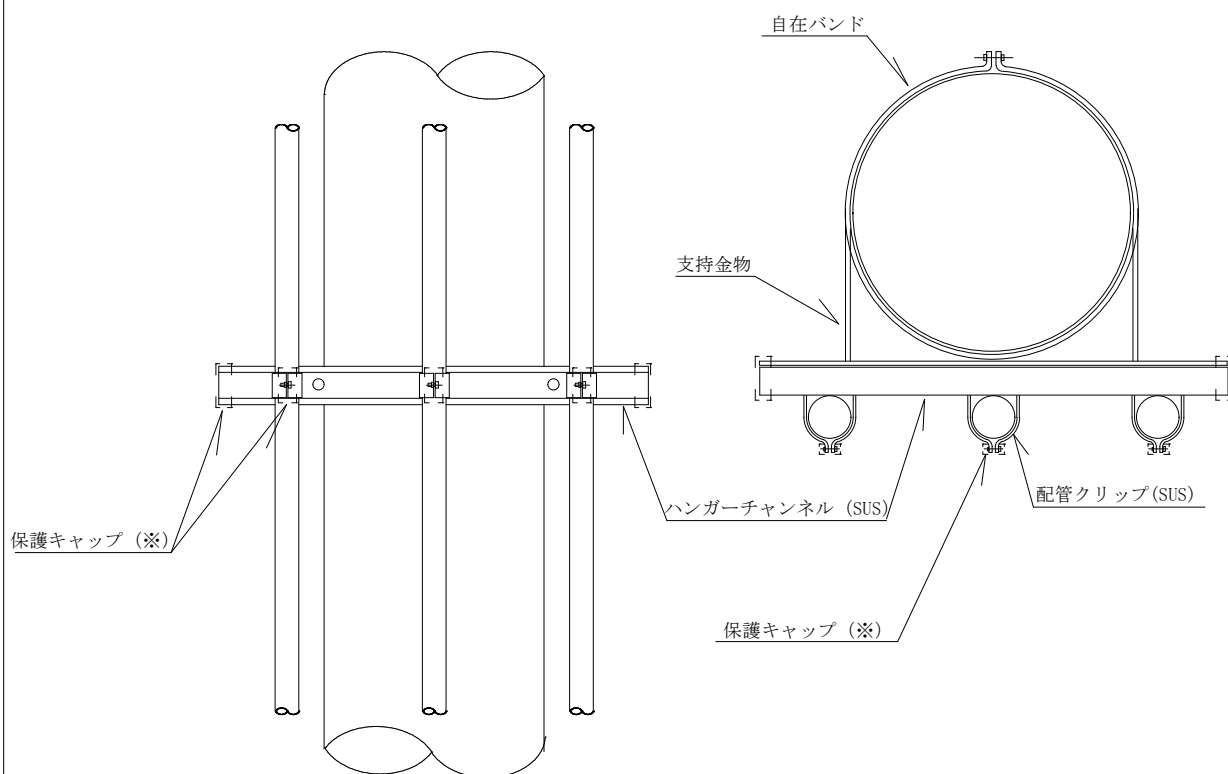


屋内運動場に使用する角型のフロアプレートの場合

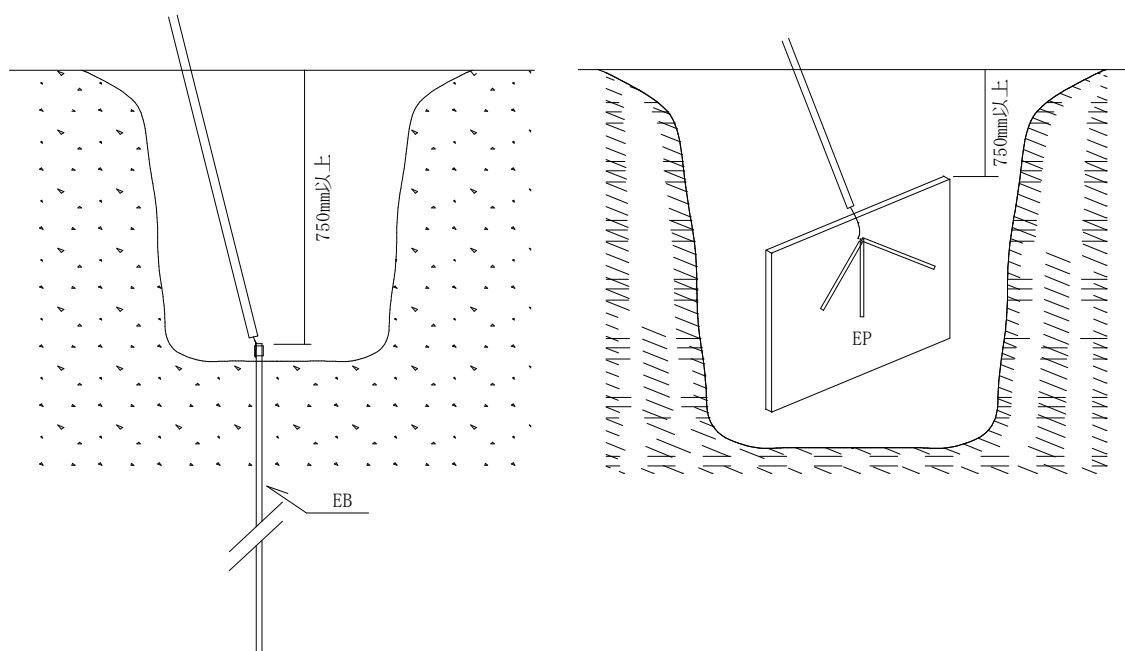




* パイプの外径の総和が150mm程度までは上図の方法のいずれかで施工し
それ以上は下図の施工方法をとる。



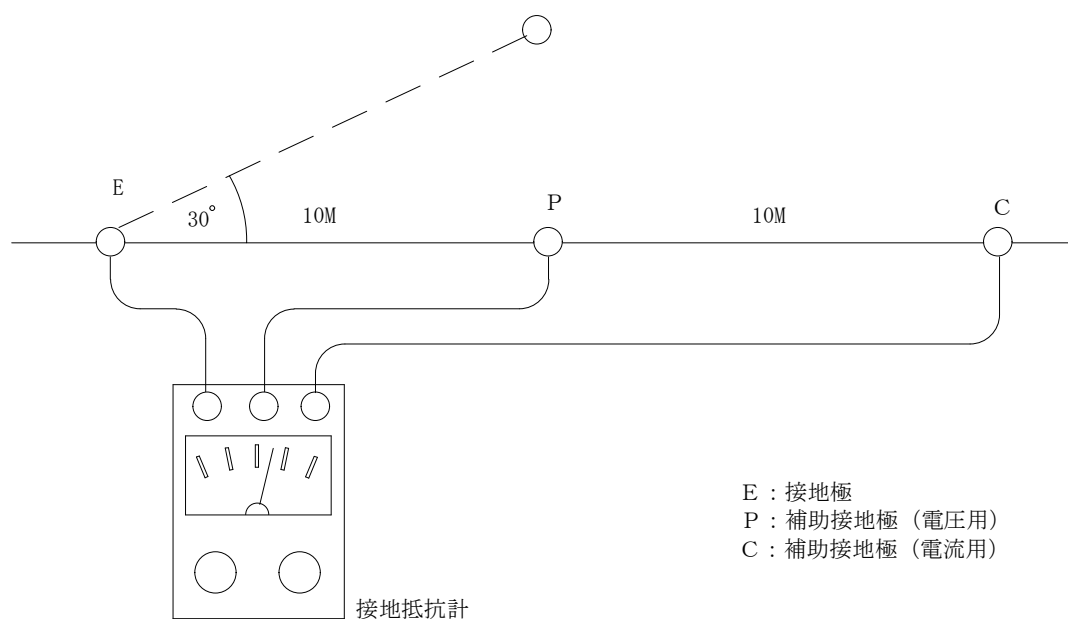
(※) 容易に人が触れる恐れのある場所（2 m以下）に取付（機械室やフェンス内等、取扱者のみが立入る場所を除く）



接地の種類	記 号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
A 種	E_A	10Ω 以下	EP-0.9又はEB (D=14) $\times$ 3連 - 2組
B 種	E_B	30Ω 以下	EB (D=14) $\times$ 2連 - 2組
B 種	E_B	$37.5 \sim 75\Omega$	EB (D=14) $\times$ 2連
C 種	E_C	10Ω 以下	EP-0.9又はEB (D=14) $\times$ 3連 - 2組
D 種	E_D	100Ω 以下	EB (D=14) $\times$ 2連
街路灯用	E_D	100Ω 以下	EB (D=14) $\times$ 1
漏電遮断器回路	E_{ELCB}	500Ω 以下※	EB (D=14) $\times$ 2連
高圧避雷器	E_{LH}	10Ω 以下	EP-0.9
通信設備	E_t, E_{At}	10Ω 以下	EP-0.9又はEB (D=14) $\times$ 3連 - 2組
通信設備	E_{Lt}, E_{Dt}	100Ω 以下	EB (D=14) $\times$ 1
測定用	E_0		EB (D=10) $\times$ 1

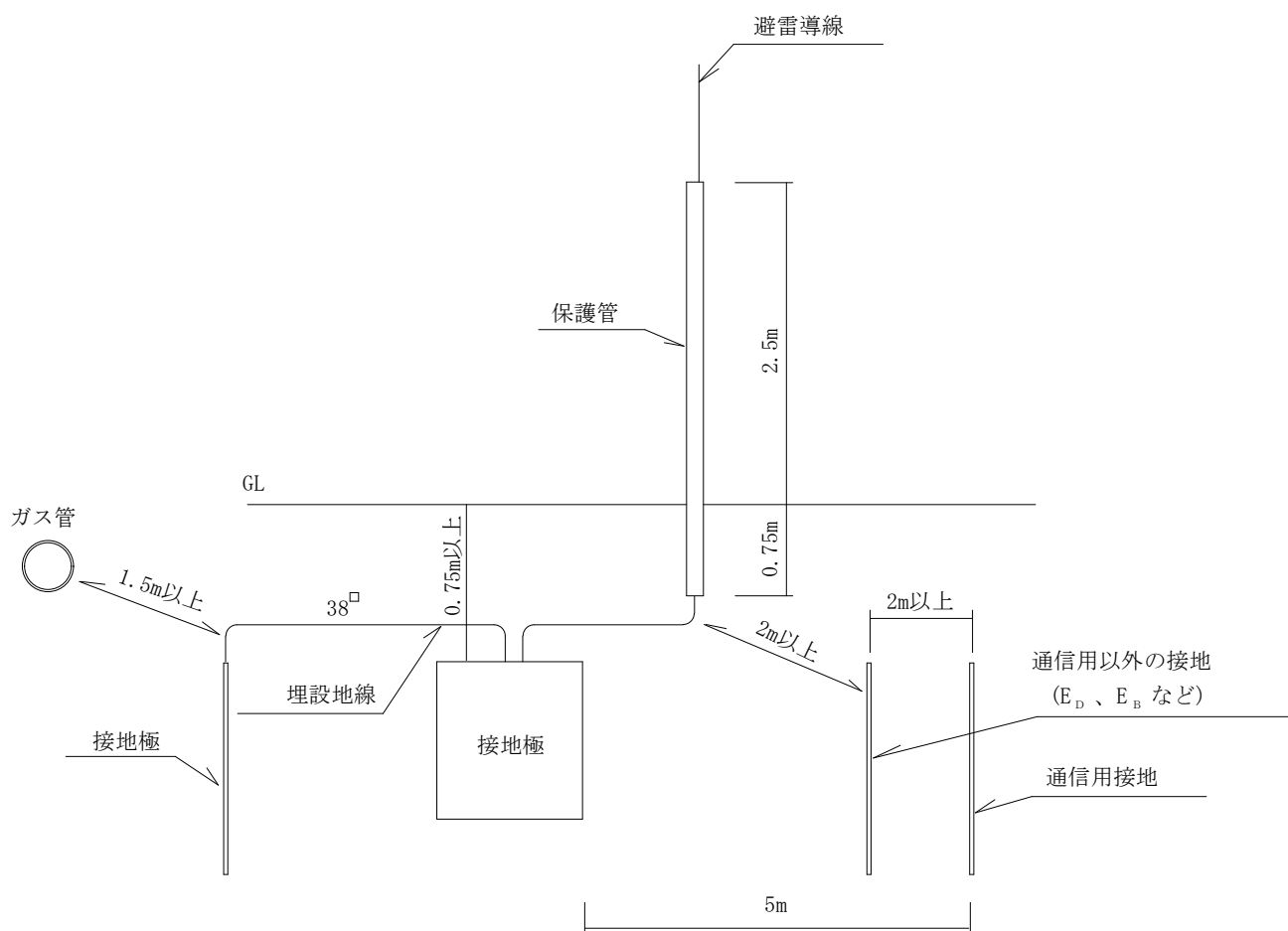
※…高感度高速形(定格感度電流30mA以下、漏電引き外し動作時間0.1秒以内)の場合を示し、
 そのほかの場合は【25[V]/定格感度電流[mA]・ 10^{-3} 】により算出する。

- EBはL=1500とする。2種類あるものは図面特記による。
- 接地極の規格は、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」による。



- ・ 接地抵抗の測定法を上図に示す。なお、接地極（E）、補助接地極（P、C）は極力直線上に配置すること。これにより難しい場合には、E－CとE－Pの角度は 30° 程度までとする。
- ・ 接地抵抗計は、JISC1304（接地抵抗計）によるものとする。
- ・ 舗装面など補助接地棒の打ち込みが困難な箇所では、コンクリート箇所に補助接地極を接触させ、水をかけて、接触をよくし、測定を行う。
- ・ 被測定接地極に発生している地電圧は、測定値に影響を及ぼすために、10V以下となるようにして測定する。

〔板状接地極、垂直接地極による場合〕



- ・ 大地の抵抗率が高い山地、砂地などにおいて、規定の抵抗値が得られない場合には被保護物から放射状に埋設地線を設ける方法等を検討する。

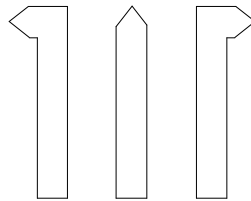
1 一般事項

寸法は参考的に示しているものであり、図中の寸法には拘束しない。

2 ハンドホール

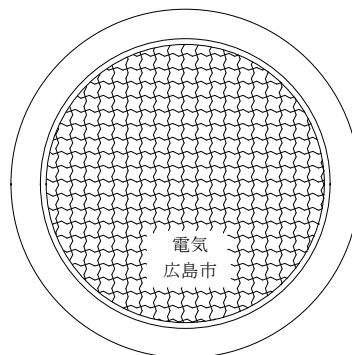
原則として、工場製作品を使用する。

- (1) 各ブロックのコンクリート設計基準強度は、材令28日、圧縮強度は、 $21\text{N}/\text{mm}^2$ 以上とする。
- (2) 各ブロック相互間は、モルタル又はエポキシ系樹脂接着剤により、接着する。
- (3) 蓋受けブロックに埋設配管路の行先表示用の型抜きをする。
(不要な行先表示の型は、モルタルを詰めること。)



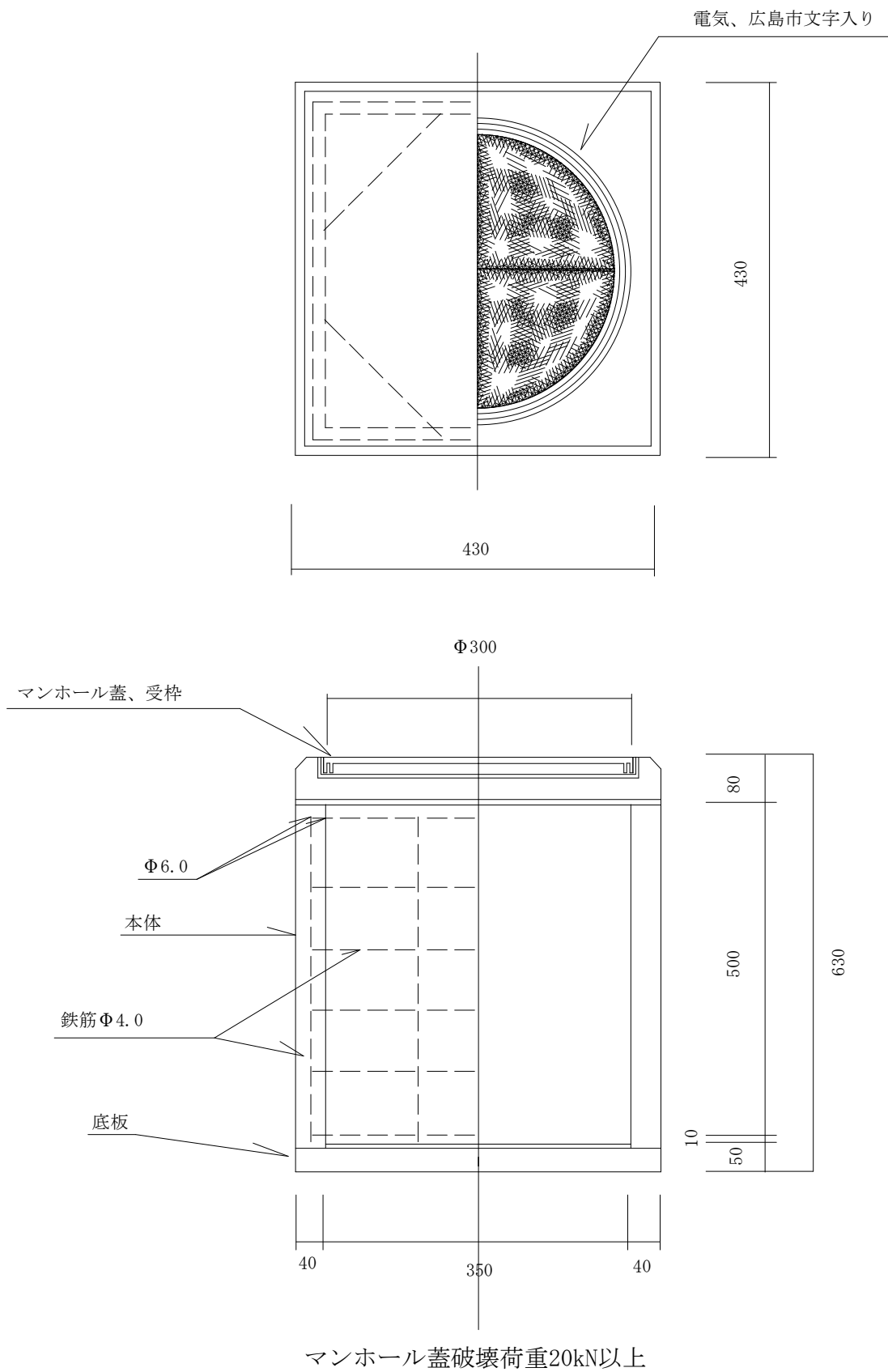
行先表示（内部赤色ペンキ）

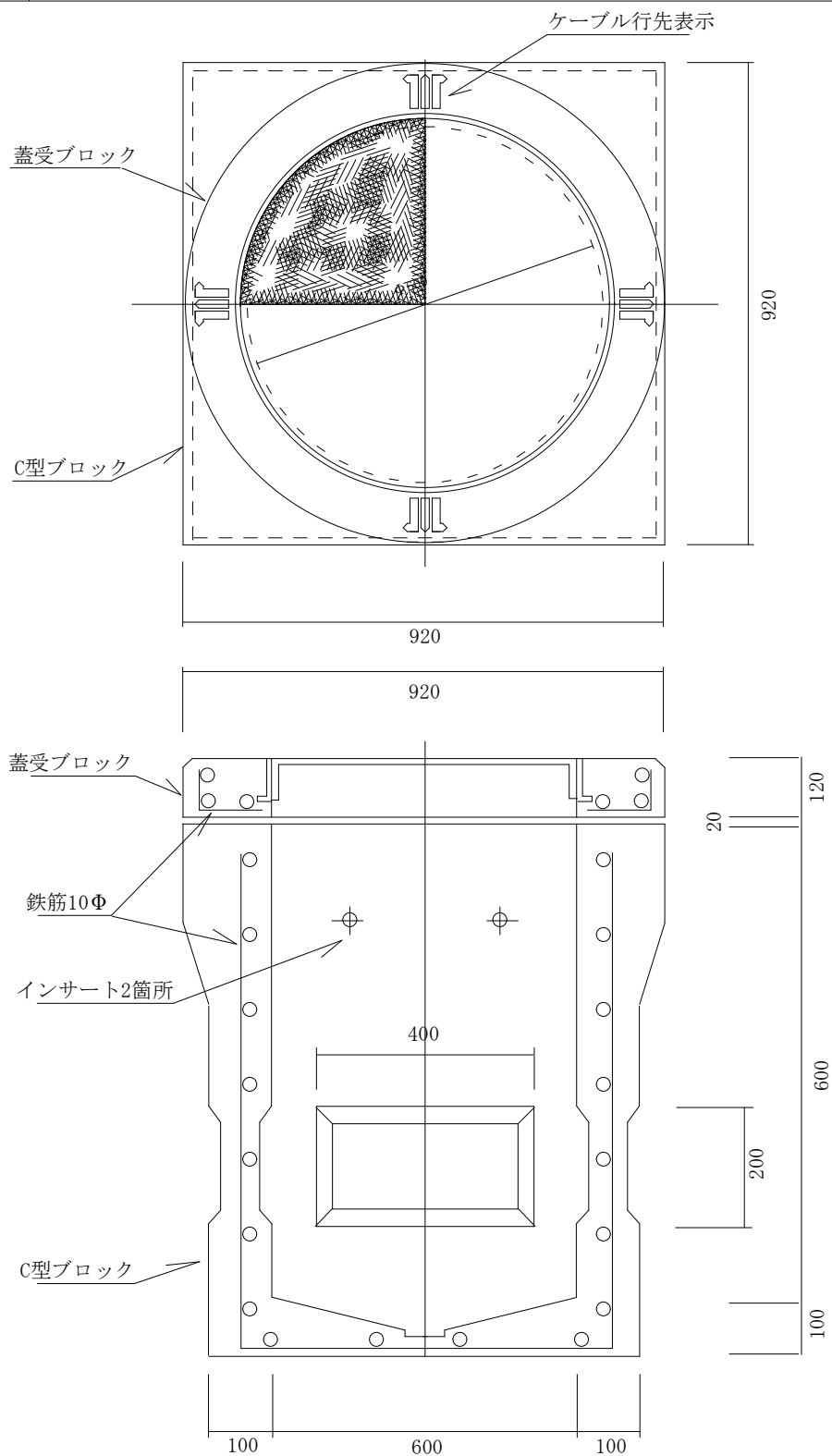
- 3 蓋の記入文字は、下図のとおりとする。



4 基礎ブロック

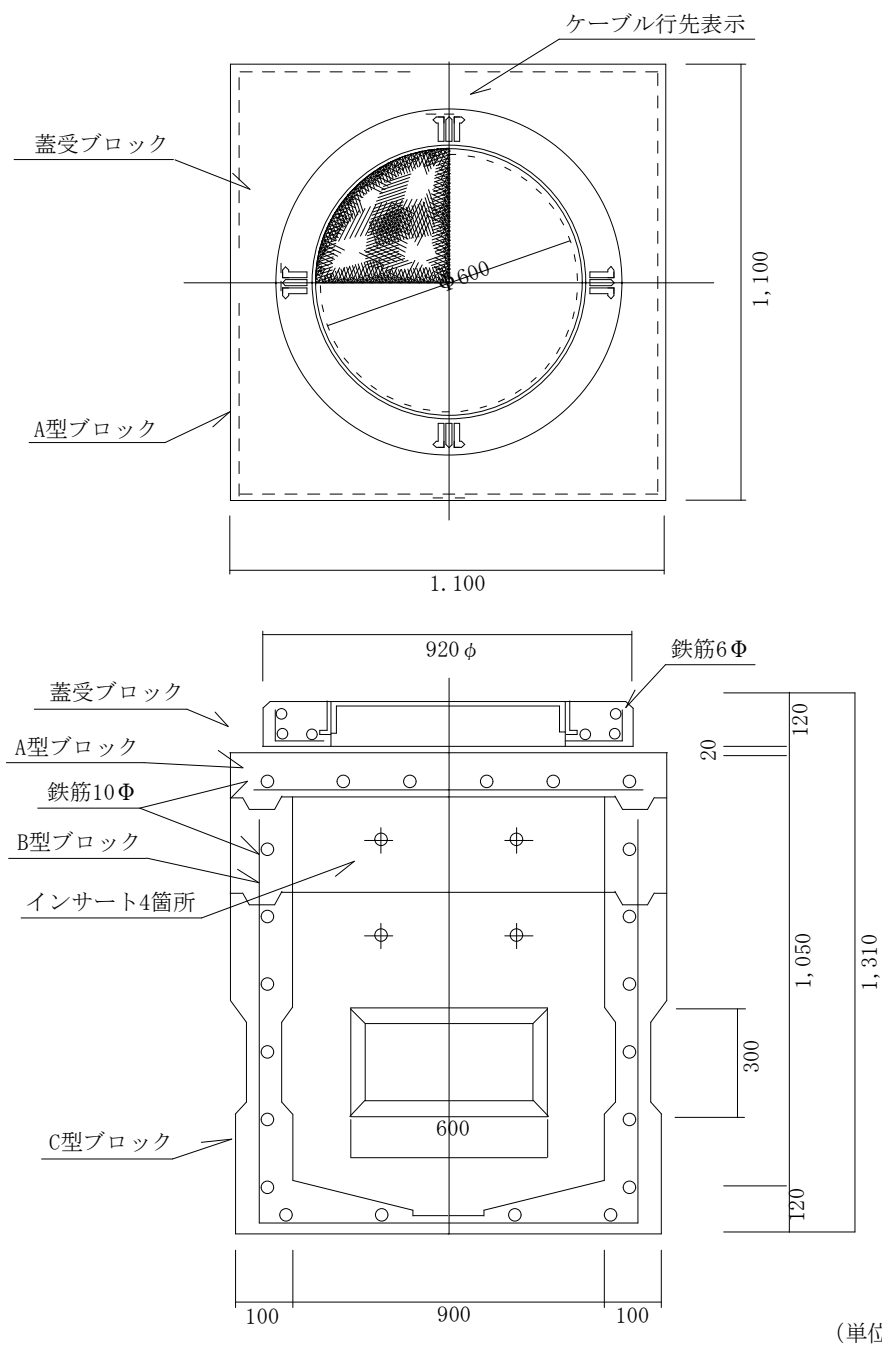
原則として、工場製作品を使用する。



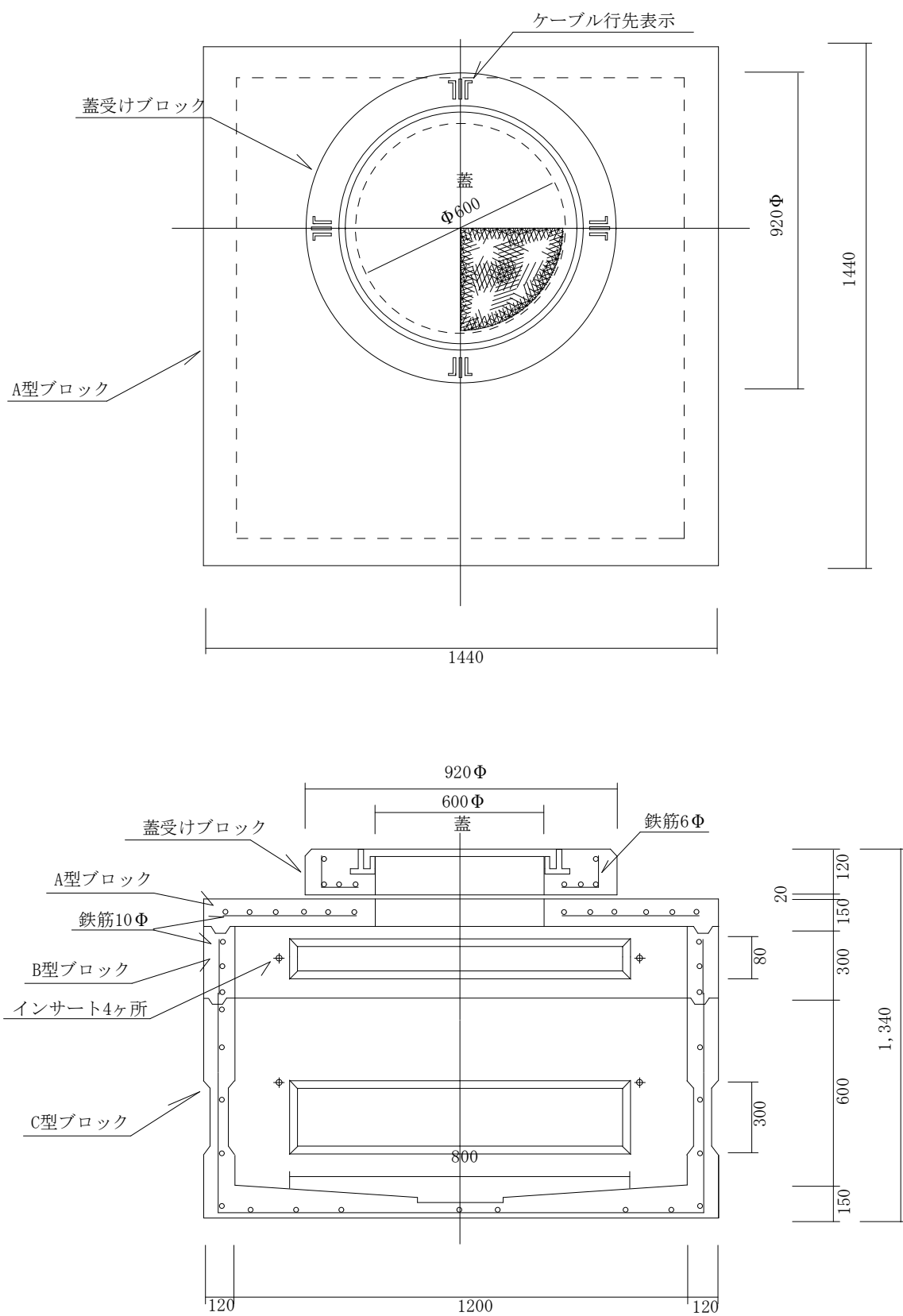


(単位 mm)

機 種	蓋	ブロック構成		有効寸法	
		蓋受	C型	内径	高さ
OH-60A1	R2K-60	1	1	600×600	600
OH-60B1	R8K-60				

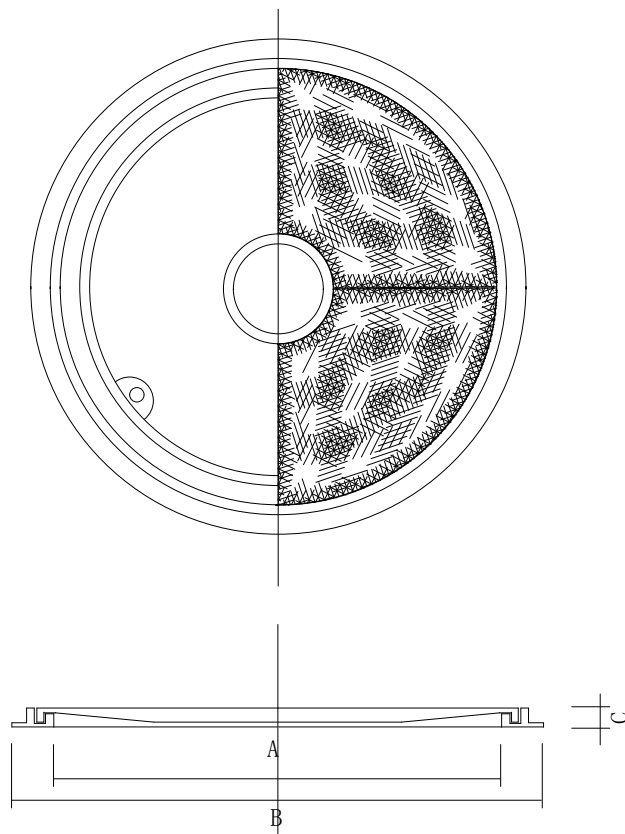


機 種	蓋	ブロック構成				有効寸法	
		蓋受	A型	B型	C型	内径	高さ
OH-90A1	R2K-60	1	1		1	900×900	600
OH-90A2	R2K-60	1	1	1	1		900
OH-90B1	R8K-60	1	1		1		600
OH-90B2	R8K-60	1	1	1	1		900



(単位 mm)

機 種	蓋	ブロック構成				有効寸法	
		蓋受け	A型	B型	C型	内 径	高 さ
OH-120A2	R2K-60	1	1	1	1	1200×1200	900
OH-120B2	R8K-60						

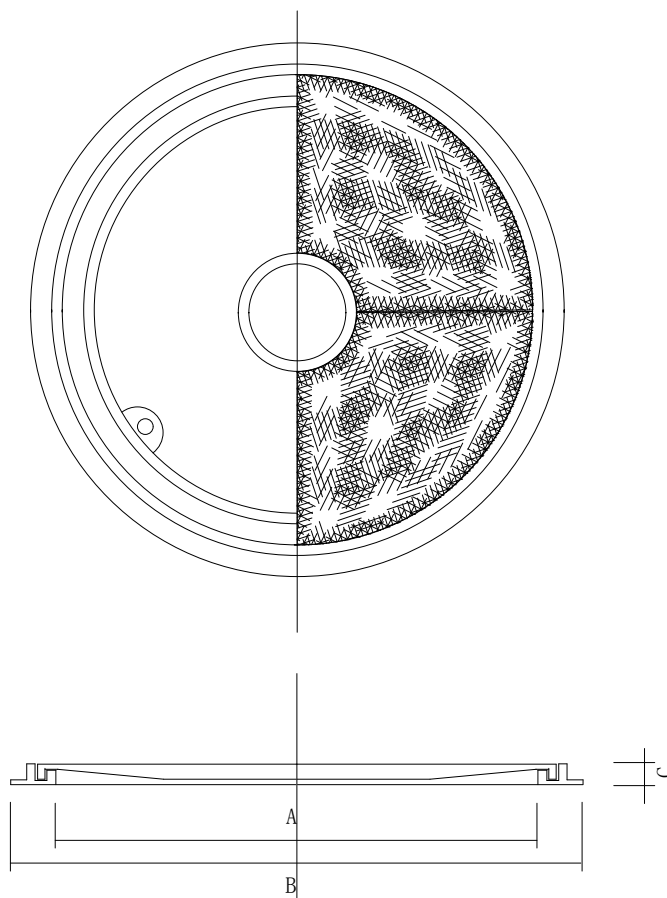


(単位 mm)

記 号	寸 法		
	A	B	C
R2K-60	600	690～730	45～60

備考

- (1) 破壊荷重は20kN以上とする。
- (2) 簡易防水型とする。
- (3) 枠と蓋を鎖で連結する。
- (4) 蓋の模様は、一例を示す。
- (5) 蓋はリブなしを示すが、リブ付きでもよい。



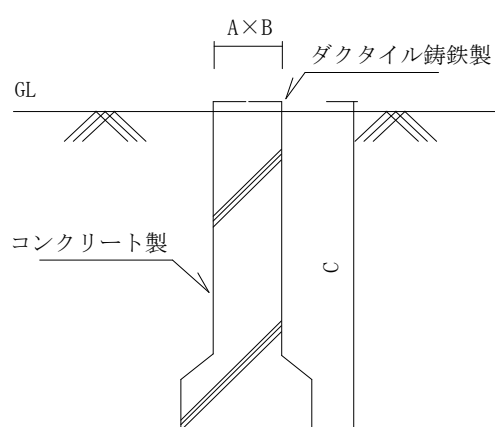
(単位 mm)

記 号	寸 法		
	A	B	C
R8K-60	600	700～740	50～65

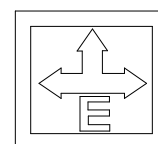
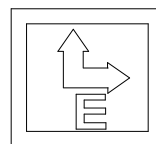
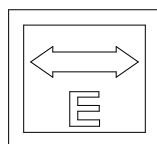
備考

- (1) 破壊荷重は80kN以上とする。
- (2) 簡易防水型とする。
- (3) 枠と蓋を鎖で連結する。
- (4) 蓋の模様は、一例を示す。
- (5) 蓋はリブなしを示すが、リブ付きでもよい。

OH-F 2



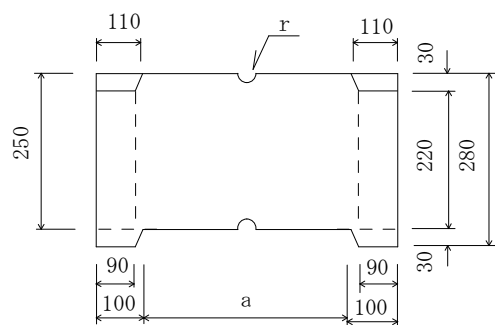
矢印



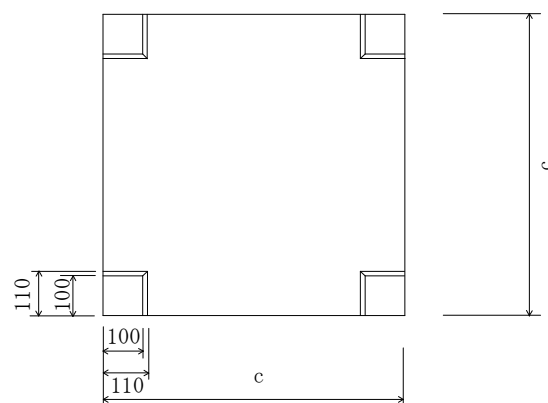
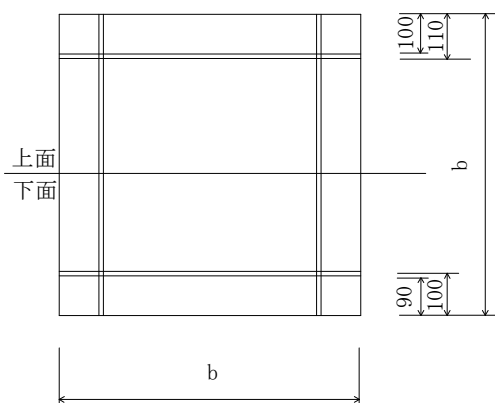
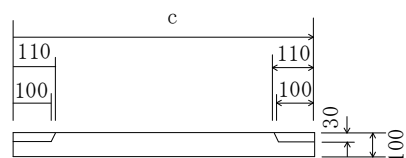
記 号	仕 様	有効寸法		
		A	B	C
OH-F 2	表示部 ダクタイル 鋳鉄部 支持部 コンクリート製	100	100	300

(OH-F2はコンクリート舗装及び土部の使用に限る)

本体 (A 1、B 1)

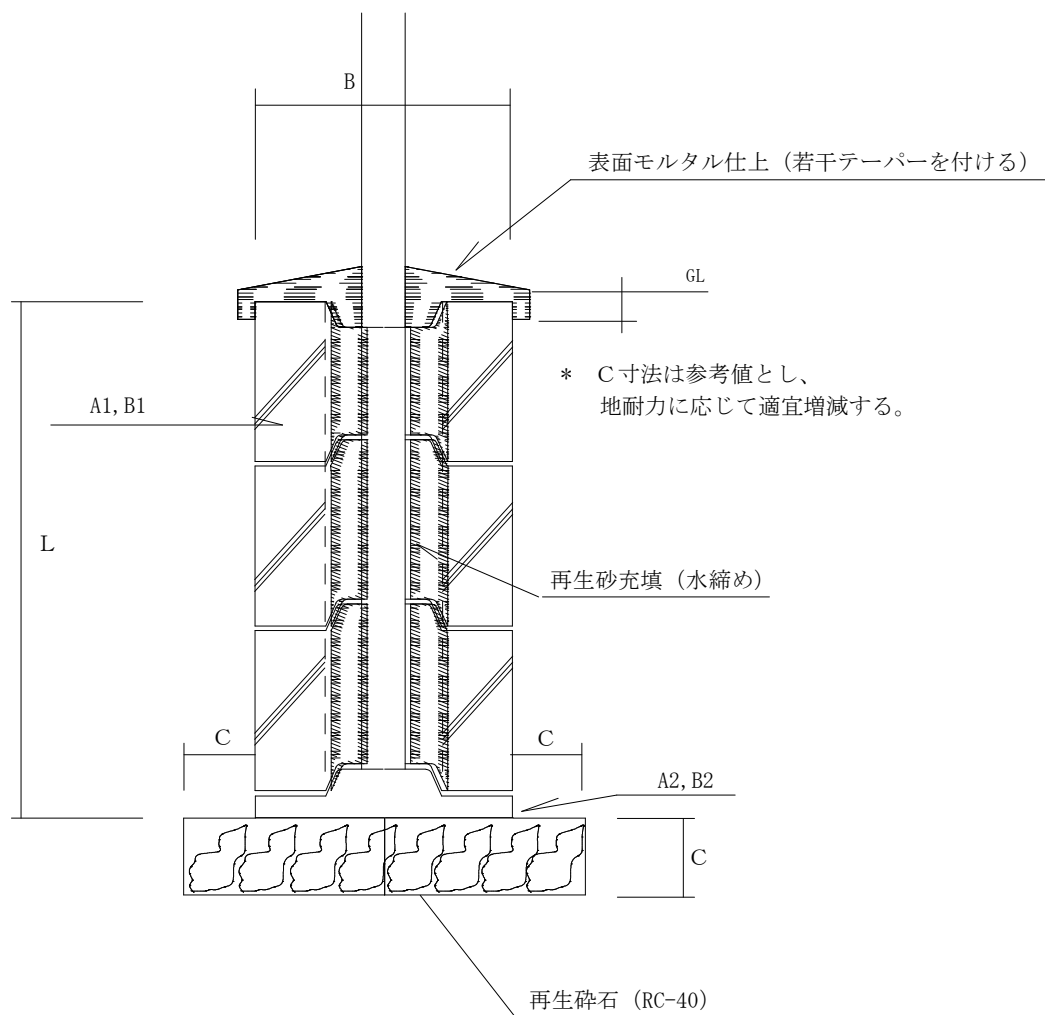


底板 (A 2、B 2)

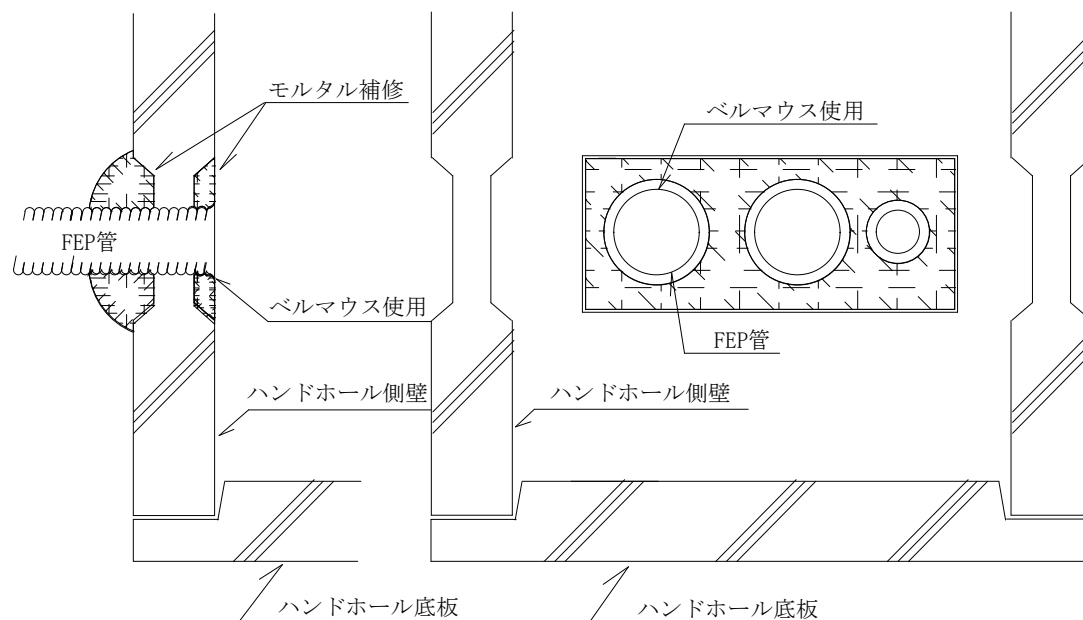


寸法表 (mm)

呼び名		a	b	c	r	重量 (kg)
A 型	A 1	300	500	-	25	87
	A 2	-	-	500	-	51
B 型	B 1	400	600	-	45	103
	B 2	-	-	600	-	76

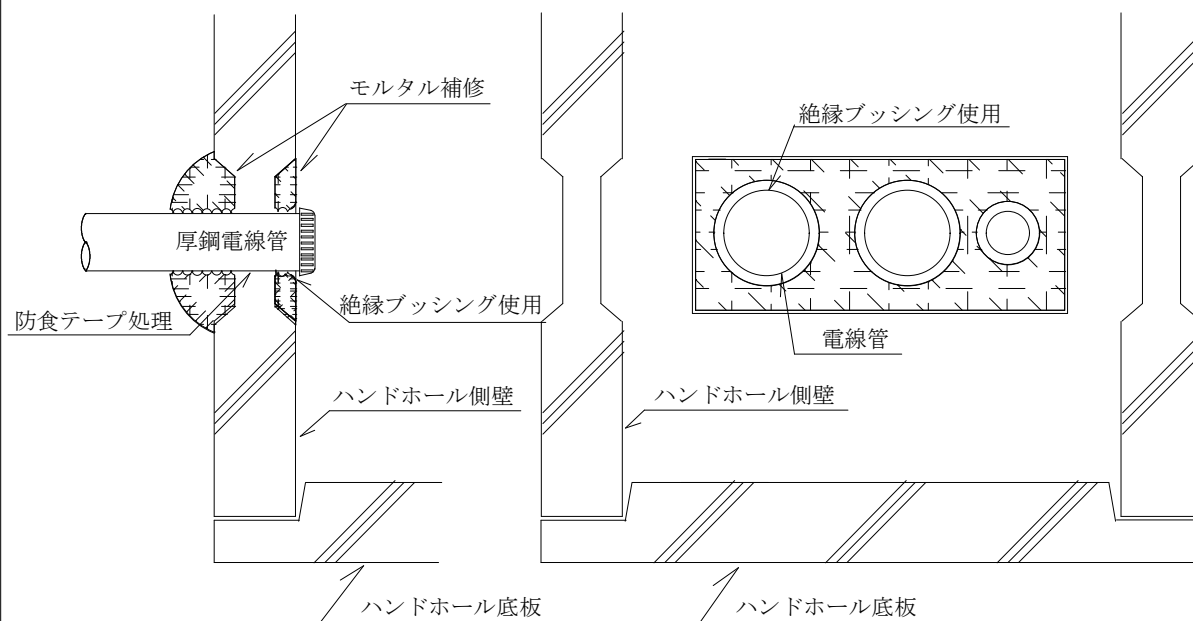


種 別	基礎ブロック				基礎の寸法		
	A1	A2	B1	B2	B	L	C
OK-5	2	1			500	600	100
OK-5w	3	1			500	850	100
OK-7	4	1			500	1100	100
OK-8	6	1			500	1600	100
OK-10	8	1			500	2100	100
OK-5 (B)			2	1	600	600	100
OK-5w (B)			3	1	600	850	100
OK-7 (B)			4	1	600	1100	100
OK-7w (B)			5	1	600	1350	100
OK-8 (B)			6	1	600	1600	100
OK-8w (B)			7	1	600	1850	100
OK-10 (B)			8	1	600	2100	100
OK-10w (B)			9	1	600	2350	100



断 面 図

立 面 図



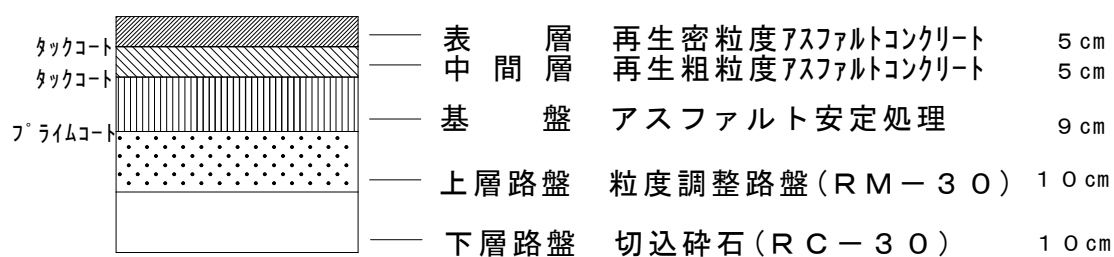
断 面 図

立 面 図

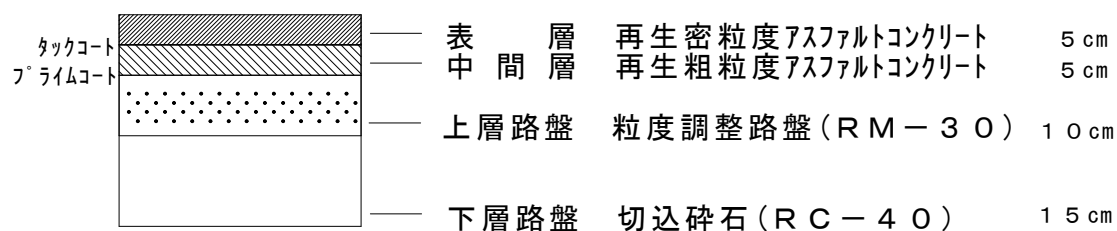
※ 構内舗装については、「建築工事標準詳細図」
(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課) による。

1 車道

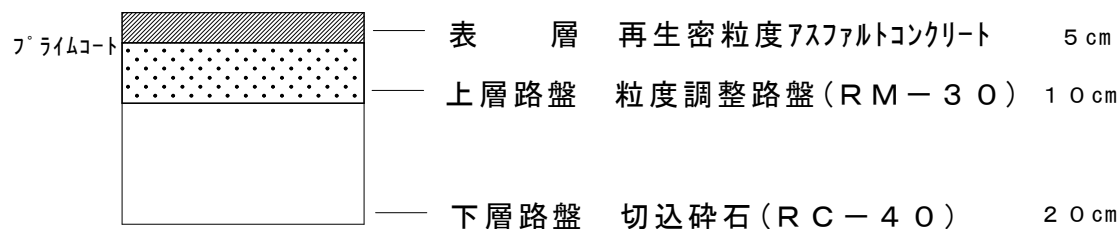
(1) 市道 A



(2) 市道 B

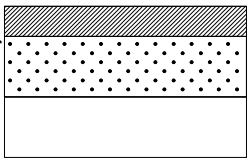


(3) 市道 C

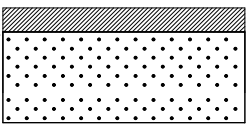


※ 構内舗装については、「建築工事標準詳細図」
(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課)による。

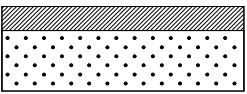
(4) 市道 D

プライムコート		表 層	再生密粒度アスファルトコンクリート	5 cm
		上層路盤	粒度調整路盤(RM-30)	10 cm
		下層路盤	切込碎石(RC-30)	10 cm

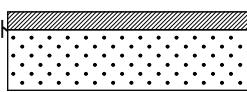
(5) 市道 E

プライムコート		表 層	再生密粒度アスファルトコンクリート	4 cm
		路 盤	粒度調整路盤(RM-40)	15 cm

(6) 市道 F

プライムコート		表 層	再生密粒度アスファルトコンクリート	4 cm
		路 盤	粒度調整路盤(RM-30)	10 cm

2 歩道

プライムコート		表 層	再生密粒度アスファルトコンクリート	3 cm
		路 盤	切込碎石(RC-30)	10 cm

第 3 編

受変電設備工事

受変電設備一覽表

[illegible]

市受変電 1

キュービクル一般事項

(1) 金属箱

・ 屋内外共に2.3mm以上の鋼板（但し内設板は3.2mm）を用い、柱は、アングル又は軽量形鋼を使用して、堅牢な構造とする。

・ 屋外形は防雨形とし、屋根部分はステンレス2.0mm以上（SUS304）を使用する。

・ 塗装は、十分に錆止め処理を行ったうえで、錆止め塗装を行い、メラミン焼付塗装と同等以上の塗装をする。特記により耐塩塗装とする。

・ 扉下部には、スプリングストッパーを設ける。

(2) 通風装置

・ 内部の通風が十分行えるような、通気孔を設け必要に応じて換気扇を取り付ける。

(3) 充電部

・ 充電部は外部に露出せず、かつ機器の操作が安全に行える構造とする。

・ 高圧充電部に取り付ける保護板が複数ある場合、保護板と取付フレームにそれぞれ合い番号表示をすること。（テプラ可）

・ 高圧負荷開閉器の操作は、保護板を外すことなく行えること。

(4) 保守点検

・ 保守点検が容易でかつ、振動及び衝撃に対して十分に耐えるものとする。

・ 屋内電気室に変圧器を設置する場合は、床への振動伝達を防止するために防振ゴム（耐震ストッパー付き）を取り付ける。

(5) 表示

・ 「変電設備」及び「高電圧危険」の標示を取り付ける。

・ 主銘板を取り付け、結線図は扉内側の図面入れに収納する。

・ 変圧器及びコンデンサの機器銘板を扉内側にも貼り付ける。

・ 市電力17 分電盤・制御盤一般事項 1 (c) (3) の施工者銘板を貼り付ける。

・ 非常電源専用受変電設備の場合は、指定の表示を行う。

(6) 回路構成等

・ 単線結線図は、建築設備設計基準による。

・ 各変圧器二次側の電圧計・電流計は、電子式マルチメーターとし、最大需要電流の計測等については公共建築工事標準仕様書による。

・ 各変圧器の二次側に低圧漏電リレー（LGR）を設置する。

・ 接地種別は「A、C、D共通」、「B」、「D（ELB用）」とする。

・ 表示灯回路には、ランプテスト機能を設ける。

・ 特記によりブザー及びブザー停止回路を設ける。（但し、屋外キュービクルには設けないこと。）

・ MCCBは接続方式を記載する。（表面形、裏面形、埋込形）

(7) 警報項目

・ PF-S形及びCB-1形の警報項目は原則として右表のとおりとする。

警報項目	表示	出力（事務室等）
動力過負荷	○	○ 「キュービクル異常」 として一括
電灯過負荷	○	
コンデンサ異常	○	
動力漏電	○	
電灯漏電	○	

市受変電 2

キュービクル外観図

100以上

250以上

2,400

1,800

1,600

SUS 304 2.0t

注 1

換気扇フード
SUS製

電力計検針窓

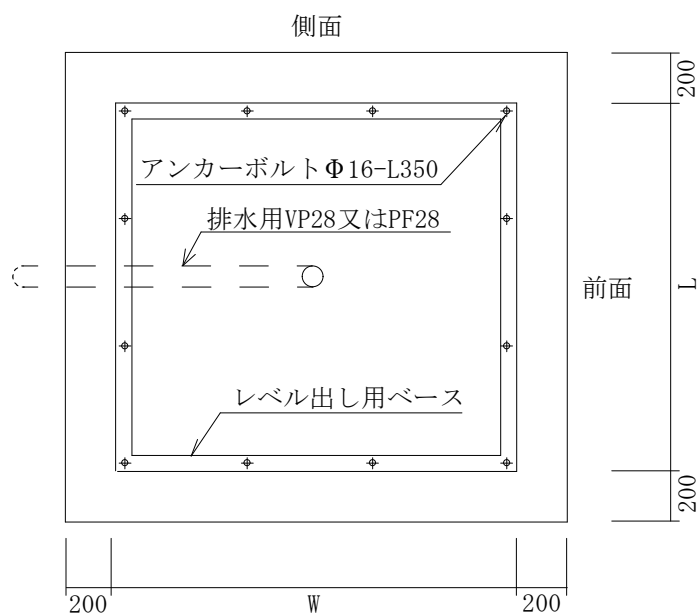
防虫網
SUS製

高圧表示板

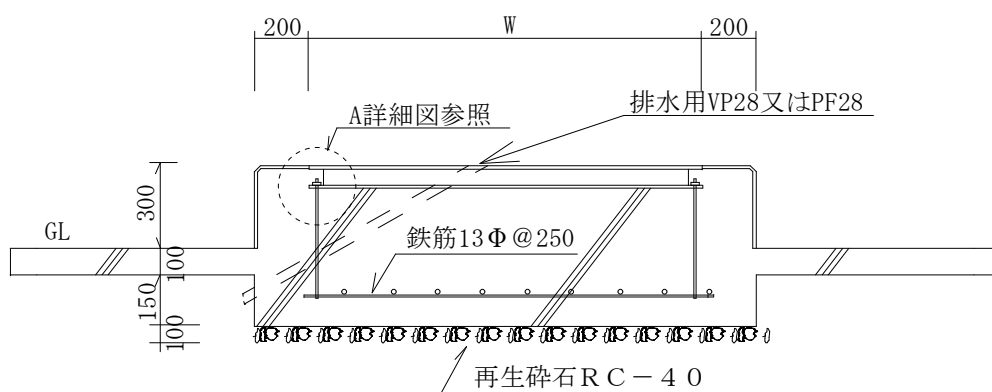
D.S.機

室内設置用ホルダー

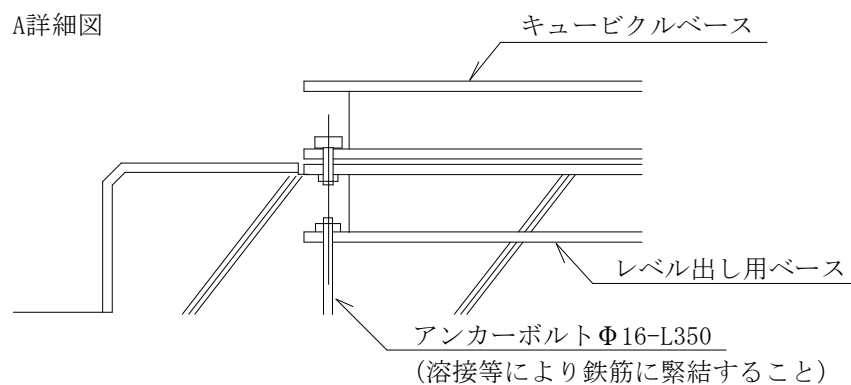
キュービクル製作仕様			
		屋 外 型	屋 内 型
組	枠	L-50×50×6 t	L-50×50×6 t
屋	根 板	SUS 304 2.0 t	2.3 t 鋼 板
函	板	2.3 t 鋼 板	2.3 t 鋼 板
扉	板	2.3 t 鋼 板	2.3 t 鋼 板
内	設 板	3.2 t 鋼 板	3.2 t 鋼 板
(注1)	仕 切 板	1.6 t 鋼 板	1.6 t 鋼 板
底	板	2.3 t 鋼 板	2.3 t 鋼 板
ベース及び レベル出しベース		C100×50×5 t 溶融亜鉛メッキ	
把	手	L型鍵付 No 200	
塗	装	指定色焼付塗装	
付 属 品	フック棒 1.0m	1 本	
	補修色	1 缶	
	点検用工具	1 式	
	LBS用予備ヒューズ	100 %	
	その他ヒューズ	100 %	
		詳細は承諾図を提出し、係員の承諾を得た上で製作のこと。 (注1) 必要な換気風量を確保すること。	



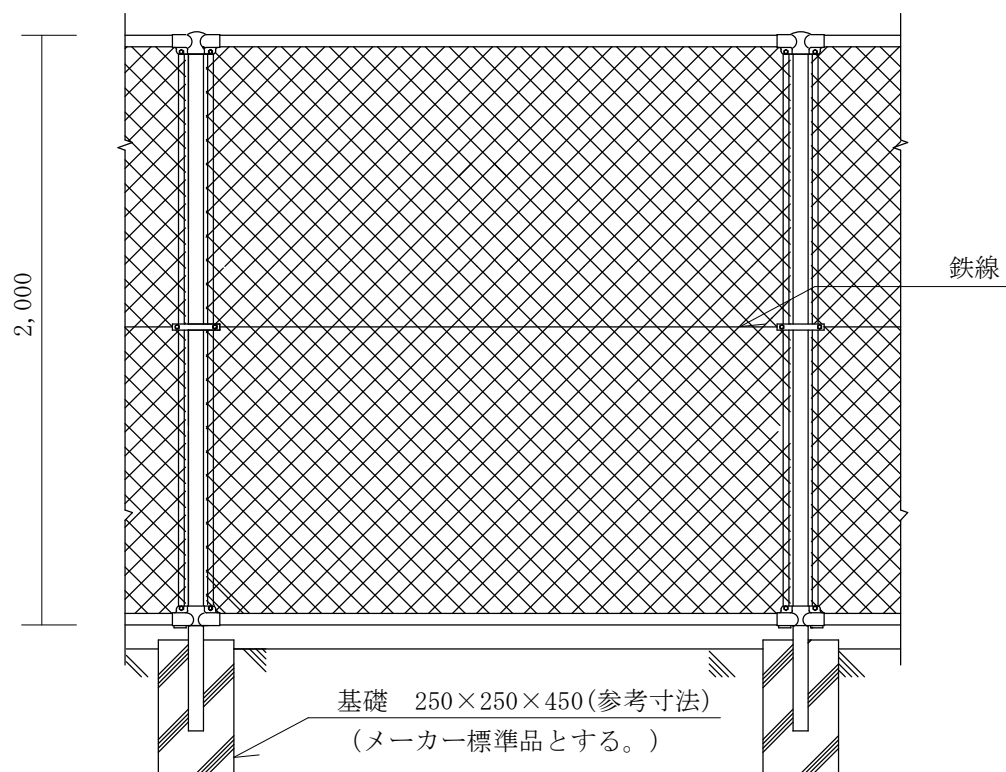
- (注) 1 L・Wは特記による。
2 モルタル仕上げとし、ふちは面取りを施す。



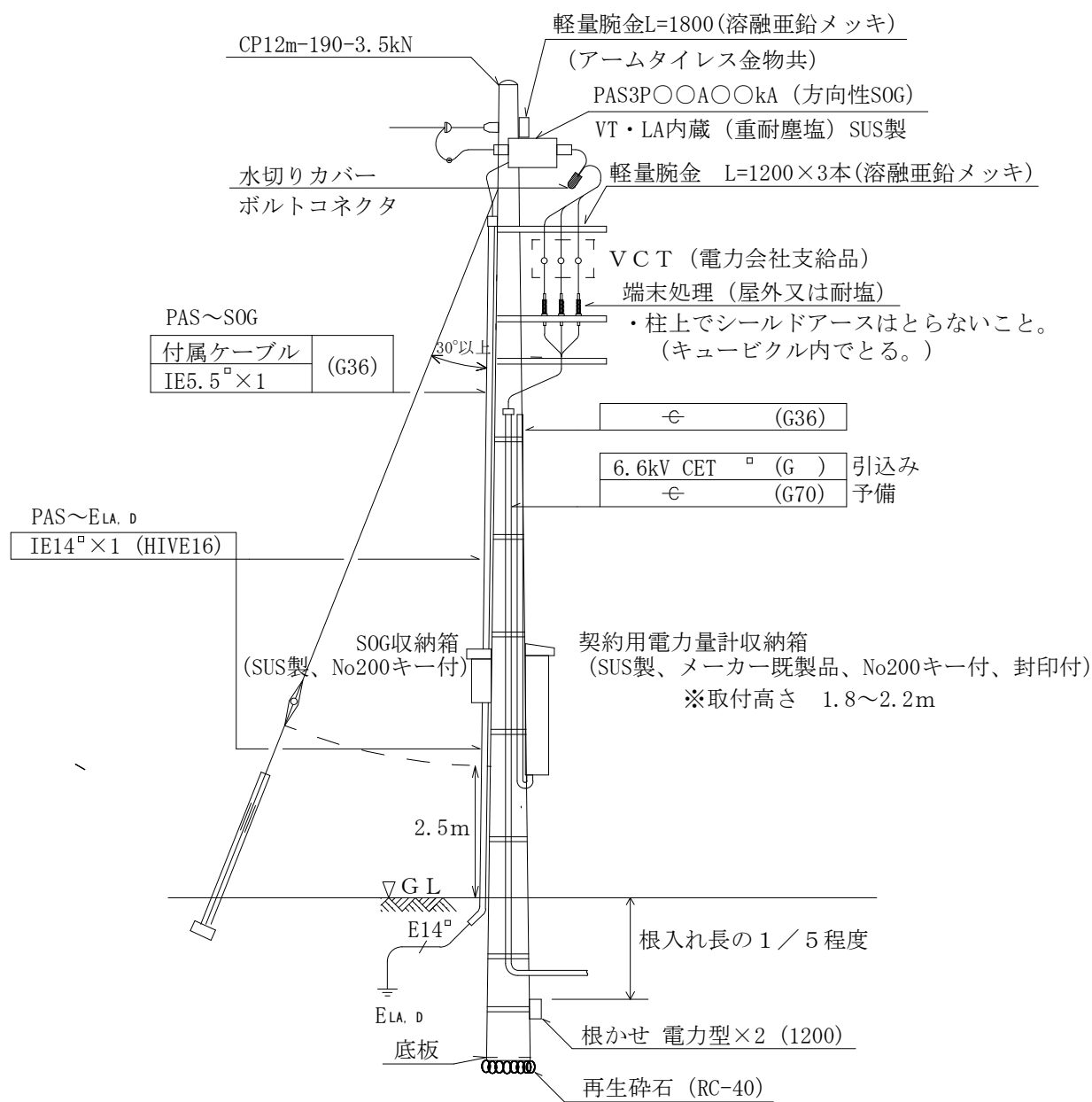
A詳細図



ネットフェンス [H=2000]

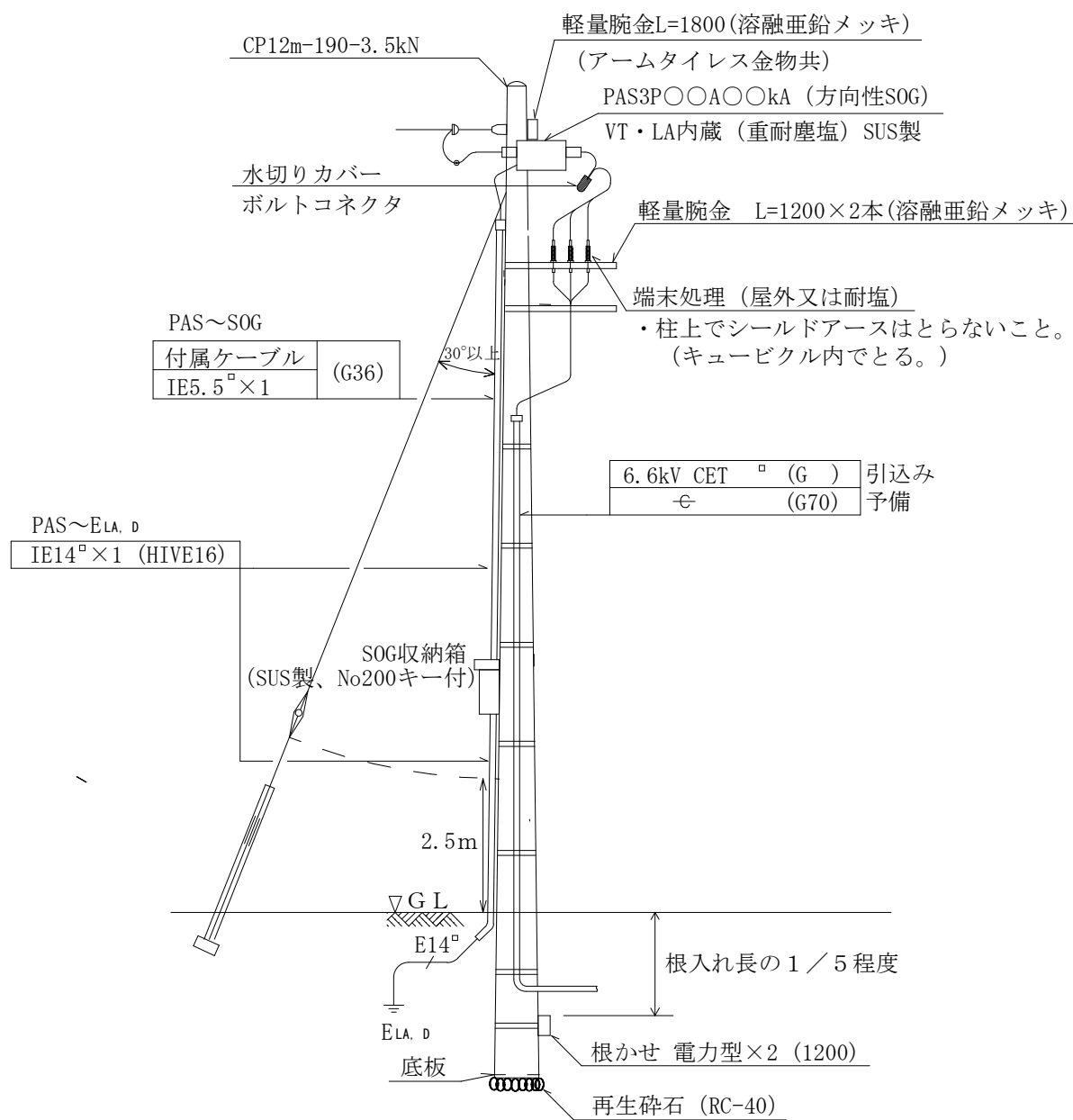
金網規格 $\phi 3.2 \times 50\text{mm}$ 以上

(VCTを柱上に設ける場合)



1. 高圧配管の地上高2.5mの位置に赤色で高圧6.6kVと明記する。
(中電柱の場合はその下に施設名を記入)
2. 気中開閉器のヒモは地上高3mの所まで下げる。
3. PASの短絡電流の選定にあたり、系統の短絡容量を電力会社に確認する。
(8kA以下の場合200A、12.5kA以下の場合300A)
4. VCTを柱上に設置するためのスペースを確保する。
5. 足場ボルトは高さ2.6m以上に設ける。
6. ステンレスバンドによる配管支持は、リングサドルを設ける。

(VCTをキュービクルに設ける場合)



1. 高圧配管の地上高2.5mの位置に赤色で高圧6.6kVと明記する。
(中電柱の場合はその下に施設名を記入)
2. 気中開閉器のヒモは地上高3mの所まで下げる。
3. PASの短絡電流の選定にあたり、系統の短絡容量を電力会社に確認する。
(8kA以下の場合200A、12.5kA以下の場合300A)
4. 足場ボルトは高さ2.6m以上に設ける。
5. ステンレスバンドによる配管支持は、リングサドルを設ける。

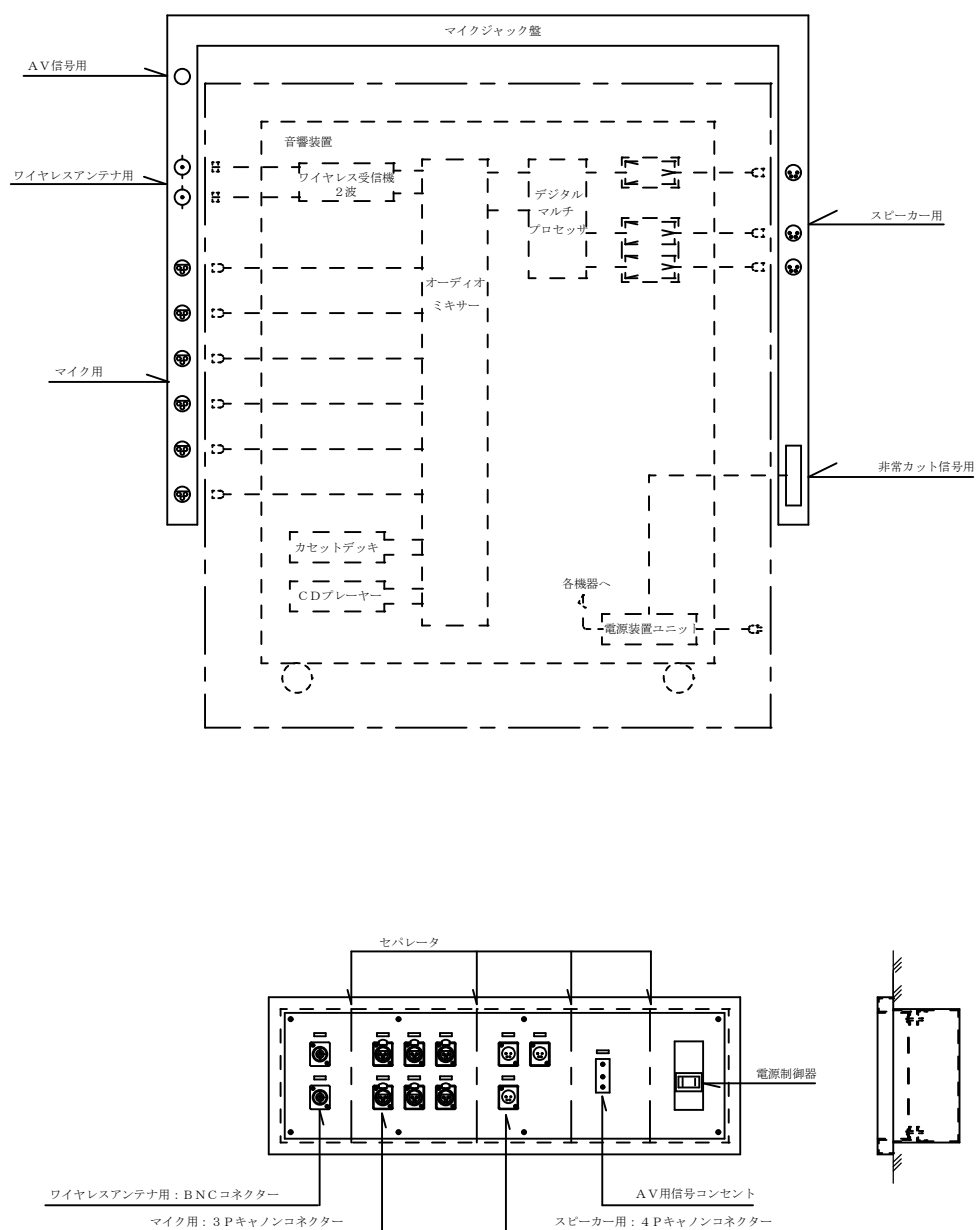
第 4 編

通信・情報設備工事

通信・情報設備一覧表

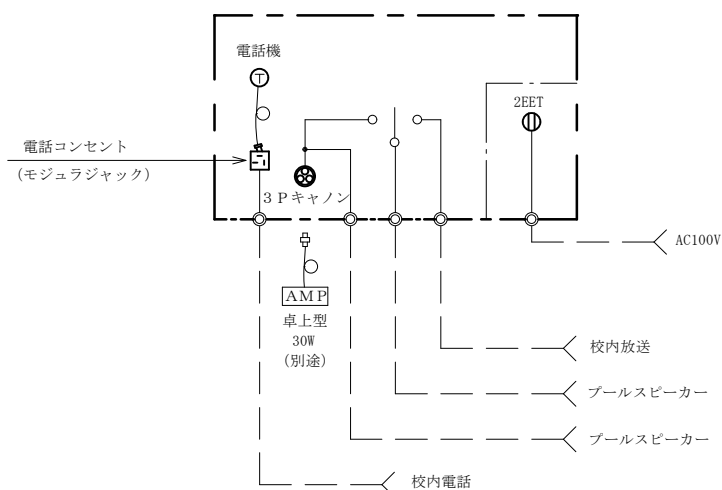
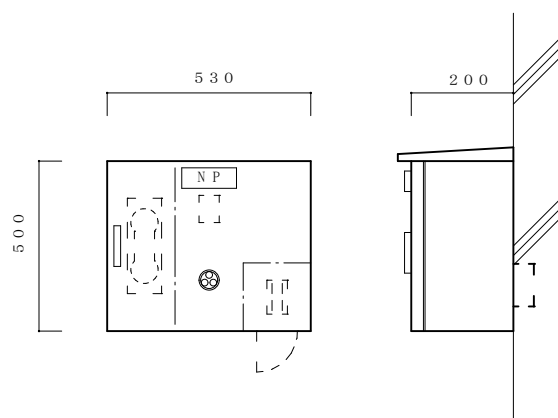
[illegible]

市通信 1	端子盤類一般事項	
	1 一般事項 (1) 各部は良質な材料で構成し、容易に緩まず丈夫で耐久性に富み、電線の接続・保守・点検などが安易なものとする。 (2) この編に明記していない事項は、次によるものとする。 ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）」 2 キャビネット 市電力17 分電盤・制御盤一般事項 1 (a) (1)～(4)による。 3 表示 市電力17 分電盤・制御盤一般事項 1 (c)による。 4 端子盤・集合保安器箱・テレビ機器収納箱のキャビネットの大きさは、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）」による。	

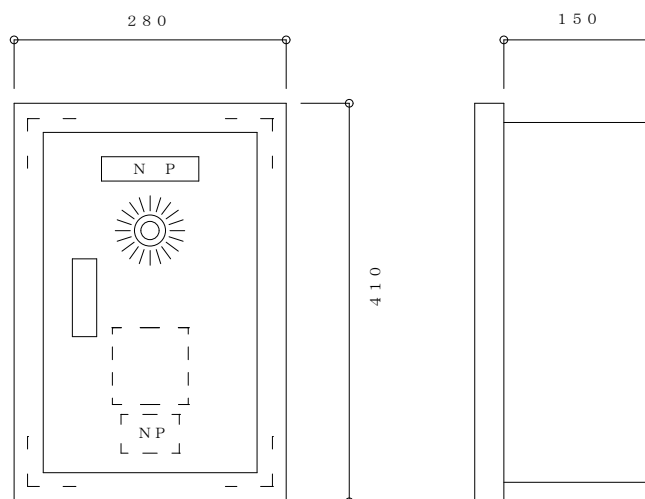


函板	面板 1.6 t 以上 鋼板
止めビス	表面 M4
塗装	焼付塗装 (メラミン又はアクリル)

※回路図・姿図は参考とする。



品 種	仕 様
BJ-P (スタンド型電話フック付)	函体 : SUS304 1.2 t 以上
BJ-PK (壁掛型電話フック付)	扉 : 裏蝶番 SUS304 1.2 t 以上
BJ-PT (スタンド電話機内蔵型)	塗装 : 指定色焼付塗装 (メラミン又はアクリル)
BJ-PKT (壁掛スタンド電話機内蔵型)	把手 : 平面回転ハンドル (NO. 200)
* 木板は電線・機器を付けるのに十分な大きさを確保する。	
* 寸法・形状は参考とする。施工者銘板の取付けを行う。	



扉 板：鋼板 1.6 t 以上

函 板：鋼板 1.6 t 以上

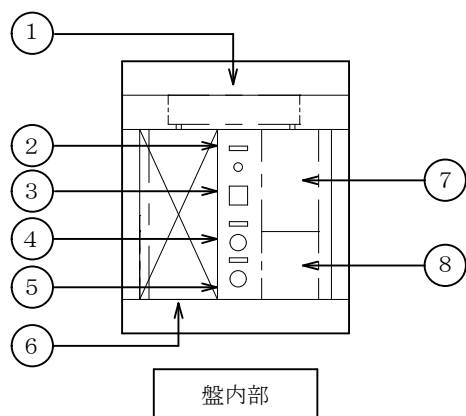
塗 装：指定色焼付塗装（メラミン又はアクリル）

NP（H：10）記入文字赤字 電話（〇〇番）

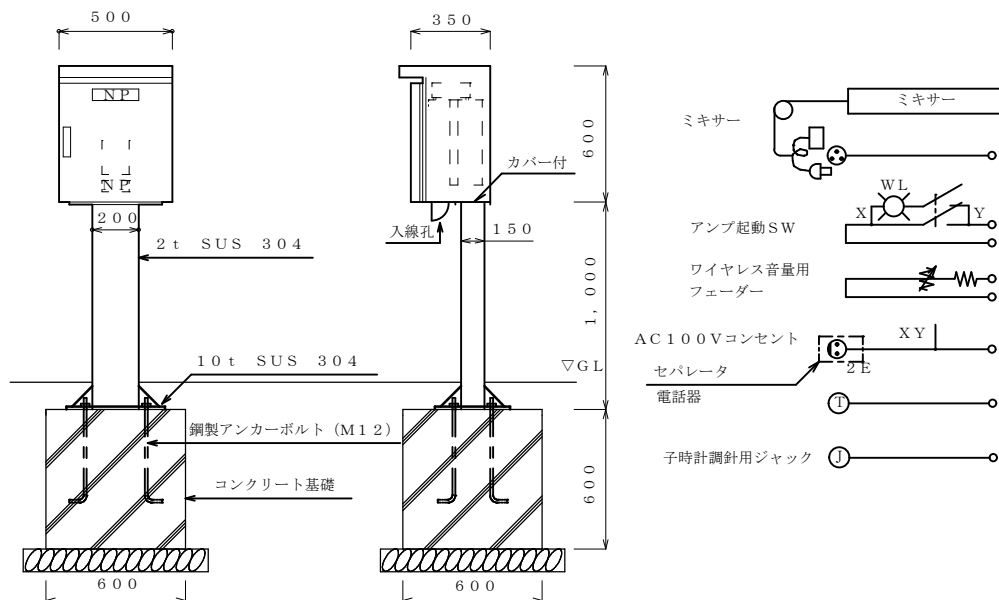
*寸法及び形状は、参考とする。

*施工者銘板の取付けを行う。

*扉の裏面に、図面フォルダを設ける。



レピーター盤組込機器	
記 号	名 称
①	マイクミキサー
②	アンプ電源表示灯
③	アンプ起動SW スナップスイッチ
④	ワイヤレス音量用フェーダーボリューム
⑤	ミキサー用3Pキャノンコネクター
⑥	電話機スペース
⑦	子時計調針用ジャック
⑧	コンセント2P15A×2、E付



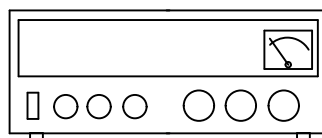
品 種	仕 様
BJ-RP (スタンド型)	函 板 : SUS304 1.2 t 以上
BJ-RPK (壁掛型)	扉 板 : SUS304 1.2 t 以上
BJ-RPT (スタンド電話機収納型)	内設板 : 鋼板 2.3t
BJ-RPKT (壁掛電話機収納型)	塗 手 : No. 200 (平行回転フラットハンドル)
	塗 装 : 指定色焼付塗装 (メラミン又はアクリル)

* 寸法及び形状は、参考とする。施工者銘板の取付けを行う。扉の裏面に、図面フォルダを設ける。

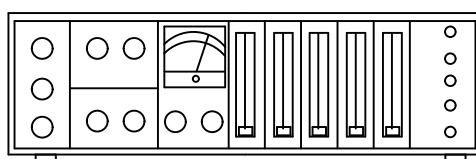
1 一般事項

- (1) 良質な材料で構成し、各部は安易に緩まず、丈夫で耐久性に富み、電線の接続、操作、機種類の保守・点検・修理などが安易なものとする。
- (2) 寸法は参考的に示しているものであり、図中の寸法には拘束しない。

SM-10, 30

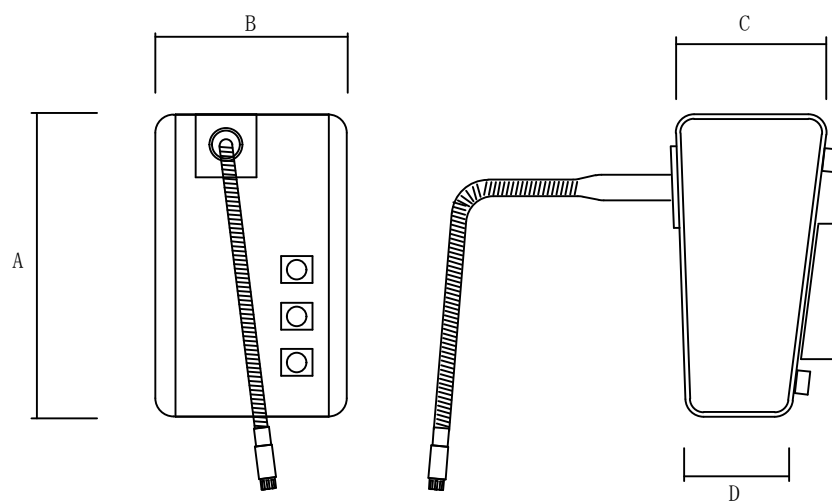


SM-120



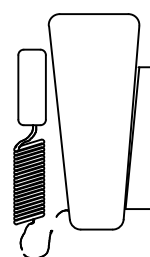
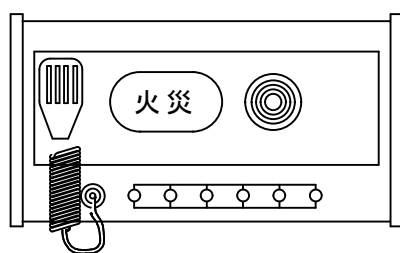
機種	SM-10	SM-30	SM-120
電 源	AC100V 60HZ	AC100V 60HZ	AC100V 60HZ
定格出力	10W以上	30W以上	120W以上
出力回路		個別5回路	個別5回路+一斉
負荷インピーダンス	メーカー標準仕様	メーカー標準仕様	メーカー標準仕様
周波数特性、 ひずみ率	メーカー標準仕様	メーカー標準仕様	メーカー標準仕様
ラ ジ オ		AM522～1629Hz FM76～90Hz	AM522～1629Hz FM76～90Hz
マイク入力	1	2	3
外部入力	1	1	4
録音出力		1	1
その他			チャイム ワイヤレス受信2波

※寸法・姿図は参考とする



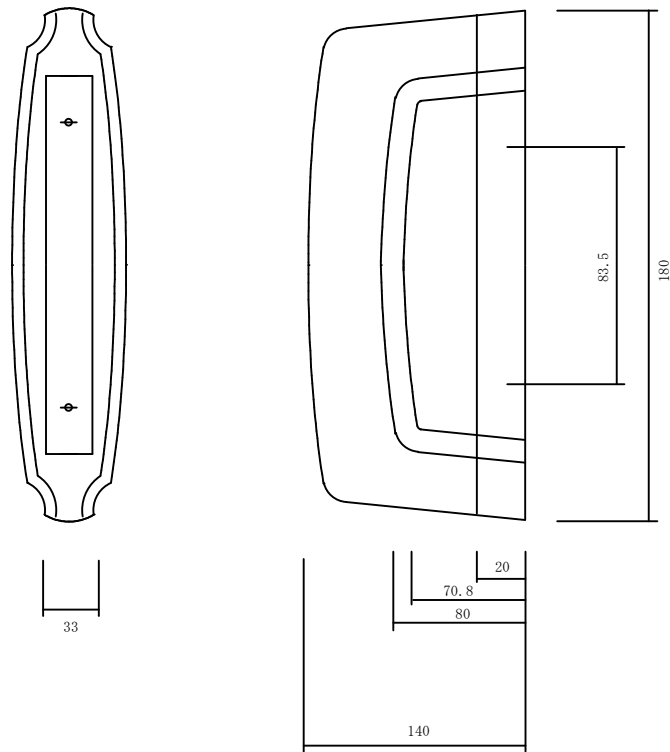
機 種	寸 法 (参考)				単独仕様		共 通 仕 様
	A	B	C	D	予備入力	出力制御	
SMDM-1 (単局)	210	125	85	60	0	1	電 源：メーカー標準仕様 アナウンスマイク入力：メーカー標準仕様 出 力：メーカー標準仕様 アンプのチャイム起動：可能
SMDM-5 (5局)	210	230	85	60	0	5	
SMDM-10 (10局)	210	230	85	60	1	10	

※寸法・姿図は参考とする



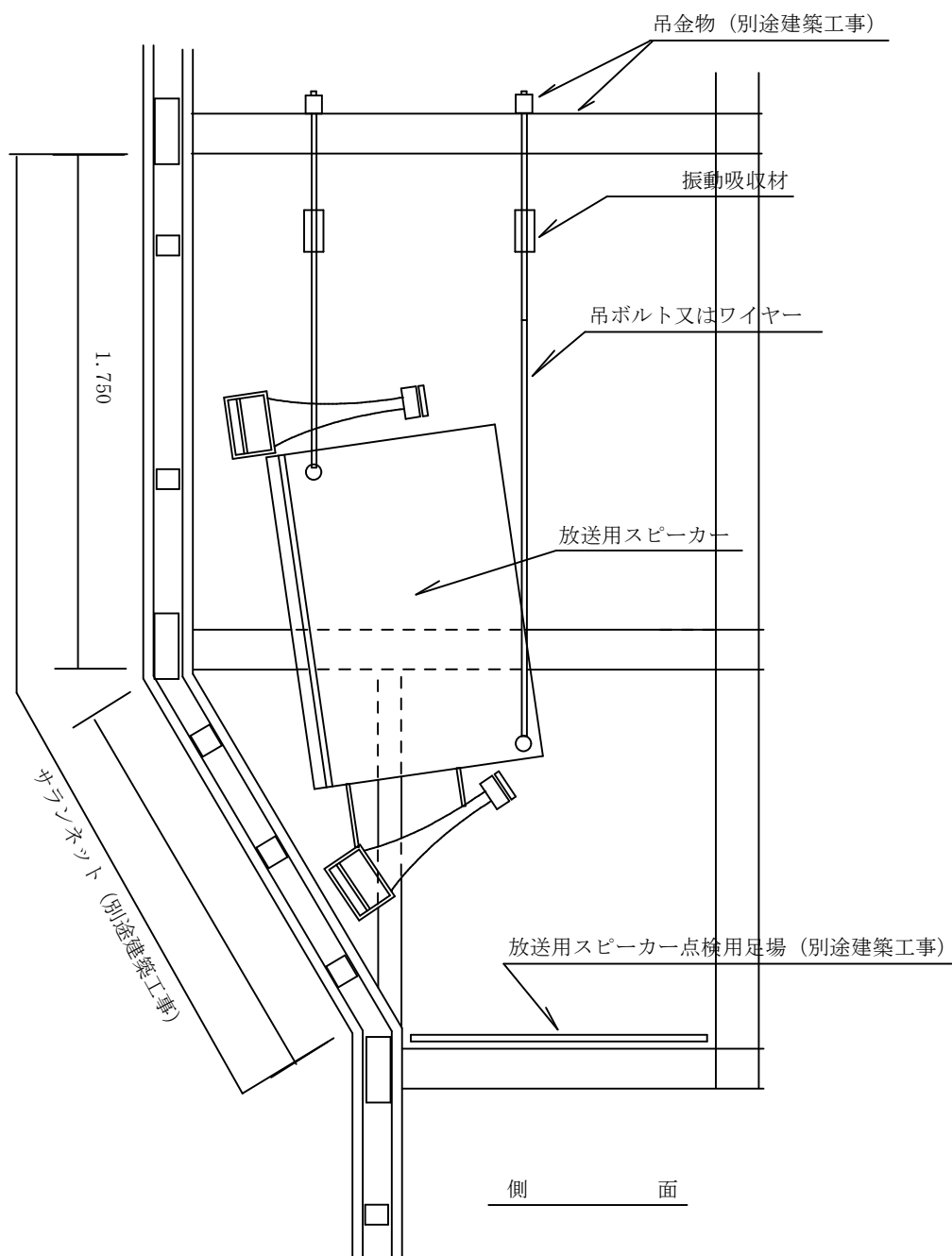
機種	出力制御 回路数	入力回路	表示灯	形状材質
SMBM-10	10回線 及び一斉	非常用マイク (業務兼用)	* 電源通電表示 * 火災表示 * 区域別作動表示 * 短絡表示	本体：メーカー標準仕様 モニタースピーカー付 電源DC24V (アンプ本体から供給)
SMBM-15	15回線 及び一斉	非常用マイク (業務兼用)	* 電源通電表示 * 火災表示 * 区域別作動表示 * 短絡表示	本体：メーカー標準仕様 モニタースピーカー付 電源DC24V (アンプ本体から供給)

※寸法・姿図は参考とする



機 種	仕 様
R-Y	受信周波数 800MHz帯 インピーダンス メーカー標準仕様 ブースターアンプ内蔵

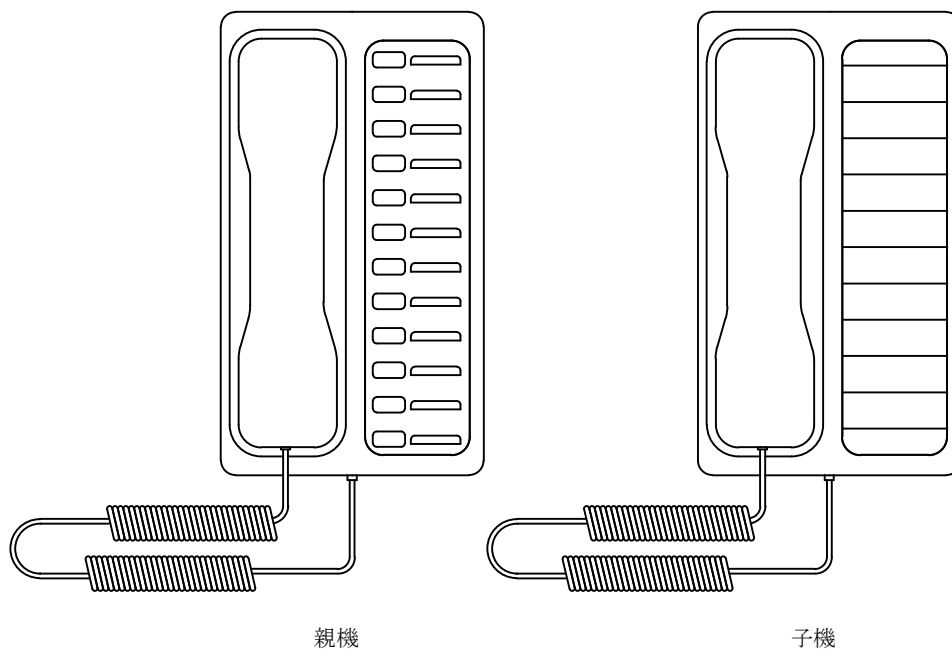
※寸法・姿図は参考とする



市通信 1 2	インターホン装置・福祉用装置一般事項	
	1 一般事項 (1) 良質な材料で構成し、各部は容易に緩まず、丈夫で耐久性に富み、電線の接続、操作、機器類の保守、点検、修理などが容易なものとする。 (2) 寸法は参考的に示しているものであり、図中の寸法には拘束しない。	

SI-M

SI-B



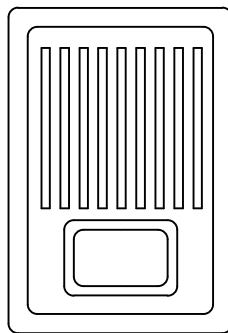
親機

子機

機 種	局数	仕 様
SI-M1	1	接続方式 複合式
SI-M3	3	通話方式 電話形同時通話式
SI-M6	6	同時に2組以上の通話可能
SI-M12	12	電源部 別置形
SI-M24	24	選局機構 押しボタン式
SI-B	子機	

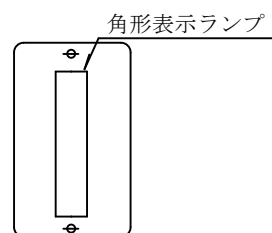
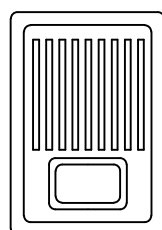
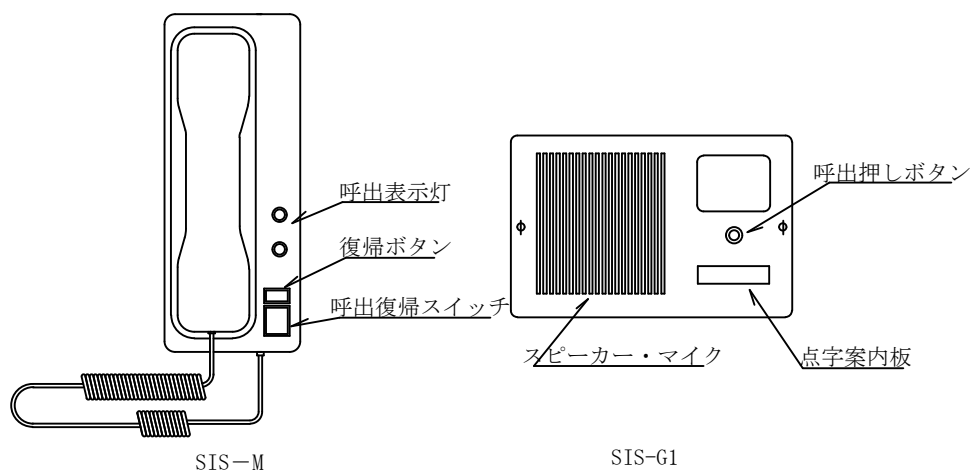
（備考） 卓上・壁掛兼用形とし、卓上形は、端子ボックス付とする。

SI-C



子機

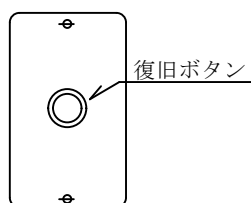
機 種	仕 様
SI-C	子機 電話形・玄関用・壁掛用
SI-G	電源装置 AC100V、12局以下



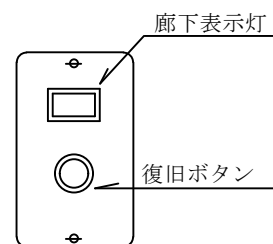
廊下表示灯



呼出ボタン（ひもなし）



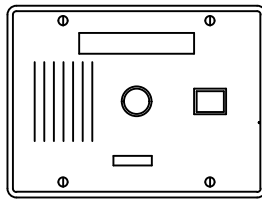
復旧ボタン



復旧ボタン・廊下表示灯

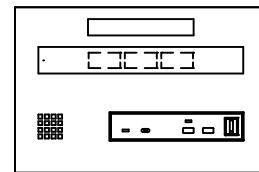
機 種	仕 様
SIS-M	親機
SIS-G1	子機 ステンレスプレート
SIS-G2	子機 合成樹脂プレート
SIS-H	廊下表示灯（角形） 合成樹脂プレート
SIS-0	呼出ボタン 合成樹脂プレート
SIS-R	復旧ボタン 合成樹脂プレート
SIS-HR	復旧ボタン、廊下表示灯 合成樹脂プレート

※トイレ呼出機器 親機、子機（SIS-B）とは併用不可



SIS-BM1
トイレ呼出表示器（親機）

電源電圧	DC12V（電源アダプタから供給）
形 状	埋込形（JIS3個用スイッチボックス）
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

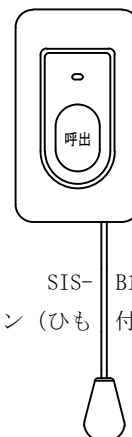


SIS-BW3
トイレ呼出表示器（親機）

電源電圧	AC100V 50/60Hz
形 状	壁取付形
表示方式	断続ブザー音と表示窓点灯

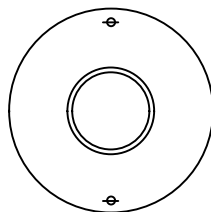


SIS-B0
呼出ボタン（子機）



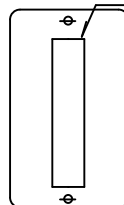
SIS-B1
呼出ボタン（ひも付き）（子機）

丸形表示ランプ

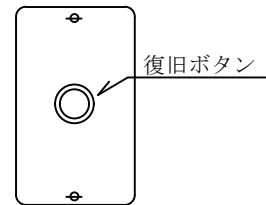


SIS-BH1
廊下表示灯

角形表示ランプ



SIS-BH2
廊下表示灯



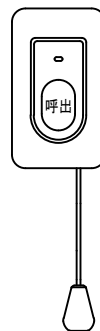
SIS-BR
復旧ボタン

機 種	仕 様
SIS-BM1	トイレ呼出表示器（親機） 埋込型 1 窓 ステンレスプレート
SIS-BM2	トイレ呼出表示器（親機） 埋込型 2 窓 ステンレスプレート
SIS-BM3	トイレ呼出表示器（親機） 埋込型 3 窓 ステンレスプレート
SIS-BW1	トイレ呼出表示器（親機） 壁付型 1 窓 鋼板製
SIS-BW3	トイレ呼出表示器（親機） 壁付型 3 窓 鋼板製
SIS-BW5	トイレ呼出表示器（親機） 壁付型 5 窓 鋼板製
SIS-B0	呼出ボタン 合成樹脂プレート
SIS-B1	呼出ボタン（ひも付き） 合成樹脂プレート
SIS-BH1	廊下表示灯（丸形） 合成樹脂プレート
SIS-BH2	廊下表示灯（角形） 合成樹脂プレート
SIS-BR	復旧ボタン 合成樹脂プレート

※福祉用インターホン親機、子機（S I S）とは併用不可

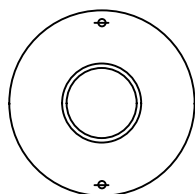


SIS-B0
呼出ボタン



SIS-B1
呼出ボタン（ひも付き）

丸形表示ランプ

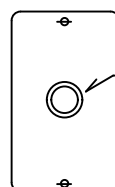


SIS-BH1
廊下表示灯

角形表示ランプ



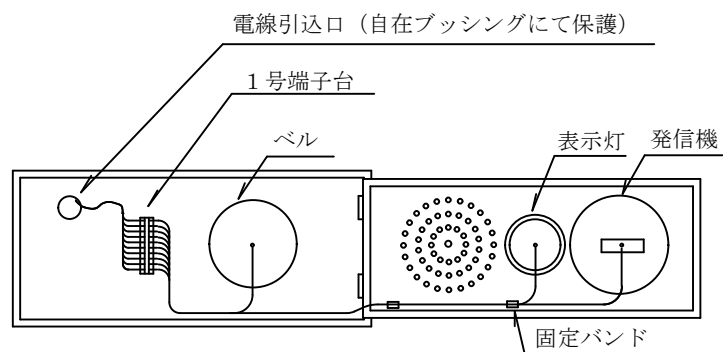
SIS-BH2
廊下表示灯



SIS-BR
復旧ボタン

機 種	仕 様
SIS-B0	呼出ボタン 合成樹脂プレート
SIS-B1	呼出ボタン（ひも付き） 合成樹脂プレート
SIS-BH1	廊下表示灯（丸形） 合成樹脂プレート
SIS-BH2	廊下表示灯（角形） 合成樹脂プレート
SIS-BR	復旧ボタン 合成樹脂プレート

市通信 1 7	消防用機器一般事項	
	1 一般事項 (1) 良質な材料で構成し、各部は容易に緩まず、丈夫で耐久性に富み、電線の接続、操作、機器類の保守、点検、修理などが容易なものとする。 (2) 寸法は参考的に示しているものであり、図中の寸法には拘束しない。	



- (1) 総合盤の発信機は、床面からの高さが0.8m以上1.5m以下の箇所へ設置すること。
- (2) 1個の端子には2本以上の電線を挟み込まないこと。
- (3) 端子に挟み込む線にはラグ端子等を使用すること。
やむを得ず単線を使用し、端子に2本以上電線をはさむ場合は単線用ラグ端子等を使用する。
- (4) 端子の渡りをとる場合には、1次側にて行うこと。

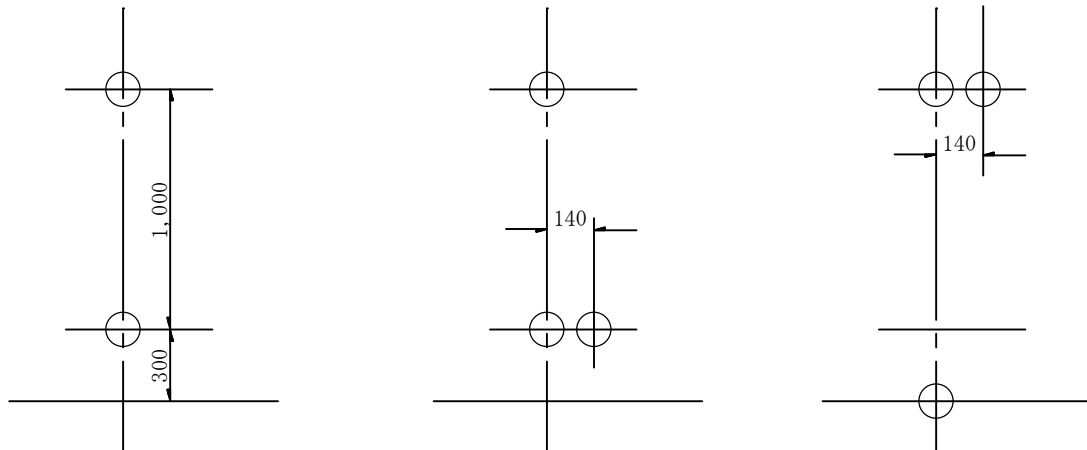
第 5 編

その他

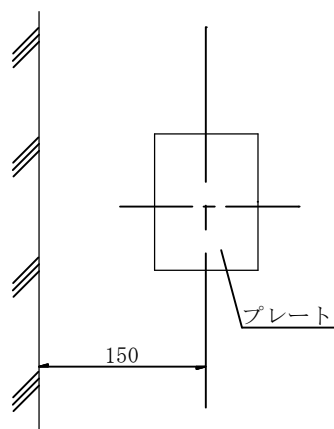
その他一覧表

[illegible]

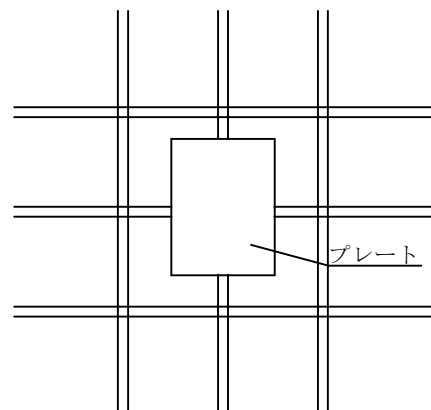
上下に位置する場合



壁、窓、扉枠際に位置する場合

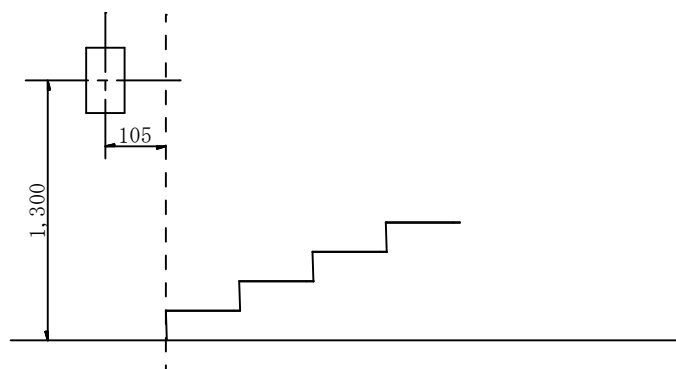


タイル面に位置する場合



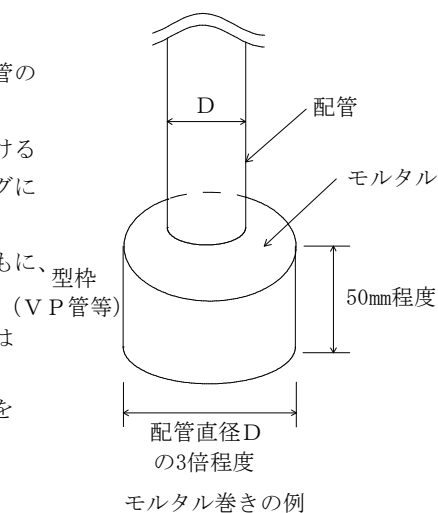
※タイルは目地合せする

階段近くに位置する場合



１．配管工事

- ・ 室内の水気の多いコンクリート床面（湿式の給食場など）からの立上がり配管の根元回りは、モルタル巻を施すなど水切り処理をする。
- ・ フェンス内・高所（２ｍを超える）等、一般に触れるおそれのない場所におけるケーブル保護のための厚鋼電線管カップリングは、ねじなし防水カップリングに変更することができる。
- ・ 電線類を撤去した後の電線管・ケーブル保護管には、導入線を入線するとともに、送り元・送り先を表示した札（丸エフ等）を取付けること。
- ・ 使用できなくなった電線管・ケーブル保護管は、全ての入線口を耐火パテ又はモルタルで塞ぐこと。
- ・ ハンドホールより分電盤、手元開閉器盤等に立ち上がる配管には、シール材を設置し、水気の侵入を防止すること。
- ・ アウトレットボックス、プルボックスの入線口は、ボックスの材質を問わず、ブッシング等を取り付けること。
- ・ プルボックスには必ず銘板（乳白アクリル文字彫刻）を貼付る。ただし、プルボックスが天井内に納まる場合は、テプラ等で表示してもよい。
- ・ ジョイントボックスには、必ず名札（テプラ等で）を貼付る。（電灯・動力等）
- ・ プルボックスのフタは必ず点検しやすい方向に位置すること。



２．配線工事

- ・ 分電盤、端子盤内及びプルボックス内の電線・ケーブルには回路名、ケーブルサイズ、送り元、送り先を表示した、線名札（丸エフ等）を取付る。予備線も同じ。
- ・ ハンドホール内のケーブル及び導入線には、合成樹脂製の表示札を取付け、回路名、ケーブルサイズ、送り元、送り先を表示（刻印）する。
- ・ ハンドホール内のケーブル接続材・分岐材は、プラスチック成形品レジン挿入型とする。
- ・ 同軸ケーブルをアンテナマストに沿わせて配列する場合は、耐候性のある結束バンドを使用すること。
- ・ 低圧屋外のケーブル端末処理材は、J C A A規格品とする（多心ケーブルの場合、分岐管とする）※屋外の盤内等は除く
- ・ 8mm²以上のケーブル天井ころがしは、ラック上に敷設される場合を除き、専用の吊ボルトにより2m間隔で支持すること。

３．盤類

- ・ 盤内結線図は必ず黒インキ等（鉛筆を除く）を使用して記入する。改修の場合、結線図の修正等を行うこと。
- ・ 盤扉の鍵はNo. 200を使用する。（端子盤も同じ）
- ・ 盤名称については、原則として記号は使わず具体的に記入する。（監督員の指示による）
 例 分電盤……電灯 端子盤……放送、電話、火報 動力盤……揚水ポンプ
 等の様に記入する。
- ・ 端子盤内においては、端子の上部にそれぞれの弱電種別（電話・放送・テレビ等）をテプラ等で表示する。
- ・ 屋内消火栓上部に取付る総合盤内での結線は端子台を用いて行う。

4. その他

- ・ 埋込、半埋込盤を建築工事の仕上げ前に取付る時の盤の養生は、表面にベニヤ板等を使用して養生すること。
- ・ 面積区画（シャッター、防火戸の設置個所）及び主要な間仕切壁（廊下と教室の壁）を天井裏で貫通する場合は、貫通部に区画貫通処理（認定工法）を行うか、両側で１ｍ以上鋼管を突き出し、耐熱シール材を詰めること。
- ・ 蛍光灯照明器具（埋込型を除く）は吹き出し口から概ね４５０ｍｍ以上離すこと。
- ・ 感知器は吹き出し口から１，５００ｍｍ以上離すこと。
- ・ 天井点検口を設ける場合は、天井下地の補強を行うこと。
- ・ 壁掛けの器具に関しては、落下防止措置を講じること。（ただし、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）において落下防止措置に関する記載があるものはそれに準ずること。）